

# 2025 年度シラバス

## 生命産業ビジネス学科 1 年次科目

2025 年 4 月 1 日 現在



|                 |        |  |           |         |
|-----------------|--------|--|-----------|---------|
| 英語I<br>EnglishI | 授業担当教員 |  | 高橋 歩・田村 裕 |         |
|                 | 補助担当教員 |  |           |         |
|                 | 区分     |  | 教養必修      |         |
|                 | 年次・学期  |  | 1年次 前期    | 単位数 2単位 |

【授業概要】

私たちを取り巻く環境や日本人の食生活は急激に変化している。そのような状況に置かれた私たちの心身の健康について書かれたエッセイを精読しながら、読解力を養成し、語彙力を強化する。テキストで取り上げているテーマは「健康な国、日本」、「人種と健康」、「がん」などである。高等学校までに学習した文法項目を復習することで理解を深めさせ、「英語Ⅱ」などのより上級の科目を学習するための基礎を築く。TOEIC練習用のリスニング副教材を使用してリスニングの強化を図る。ペアワークなどで単語の発音や本文の意味の確認を行い、学習した内容の定着を図る。リスニング力を伸ばすための訓練として、ディクテーションを数回行う。

【到達目標】

平易な英語で書かれた文章を読み、その内容を理解できる。日常的な場面で話される英語を聞き取り、その内容を把握できる。高等学校までに学習した文法を理解し、説明できる。  
知識・理解：１．平易な英語で書かれた文章を正確に読み、その内容を理解する。２．テキストで使用されている基本的な語彙を理解し、身につける。３．高等学校までに学習した文法事項を理解し、説明できる。  
思考・判断：１．英文を読み、要旨を述べることができる。  
関心・意欲・態度：１．予習をして授業に臨むことができる。２．私たちの環境や食生活の変化について興味や関心を示す。  
技能・表現：１．日常的な場面で話される英語を聞き取り、その内容を把握できる。２．TOEICリスニング・セクションの問題形式を理解する。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                                                                 | 授業内容                                                                                           | 授業方式          | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                              | 担当教員 |
|----|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | 授業オリエンテーション<br>①Chapter 1: Healthy Japan<br>②TOEICについて、カタノダメソップズについて | シラバスを読んで、科目の概要や目標、進め方を理解する。テキストを精読する。TOEICリスニング・セクション全体の問題形式を学ぶ。                               | 演習・グループワーク    | 予習：シラバスをよく読む。テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                            | 高橋田村 |
| 2  | ①Chapter 1: Healthy Japan<br>②Unit 1: 写真描写問題                         | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 3  | ①Chapter 1: Healthy Japan<br>②Unit 2: 写真描写問題                         | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 4  | ①Chapter 2: Health and Evolutionary Psychology<br>②Unit 3: 写真描写問題    | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 5  | ①Chapter 2: Health and Evolutionary Psychology<br>②Unit 4: 写真描写問題    | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 6  | ①Chapter 3: Natural Defense<br>②Unit 5: 写真描写問題                       | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 7  | ①Chapter 3: Natural Defense<br>②ディクテーション                             | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。ディクテーションを行う。                    | 試験・演習・グループワーク | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。ディクテーションに備え、テキストの本文を聞き込む。(100分)<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                            | 高橋田村 |
| 8  | 到達度確認テスト<br>①Chapter 3: Natural Defense                              | 到達度確認テストを受ける。テキストの本文を精読し、章末の演習問題を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。                   | 演習・試験・グループワーク | 予習：到達度確認テストに備える。テキストの単語や熟語の意味を調べる。(240分)<br>復習：テキストと辞書を使用して到達度確認テストの問題をもう一度学習し、自己採点する。テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分） | 高橋田村 |
| 9  | 到達度確認テストの解説<br>①Chapter 4: Race and Health<br>②Unit 6: 応答問題          | 返却された到達度確認テストを見ながら解答解説を聞き、理解する。テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。 | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 10 | ①Chapter 4: Race and Health<br>②Unit 7: 応答問題                         | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 11 | ①Chapter 5: Understanding Medical Studies<br>②Unit 8: 応答問題           | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 12 | ①Chapter 5: Understanding Medical Studies<br>②Unit 9: 応答問題           | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 13 | ①Chapter 5: Understanding Medical Studies<br>②Unit 10: 応答問題          | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 14 | ①Chapter 6: Cancer<br>②応答問題のまとめ                                      | テキストの本文を精読し、章末の演習問題を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。到達度確認テストを受ける。                                      | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 15 | ①Chapter 6: Cancer<br>②ディクテーション                                      | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。ディクテーションを行う。                    | 試験・演習・グループワーク | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。ディクテーションに備え、テキストの本文を聞き込む。(100分)<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                            | 高橋田村 |
| 16 | 到達度確認テスト<br>①Chapter 6: Cancer                                       | 到達度確認テストを受ける。テキストの本文を精読し、章末の演習問題を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。                   | 演習・試験・グループワーク | 予習：到達度確認テストに備える。テキストの単語や熟語の意味を調べる。(240分)<br>復習：テキストと辞書を使用して到達度確認テストの問題をもう一度学習し、自己採点する。テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分） | 高橋田村 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                                                                                   | 著者・編者                       | 出版社         |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------|
| 教科書 | ①Stay Healthy 明日の健康と医療を考える                                                           | Paul Stapleton              | セнгеージラーニング |
| 教科書 | ②A Shorter Course in TOEIC TEST LISTENING 450 K（カタノダ）メソツズによる 5 分間新TOEICテスト・リスニング 450 | Hiroko Katanoda, Thian Wong | 南雲堂         |
| その他 | 英和辞典を持参すること。                                                                         |                             |             |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験       | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 40%  | 40%  |            |      | 10%          |      |                         | 10% |
| 備考   |      |      |            |      | 課題（ディクテーション） |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

第 1 回目の到達度確認テストは授業中に返却し、正答を提示しながら内容を解説する。第 2 回目の到達度確認テストは、正答および解説をTeamsにアップする。

【連絡先】

| 氏名   | オフィスアワー   | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス           |
|------|-----------|-----------|--------------------|
| 高橋 歩 | 水曜午後、木曜午後 | E403d     | ayumi@nupals.ac.jp |
| 田村 裕 | 授業時間の前後   | 非常勤講師室    |                    |

【その他】

辞書を持参すること。ディクテーションを行うので、本文を聞き込んで臨むこと。

|                                   |        |                                          |     |     |
|-----------------------------------|--------|------------------------------------------|-----|-----|
| フレッシュャーズセミナー<br>Freshers' Seminar | 授業担当教員 | 村上 聡・中村 豊・中道 眞・伊藤 美千代・小長谷 幸史・若栗 佳介・高橋 典子 |     |     |
|                                   | 補助担当教員 |                                          |     |     |
|                                   | 区分     | 教養必修                                     |     |     |
|                                   | 年次・学期  | 1年次 前期                                   | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

本授業では、学生の皆さんが利用する大学の施設・システムを紹介し、大学生活の円滑なスタートを支援する。また、各学科・各コースで学ぶ内容を解説し、学生が将来の目標と各自の課題を見出すことを促す。また、応用生命科学部で勉学に取り組むにあたり必要となるスタディスキル、デジタル社会における情報セキュリティと情報管理、大学や社会において必要な最低限のマナーを講義する。

【実務経験】

担当教員村上は、公立中学校教諭として勤務し、教員の研修指導、初任者教諭の育成と教育実習生の受け入れを担当した。その実務経験を基に、自らの力量向上と他者との良好な関係づくりについて高い専門性とその理論的背景を講義とALにより展開する。

【到達目標】

卒業後の進路を考えるきっかけを作る。現在の自分の状況を把握するよう促し、大学時代にすべきことを具体化させる。  
知識・理解：大学で利用できる施設・システムを理解する。学部・学科・コース・ゼミの概要を理解する。スタディ・スキルを身につける。データを適切に取り扱える。レポート・ノートの作成において留意すべき点がわかる。メールなどのコミュニケーションにおけるマナーを理解する。情報セキュリティと情報管理についての基礎を理解する。  
思考・判断：どのような時に、どの施設・部署・システムを利用すべきか判断できる。自分の将来の目標に合わせて、コース・ゼミ選択について考えることができる。  
関心・意欲・態度：自分の人生に関心をもち、自律的に行動する。情報管理について日頃から気をつけることができる。  
技能・表現：わかりやすい授業ノートを作成することができる。レポート作成などに必要な文章を適切に作成することができる。マナーを守って周囲とコミュニケーションを取ることができる。適切に情報管理をすることができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                               | 授業内容                                                                                                                                                          | 授業方式          | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                           | 担当教員             |
|----|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 1  | 新潟薬科大学・応用生命科学部を知る 1                | 日帰り研修で行われるフレッシュャーズセミナーでの授業により、本学と本学部および同学年の仲間を知る。                                                                                                             | 講義・SGD        | 予習：研修ガイド、配布テキスト（135分）<br>復習：研修ガイド、配布テキスト（135分）                                                                                                         | フレッシュャーズセミナー参加教員 |
| 2  | 新潟薬科大学・応用生命科学部を知る 2                | 日帰り研修で行われるフレッシュャーズセミナーでの授業により、本学と本学部および同学年の仲間を知る。                                                                                                             | グループワーク       | 予習：研修ガイド、配布テキスト（135分）<br>復習：研修ガイド、配布テキスト（135分）                                                                                                         | フレッシュャーズセミナー参加教員 |
| 3  | 授業オリエンテーション<br>新潟薬科大学・応用生命科学部で学ぶ 1 | 大学生として生活していく上での時間管理・健康管理について、および人権とジェンダー、プライバシーに関連する基本的な諸概念を理解する（中村）。<br>応用生命科学科を中心としたコース、ゼミでの学びについて理解する（小長谷）。<br>日帰り研修について振り返り、学生相互のつながりのたいせつさについて理解する（小長谷）。 | 講義・課題         | 予習：学生便覧、履修ガイド、時間割（135分）<br>復習：講義内容の復習（135分）                                                                                                            | 中村<br>小長谷        |
| 4  | 新潟薬科大学・応用生命科学部で学ぶ 2                | 応用生命科学部のカリキュラムの概要と履修上の注意点について理解する。<br>生命産業ビジネス学科を中心としたゼミでの学びについて理解する。                                                                                         | 講義・課題         | 予習：学生便覧、履修ガイド、時間割（135分）<br>復習：講義内容の復習（135分）                                                                                                            | 中道               |
| 5  | スタディ・スキル 1                         | スタディ・スキルの基礎について考え、レポートとは何か、文章を書く目的について学ぶ                                                                                                                      | 講義・課題・グループワーク | 予習：配布テキスト（135分）<br>復習：配布テキスト（135分）                                                                                                                     | 村上<br>小長谷        |
| 6  | スタディ・スキル 2                         | レポートの書き方について一般的な基礎を学び、実践する。<br>レポート提出、チャットやメール利用などにおけるマナーを学ぶ。仮想データからレポートを作成する。                                                                                | 講義・課題         | 予習：テキストを読む（135分）<br>復習：講義内容の復習をする（135分）                                                                                                                | 村上<br>小長谷        |
| 7  | スタディ・スキル 3                         | 学科ごとに分かれて、実験・実習レポートや、授業の課題レポートを書く技術の基礎を身につける。<br>仮想のデータをもとに作成されたレポートを見直して修正する。                                                                                | 講義・課題         | 予習：テキストを読む（135分）<br>復習：授業内容を復習する（135分）                                                                                                                 | 伊藤<br>村上<br>小長谷  |
| 8  | スタディ・スキル 4                         | 学ぶとはどういうことかについて思索を深める。周囲や社会からの要請や評価はもちろん、個人としては「どのように学ぶのか」、さらに「なぜ学ぶのか」について各自の軸を作ることを目指す。                                                                      | 講義・演習・SGD     | 予習：配布プリント（135分）<br>復習：配布プリント（135分）                                                                                                                     | 伊藤               |
| 9  | スタディ・スキル 5                         | 学習やアドバイザーグループ活動のツールとして、コミュニケーションプラットフォームの使い方について学び、実際に操作する。さらに生成AIを利用した学びの方法や情報を扱う場合の留意点について学ぶ。                                                               | 講義・課題・グループワーク | 予習：配布テキスト（135分）<br>復習：配布テキスト（135分）                                                                                                                     | 若栗               |
| 10 | 新潟薬科大学・応用生命科学部で学ぶ 3                | 本学の付属施設を知る。特に図書館など学びに必要な施設の利・活用について学ぶ。                                                                                                                        | 講義・課題         | 予習：配布テキスト（135分）<br>復習：配布テキスト（135分）                                                                                                                     | 村上<br>図書館職員      |
| 11 | スタディ・スキル 6                         | 他の学生が作成した実験レポートやを読み、そこから優れた部分と改善点を見つけ出し、レポートを書く技術の基礎を身につける。                                                                                                   | 講義・演習・SGD     | 予習：テキストを読む（135分）<br>復習：授業内容を復習する（135分）                                                                                                                 | 伊藤<br>村上<br>小長谷  |
| 12 | スタディ・スキル 7                         | 作成した課題のレポートについてプレゼンを行い、学生どうして評価をする。                                                                                                                           | SGD・発表・討論     | 予習：テキストを読む（135分）<br>復習：授業内容を復習する（135分）                                                                                                                 | 村上<br>伊藤<br>小長谷  |
| 13 | コミュニケーションの在り方                      | 大学生活におけるコミュニケーションに関わる課題と望ましいあり方について理解する（中村）。<br>コミュニケーションに関する臨床心理学の基本的な知識を理解し、アイスブレイクやグループワークを通じてコミュニケーションの本質を体験する（高橋）。                                       | 講義・グループワーク    | 予習：自分自身のコミュニケーションの癖や人と関わる際にどうしていたかを、家族、友人、初対面の人、他人など様々な対象ごとに考えてみる。（135分）<br>復習：体験を通じて感じたことや思ったことを振り返り、自分のコミュニケーションの癖や対人関係を築くうえでの長所・短所について考えを深める。（135分） | 中村<br>高橋         |
| 14 | スタディ・スキル 8                         | 文章の読み方、書き方、大学におけるノートの書き方を学び、実践する。                                                                                                                             | 講義・課題         | 予習：テキストを読む（135分）<br>復習：講義内容の復習をする（135分）                                                                                                                | 村上<br>小長谷        |
| 15 | スタディ・スキル 9                         | 実際に図書館に行き、借りた資料を利用してグループワークを行いながら資料の活用方法について学ぶ。                                                                                                               | グループワーク       | 予習：資料作成（135分）<br>復習：授業内容を復習する（135分）                                                                                                                    | 村上<br>小長谷        |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                 | 著者・編者    | 出版社   |
|-----|--------------------|----------|-------|
| 教科書 | 大学生学びのハンドブック [6訂版] | 世界思想社編集部 | 世界思想社 |
| その他 | 必要に応じてプリントを配布する。   |          |       |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他      |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|----------|
| 割合   |      |      |            |      |        | 50%  | 30%                     | 20%      |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         | ・成果発表20% |

【課題に対するフィードバック方法】

授業内容についての演習/SGDの時間を設け、その内容について解説する。  
授業に関して寄せられた要望は、Portal NUPALS及びMicrosoft Teamsを利用して回答する。

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー                                          | 研究室（部屋番号）        | Eメールアドレス                |
|--------|--------------------------------------------------|------------------|-------------------------|
| 村上 聡   | 月～金の昼休み　その他の時間を希望する場合は個別に相談に応じる                  | 理科教育学研究室(E401c)  | s-murakami@nupals.ac.jp |
| 中村 豊   | 平日の13:10-18:00                                   | 環境有機化学研究室(E402a) | nakamura@nupals.ac.jp   |
| 中道 眞   | 水曜日・木曜日（講義等除く13:00～17:00.随時Mail,Teamsのアポイント受付ます） | NE205            | nakamichi@nupals.ac.jp  |
| 伊藤 美千代 | 月曜日～金曜日（13:00～17:00）                             | 新津駅東キャンパス（NE214） | nagano-ito@nupals.ac.jp |
| 小長谷 幸史 | 火曜日13時10～14時50分                                  | E101生物学研究室       | konayuki@nupals.ac.jp   |
| 若栗 佳介  | 月～金 11:00～17:00                                  | 新津駅東キャンパス（NE212） | wakakuri@nupals.ac.jp   |
| 高橋 典子  |                                                  |                  |                         |

【その他】

遠隔授業の場合の質疑応答は、配布された時間割に明記されている授業時間に、Microsoft Teams上での当科目のチーム内でチャット等を活用して受付実施する。



|                                      |        |            |     |     |
|--------------------------------------|--------|------------|-----|-----|
| 早期体験学習<br>Early Exposure to Practice | 授業担当教員 | 杉田 耕一・松本 均 |     |     |
|                                      | 補助担当教員 |            |     |     |
|                                      | 区分     | 教養必修       |     |     |
|                                      | 年次・学期  | 1年次 前期     | 単位数 | 1単位 |

【授業概要】

本学卒業後のキャリアプランを構築するために必要な基礎知識（日本の経済状況や社会情勢、社会制度など）を講義する。自分の将来の目標を考え、大学在学中に取り組むべき具体的な課題の抽出を促す。実際に社会で活躍するビジネスパーソンや卒業生による講義を通じ、進路選択や仕事についての実例を紹介する。PROG試験結果を用い、自己の能力についての理解と今後の対策方法について解説する。本科目は、2年次開講科目「職業とキャリア形成Ⅰ」および3年次開講科目「職業とキャリア形成Ⅱ」の基礎的な科目として位置づけられる。

【実務経験】

担当教員の杉田は、企業の研究開発部門と新事業企画部門に27年間勤務し、新入社員の教育等を行いながら事業を進めてきた。また、事業の推進に当たって多種多様な業界の企業との共同研究や取引関係を構築してきた。このような実務経験を活かして、企業情報について実際の情報を提供すると共に、企業が求める社員像等を理解できるように指導する。担当教員松本は、食品企業において、食品の研究開発営業マーケティング業務に27年間従事した経験を活かして、一般的な会社員として必要な知識やスキル、社会人として必要な知識や義務などを幅広く紹介する。

【到達目標】

学生生活に必要な知識を修得し、卒業までのスキルアップのプランを作成する。自分の特性を理解し、卒業後の進路を考える。卒業までにキャリア形成の面ですべきことを具体化させる。  
知識・理解：社会で生活するのに必要な基礎知識（現在の日本および新潟県の経済状況、就職状況、企業の雇用制度や社会保障制度など）を有している。自身の能力（コンピテンシー・リテラシー）が把握できている。  
思考・判断：目標から逆算して、「今何をすべきか」「今年中に何をすべきか」「卒業までに何をすべきか」を判断できる。  
関心・意欲・態度：自分の人生に関心を持ち、節目節目の目標をたて、自律的に行動する。  
技能・表現：自分の目標を設定し、他者に伝えることができる。目標実現のために必要な課題を抽出することができる。また、自分の特性についてまとめ、説明できる

【授業計画】

| 回  | 授業項目                           | 授業内容                                                                                                                                                                                 | 授業方式       | 授業外学習（予習・復習）                                                                  | 担当教員              |
|----|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 1  | 授業オリエンテーション<br>ホームルーム          | 授業概要、到達目標、授業計画、課題と成績評価方法について説明する。アドバイザーグループで改めて自己紹介を行い、お互いをよく理解する。入学後の諸手続き、PC設定、Teams設定などグループ内で理解を深め、不明点は協力して解決する。                                                                   | 講義・グループワーク | 予習：自己紹介の内容を考えてくる。<br>入学後に困っていることリストアップ。（30分）<br>復習：グループ内で情報共有した内容を確認する。（190分） | 杉田<br>一年次アドバイザー教員 |
| 2  | キャリアガイダンス1<br>（各学科の特徴、科目、研究分野） | 科目履修、コース、研究分野、研究室配属など、学科ごとの特徴を理解し、キャリア形成を考える機会とする。                                                                                                                                   | 講義・グループワーク | 予習：学生便覧、履修ガイドを読んでくる。<br>学部ホームページを閲覧してくる。（30分）<br>復習：学生便覧、履修ガイドの再読。（190分）      | 杉田<br>松本          |
| 3  | キャリアガイダンス2（社会制度、経済状態、企業研究）     | 卒業後の各個人のキャリアプランを構築するための基礎知識として、大学生として生活していくに当たって必要な、経済、社会に関する知識を習得する。日本国の経済状況、就職状況、新潟県内企業の就職状況。過去に応用生命科学部卒業生が就職した会社の実績とその事業内容。企業における、賃金体系、各種手当、労働時間、休日日数、昇給制度、福利厚生、雇用保険制度などについて講義する。 | 講義         | 予習：資料を事前に読んでおく（30分）<br>復習：授業で修得した内容をもとに、自分の生活を見直すとともに、キャリアプランを作成する（190分）      | 松本<br>キャリア支援室     |
| 4  | キャリアガイダンス3<br>（就職活動の予備知識）      | 3、4年生で、迎える就職活動について学ぶ。就職活動に必要な知識、スキル、情報、資格、などについて学び、自分にとって必要な準備事項をリスト化する。大学院進学の意味、就職状況について知る。教職課程について知り、志望者はそのキャリアプランを考える。自分で選ばなくてはならない職種、業界、業種、企業について、学ぶ。                            | 講義         | 予習：資料を事前に読んでおく（30分）<br>復習：授業で修得した内容をもとに、自分のなりた職業、就職したい会社についてまとめる（190分）        | 松本<br>キャリア支援室     |
| 5  | 社会で活躍する先輩、ビジネスパーソンの話を聞く1       | 社会で活躍する卒業生や見習うべき社会人の話を聞く。<br>学生時代にやったこと、コース、研究室の選び方。学生生活全般。就職先の選択や、現在の仕事、今後のキャリアプランを聞いて、自分に当てはめて、考えてみる。                                                                              | ●動画配信型授業   | 予習：資料を事前に読んでおく（30分）<br>復習：先輩の話をもとに、自分のキャリアプランを考える（190分）                       | 杉田<br>外部講師        |
| 6  | 社会で活躍する先輩、ビジネスパーソンの話を聞く2       | 前回とは、異なる分野の卒業生の話を聞く。学生時代にやったこと、コース、研究室の選び方。学生生活全般。就職先の選択や、現在の仕事、今後のキャリアプランを聞いて、自分に当てはめて、考えてみる。                                                                                       | ●動画配信型授業   | 予習：資料を事前に読んでおく（30分）<br>復習：先輩の話をもとに、自分のキャリアプランを作成して提出する（190分）                  | 杉田<br>外部講師        |
| 7  | キャリアガイダンス4<br>（社会人基礎知識）        | 生活するうえで必要な知識を修得する。<br>特に、学生でもかかる税金制度など、人生に必要な税に関する基礎的知識について解説する。                                                                                                                     | 講義         | 予習：資料を事前に読んでおく（30分）<br>復習：授業で修得した内容をもとに、自分の生活を見直す（190分）                       | 杉田<br>松本<br>外部講師  |
| 8  | キャリアガイダンス5<br>（能力の伸ばし方）        | PROG試験を受験して、今のコンピテンシー（行動する力）、リテラシー（考える力）の実力を把握する。特に、卒業するまでに延ばして行きたい能力について、目標を立てるとともに、行動する内容を決める。                                                                                     | 講義・演習      | 予習：PROGの試験結果を読んでおく（60分）<br>復習：解説をもとに、自分のスキル育成プランを作成して提出する（160分）               | 杉田<br>外部講師        |
| 9  | 10年後の目標                        | これまでの授業で、修得した知識と、先輩の体験談をもとに、自分の10年後の目標を立て、それを達成するためのキャリア育成プランをつくり、マイルストーンとなるべき項目を設定する。                                                                                               | 講義・演習      | 予習：資料を事前に読んでおく（30分）<br>復習：目標設定、キャリア育成プランを作成し、レポートにまとめて提出する（190分）              | 杉田<br>キャリア支援室     |
| 10 | キャリアガイダンス6<br>（新聞記事のいかし方）      | 新聞の読み方、効果などを講義する。<br>就職活動や将来社会人になった時にどのようにいかにされるか講義する。                                                                                                                               | 講義         | 予習：資料を事前に読んでおく（30分）<br>復習：新聞を読みレポートをまとめて提出する（190分）                            | 杉田<br>外部講師        |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                                    | 著者・編者 | 出版社 |
|-----|---------------------------------------|-------|-----|
| その他 | 必要に応じて、プリント、資料を配布もしくは、Teams上にUPLOADする |       |     |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            |      |        | 50%  | 50%                     |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

必要に応じて講義中やTeamsでコメントする

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー                                        | 研究室（部屋番号）       | Eメールアドレス                       |
|-------|------------------------------------------------|-----------------|--------------------------------|
| 杉田 耕一 | 月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）。Teamsチャットでの事前連絡が望ましい。 | NE211           | agri-sugita@nupals.ac.jp       |
| 松本 均  | 月曜日～金曜日の9:00-18:00（休日、代休日を除く）                  | 食品機能学研究室（E203a） | hitoshi.matsumoto@nupals.ac.jp |

【その他】

友人や先輩との交流や情報交換を大切にしながら、進路について主体的に考えるように努めること。

|                                                                         |        |                          |     |     |
|-------------------------------------------------------------------------|--------|--------------------------|-----|-----|
| <div> <div>情報リテラシー基礎</div> <div>Basic Information Literacy</div> </div> | 授業担当教員 | 高津 徳行・井坂 修久・若栗 佳介・佐藤 里佳子 |     |     |
|                                                                         | 補助担当教員 |                          |     |     |
|                                                                         | 区分     | 教養必修                     |     |     |
|                                                                         | 年次・学期  | 1年次 前期                   | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

医療・健康系分野において、コンピュータが果たす役割はますます大きくなっている。この授業では今後の学習や研究、卒業後の業務などで利用する、パソコンやインターネットを使う上での基本的な知識、セキュリティに対する対応策等について説明し、情報機器の基礎について講義する。また、基本的なソフトウェアを用いて文書作成、実験データ解析や情報収集、プレゼンテーションスライド作成などの実用的なPC活用スキルを指導する。本科目は、1年次後期開講科目「情報リテラシー応用」の基礎に位置付けられる。

【到達目標】

コンピュータそのものの知識を含む情報リテラシーに関する基礎的な知識を学習し、正しい知識・モラルをもって適切にコンピュータを利用することができる。  
知識・理解：１）コンピュータを構成する装置の機能と接続方法を概説できる。２）ソフトウェアの基礎概念について概説できる。３）ネットワークの構成について概説できる。４）インターネットについて概説できる。５）インターネット上でのサービスやソーシャルメディアについて概説できる。６）ネットワークなどのセキュリティについて概説できる。７）コンピュータウィルスや悪意あるソフトウェアなどの脅威について概説できる。８）著作権やその隣接権について概説できる。９）個人情報について概説できる。１０）SNSを利用する上での注意点を概説できる。  
関心・意欲・態度：１）ネットワークを利用する上でのセキュリティに配慮することができる。２）情報システムを扱う上での、マルウェアやコンピュータウィルスなどの各種の脅威への注意点について配慮できる。３）ソーシャルメディア利用上の注意点について配慮できる。４）著作権やその隣接権を尊重することができる。５）個人情報に配慮・保護することができる。  
技能・表現：１）Wordを使用してレポートを作成ができる。２）電子メールを使用してビジネスメールの様式となる文章を作成・送信できる。３）Excelを使用して実験データ処理ができる。４）PowerPointを使用してプレゼンテーションのスライドが作成できる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                                          | 授業内容                                                                          | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                                    | 担当教員           |
|----|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------|----------------|
| 1  | 授業オリエンテーション（前半）<br>コンピューターの構成（１）              | 授業の概要・進め方等を理解する。データサイエンスとは何かを知る。ハードウェアとソフトウェア、ハードウェアとは何かを学ぶ                   | 講義    | 予習：シラバスの熟読。（80分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（180分）     | 高津             |
| 2  | コンピューターの構成（２）                                 | ハードウェアの種類と、その接続方法を学ぶ。                                                         | 講義    | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 高津             |
| 3  | コンピューターの構成（３）                                 | ソフトウェアとは何か、ソフトウェアの種類について学ぶ。                                                   | 講義    | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 高津             |
| 4  | 通信とネットワーク（１）                                  | LANとWAN、ネットワークの接続方法、無線LANのセキュリティについて学ぶ。                                       | 講義    | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 高津             |
| 5  | 通信とネットワーク（２）                                  | インターネットの概念、インターネット接続に必須とされるIPとドメインについて学ぶ、インターネット上でのサービスの種類、ソーシャルメディアについて学ぶ。   | 講義    | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 高津             |
| 6  | 情報とセキュリティ（１）                                  | システムやデータの安全性について学ぶ。                                                           | 講義    | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 高津             |
| 7  | 情報とセキュリティ（２）                                  | ネット上の脅威とその対策、著作権の保護について学ぶ。                                                    | 講義    | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 高津             |
| 8  | 情報とセキュリティ（３）                                  | 個人情報の保護とSNS利用上の注意点について学ぶ（１）                                                   | 講義    | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 高津             |
| 9  | 情報とセキュリティ（４）                                  | 個人情報の保護とSNS利用上の注意点について学ぶ（２）                                                   | 講義    | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 高津             |
| 10 | 授業オリエンテーション（後半）<br>タイピング、電子メール、ワープロソフトWord（１） | コンピュータの基本操作と便利なツールや、電子メールの利用方法とメールマナーについて学ぶ。また、Wordを使用して基本的な文書の作成や飾り文字について学ぶ。 | 演習・課題 | 予習：配布資料を読んでくる。（120分）<br>復習：提出課題を作成する。（120分）     | 井坂<br>若栗<br>佐藤 |
| 11 | ワープロソフトWord（２）                                | Wordを使用してパンフレットの作成について学ぶ。                                                     | 演習・課題 | 予習：配布資料を読んでくる。（120分）<br>復習：提出課題を作成する。（120分）     | 井坂<br>若栗<br>佐藤 |
| 12 | 表計算ソフトExcel（１）                                | Excelを使用して基本的な表計算及びグラフについて学ぶ。                                                 | 演習・課題 | 予習：配布資料を読んでくる。（120分）<br>復習：提出課題を作成する。（120分）     | 井坂<br>若栗<br>佐藤 |
| 13 | 表計算ソフトExcel（２）                                | Excelを使用して複雑なグラフの作成について学ぶ。                                                    | 演習・課題 | 予習：配布資料を読んでくる。（120分）<br>復習：提出課題を作成する。（120分）     | 井坂<br>若栗<br>佐藤 |
| 14 | プレゼンテーション作成ソフトPowerPoint（１）                   | PowerPointを使用してプレゼンテーション用スライドの作成について学ぶ。                                       | 演習・課題 | 予習：配布資料を読んでくる。（120分）<br>復習：提出課題を作成する。（120分）     | 井坂<br>若栗<br>佐藤 |
| 15 | プレゼンテーション作成ソフトPowerPoint（２）                   | PowerPointを使用してアニメーションについて学ぶ。                                                 | 演習・課題 | 予習：配布資料を読んでくる。（120分）<br>復習：提出課題を作成する。（120分）     | 井坂<br>若栗<br>佐藤 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                                    | 著者・編者  | 出版社  |
|-----|---------------------------------------|--------|------|
| 教科書 | 医療系のための情報リテラシー Windows11・Office2021対応 | 佐藤・川上編 | 共立出版 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他              |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|------------------|
| 割合   | 50%  |      |            |      | 30%    |      | 10%                     | 10%              |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         | 前半9回は毎回確認テスト等を行う |

【課題に対するフィードバック方法】

・授業に関して寄せられた要望・質問は、Teams、メール等を利用して受付・回答をする。

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー                               | 研究室（部屋番号）            | Eメールアドレス              |
|--------|---------------------------------------|----------------------|-----------------------|
| 高津 徳行  | 月17:00～19:00 除：教授会開催日 火～金 18:30～19:30 | 薬学教育センター（F棟B101a）    | takatsu@nupals.ac.jp  |
| 井坂 修久  | 月曜日～金曜日（10:00～17:00）                  | 生体分子化学研究室（E403a）     | isaka@nupals.ac.jp    |
| 若栗 佳介  | 月～金 11:00～17:00                       | 新津駅東キャンパス（NE212）     | wakakuri@nupals.ac.jp |
| 佐藤 里佳子 | 月曜日～金曜日の午後（授業時間以外）                    | 応用微生物・遺伝子工学研究室（E201） | rsato@nupals.ac.jp    |



【その他】

10回目以降の質疑応答は、配布された時間割に明記されている授業時間に、Microsoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等を活用して受付実施する。

**成績評価方法・基準に関する補足：**「その他」は毎回確認テスト等を行って評価する。欠席はこの確認テスト等を受けていないものとして扱われる。成績表各順の詳細は、必要に応じて説明する。

前期で使用した授業資料は全て後期に実施される情報リテラシー応用でも利用します。

|                                   |        |        |     |     |
|-----------------------------------|--------|--------|-----|-----|
| 統計学<br>Probability and Statistics | 授業担当教員 | 押金 孝佳  |     |     |
|                                   | 補助担当教員 |        |     |     |
|                                   | 区分     | 教養必修   |     |     |
|                                   | 年次・学期  | 1年次 前期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

現代は自然現象や社会現象において不確実性が増しており、確率論や統計学の考え方や技能が求められている。この授業では、それらに対応できるように確率論や統計学の基本的考え方および手法を講義する。さらに将来、学生諸君が具体的なデータ解析が必要となった場合に、適切な解釈を行い正しく統計的手法を活用出来ることを目標に講義を行う。

【到達目標】

確率論および統計学の基本的な知識と手法を学習し、実験等で必要となるデータ解析を行える能力を身につける。  
知識・理解：1. 不確実な事柄を確率的に考察できる。2. 統計を用いて何ができるか説明できる。3. 統計の基礎的な分析手法について説明できる。  
思考・判断：1. 物事に対して客観データを用いて論理的に他者に説明できる。2. 実験結果をデータ解析し、考察を行うことができる。  
関心・意欲・態度：1. 統計やデータ解析の学習に対する意欲を持つことができる。2. 統計を社会や実験の場で積極的に用いる意欲を持つことができる。  
技能・表現：1. 実験やフィールドワーク等で収集したデータの解析ができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                          | 授業内容                            | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                           | 担当教員 |
|----|-------------------------------|---------------------------------|-------|----------------------------------------|------|
| 1  | 授業オリエンテーション<br>順列・組合せ、標本空間、確率 | 順列・組合せ、標本空間、確率について学ぶ。           | 講義・課題 | 予習：教科書p.2～29（120分）<br>復習：授業内容（150分）    | 押金   |
| 2  | 確率変数と確率分布                     | 確率変数と確率分布について学ぶ。                | 講義・課題 | 予習：教科書p.34～53（120分）<br>復習：授業内容（150分）   | 押金   |
| 3  | 二項分布とポアソン分布                   | 二項分布とポアソン分布について学ぶ。              | 講義・課題 | 予習：教科書p.54～61（120分）<br>復習：授業内容（150分）   | 押金   |
| 4  | 正規分布                          | 正規分布について学ぶ。                     | 講義・課題 | 予習：教科書p.62～71（120分）<br>復習：授業内容（150分）   | 押金   |
| 5  | いろいろな分布                       | 指数分布、一様分布、t分布、カイ2乗分布やF分布について学ぶ。 | 講義・課題 | 予習：教科書p.72～81（120分）<br>復習：授業内容（150分）   | 押金   |
| 6  | 中心極限定理                        | 中心極限定理について学ぶ。                   | 講義・課題 | 予習：教科書p.82～90（120分）<br>復習：授業内容（150分）   | 押金   |
| 7  | 度数分布とヒストグラム                   | 度数分布とヒストグラムについて学ぶ。              | 講義・課題 | 予習：教科書p.94～107（120分）<br>復習：授業内容（150分）  | 押金   |
| 8  | 散布図と相関係数                      | 散布図と共分散、相関係数について学ぶ。             | 講義・課題 | 予習：教科書p.108～113（120分）<br>復習：授業内容（150分） | 押金   |
| 9  | 母集団と標本分布                      | 母集団と標本分布について学ぶ。                 | 講義・課題 | 予習：教科書p.118～127（120分）<br>復習：授業内容（150分） | 押金   |
| 10 | 点推定と区間推定                      | 点推定と区間推定について学ぶ。                 | 講義・課題 | 予習：教科書p.128～143（120分）<br>復習：授業内容（150分） | 押金   |
| 11 | 母平均の検定                        | 母平均の検定について学ぶ。                   | 講義・課題 | 予習：教科書p.144～149（120分）<br>復習：授業内容（150分） | 押金   |
| 12 | 母平均の差と等分散性の検定                 | 母平均の差の検定、等分散性の検定について学ぶ。         | 講義・課題 | 予習：教科書p.151～156（120分）<br>復習：授業内容（150分） | 押金   |
| 13 | 母比率・無相関の検定                    | 母比率・無相関の検定について学ぶ。               | 講義・課題 | 予習：教科書p.157～163（120分）<br>復習：授業内容（150分） | 押金   |
| 14 | 回帰分析                          | 回帰直線、回帰係数の推定と検定について学ぶ。          | 講義・課題 | 予習：教科書p.164～175（120分）<br>復習：授業内容（150分） | 押金   |
| 15 | 第1章～第4章                       | 練習問題と質問受付                       | 講義・演習 | 予習：教科書p.2～175<br>復習：授業内容               | 押金   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名         | 著者・编者 | 出版社  |
|-----|------------|-------|------|
| 教科書 | やさしく学べる統計学 | 石村 園子 | 共立出版 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 70%  |      |            |      | 20%    |      | 10%                     |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

毎回の確認テストを実施し、次回の授業内で解答と解説を行う。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー | 研究室（部屋番号）        | Eメールアドレス |
|-------|---------|------------------|----------|
| 押金 孝佳 | 授業後     | 非常勤講師室(A棟2階A209) |          |

|                                        |        |                  |     |     |
|----------------------------------------|--------|------------------|-----|-----|
| 英語コミュニケーション<br>Communicative English I | 授業担当教員 | Alistair Gillett |     |     |
|                                        | 補助担当教員 |                  |     |     |
|                                        | 区分     | 教養選択             |     |     |
|                                        | 年次・学期  | 1年次 前期           | 単位数 | 1単位 |

【授業概要】

This class focuses on oral communication skills. An important goal of this course is to help all students, regardless of English level, to gain confidence in using English to express their ideas, feelings, and experiences. The course uses information provided by students real lives to practice speaking, reading, writing, and listening to build on skills learned in junior and senior high school. The target is to move towards CEFR pre-B1.

Note : Content of any class can be changed upon the discretion of the instructor.

【到達目標】

This course will help students improve their English speaking and listening comprehension skills. Students will focus on learning to communicate effectively in English about a variety of topics. Classwork will include: Speaking, listening comprehension exercises, note taking, reporting, and grammar focus. Students will share their ideas and experiences in English while involved in pair, small, and large group discussion activities. There will also be group and solo presentation. Most lessons conclude with a one-to-one talk with the teacher.

【授業計画】

| 回  | 授業項目                                                                          | 授業内容                                                                                                                                                                                     | 授業方式     | 授業外学習（予習・復習）                            | 担当教員     |
|----|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------|----------|
| 1  | Introduction to the course.<br>Check student communication level              | Basic verb conjugation. Listening activity. Making questions group activity. Individual writing activity. Teacher interview                                                              | 講義・演習    | 予習：Review verbs（120分）<br>復習：授業内容（120分）  | Alistair |
| 2  | My Favorite Movie.<br>Common likes/dislikes                                   | Phonics communicative activity. Listening close activity. Reading and comprehension activity, writing activity, Class interview activity, Student writing activity. Teacher interview    | 講義・演習    | 予習：Watch a movie（120分）<br>復習：授業内容（120分） | Alistair |
| 3  | She walks to university.<br>3rd person                                        | Vocab check. Grammar focus. Close activity. Unscramble +interview activity. Make questions and interview activity. Report information to teacher in pairs.                               | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）     | Alistair |
| 4  | Cindy Sherman-Artist.<br>Describing someone's life                            | Phonics communicative activity. Group discussion. Communicative close activity. Group activity. Individual writing activity. Class interview activity. Teacher interview.                | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）     | Alistair |
| 5  | Adverbs of frequency                                                          | Warm up. Grammar focus. Grammar check 1. Grammar check 2. Interview activity. Report to teacher. Make a story using adverbs of frequency. Teacher interview                              | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）     | Alistair |
| 6  | Wh/ how questions and 'can' + adverbs of frequency                            | Pop quizz. Grammar focus. Close activity. Close +interview activity. Class interview. Report information to teacher in pairs.                                                            | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）     | Alistair |
| 7  | Where were you born?<br>Wh-questions with did, was, were                      | Warm up. Grammar focus. Close activity. New grammar focus. Matching checking activity. Interview + 8 sentence report. Teacher interview.                                                 | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）     | Alistair |
| 8  | I think summer is better than winter. Opinion, interview, summery, and report | Warm up. Group activity. Individual report. Different subject (students' suggested) -repeat. Teacher checks. Different subject (students' suggested), same procedure. Teacher interview. | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）     | Alistair |
| 9  | What did you do after that?<br>Follow up questions                            | Warm up. Group language focus activity. Group language focus activity 2. Interview teacher. Pair interview activity. Report to teacher                                                   | 講義・演習    | 予習：Watch a movie（120分）<br>復習：授業内容（120分） | Alistair |
| 10 | Individual Interview test.<br>While Group Presentation preparation            | Group movie choice. Example breakdown of story. Group activity breakdown of story.                                                                                                       | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）     | Alistair |
| 11 | Individual Interview test.<br>While Group Presentation preparation            | Example breakdown of movie cast/crew + opinion. Group activity breakdown of movie cast/crew + opinion.                                                                                   | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）     | Alistair |
| 12 | Communicating with an audience                                                | Phonics communicative activity. Emphasis in speaking focus. Emphasis in speaking listening activity - checked in pairs. Emphasis in speaking                                             | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）     | Alistair |
| 13 | Communicating with an audience                                                | Presentation practice. In groups, then to teacher plus comments, then in groups                                                                                                          | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）     | Alistair |
| 14 | Group presentation. Graded                                                    | Graded. Post analysis one to one with teacher                                                                                                                                            | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）     | Alistair |
| 15 | What will you do over the summer?                                             | Post-presentation analysis one to one with teacher continued. Close activity. Writing activity. Pair interview activity. Report to teacher in pairs.                                     | 講義・演習・試験 | 予習：All lessons（120分）<br>復習：授業内容（120分）   | Alistair |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名   | 著者・編者 | 出版社 |
|-----|------|-------|-----|
| その他 | 配布資料 |       |     |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験      | その他の試験        | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|-----------|---------------|------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            | 25%       | 25%           | 15%  | 25%                     | 10% |
| 備考   |      |      |            | interview | presentations |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

テスト解答例を採点済答案とともに返却します。

【連絡先】

| 氏名               | オフィスアワー | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス |
|------------------|---------|-----------|----------|
| Alistair Gillett |         |           |          |

【その他】

質問がある場合は、授業時間前に用紙に英語またはローマ字で記入してください。  
授業中にお答えします。  
教科書はありません。

|                |        |  |        |                                            |
|----------------|--------|--|--------|--------------------------------------------|
| ドイツ語<br>German | 授業担当教員 |  | 倉持 有香子 |                                            |
|                | 補助担当教員 |  |        |                                            |
|                | 区分     |  | 教養選択   |                                            |
|                | 年次・学期  |  | 1年次 通年 | <div> <div>単位数</div> <div>2単位</div> </div> |

【授業概要】

ドイツ語の構造や成り立ちを紹介する。ドイツの習慣や文化的背景を伝える。  
ドイツ語構造の理解の上に語彙や文型を蓄積し、基本的ドイツ語表現を習得する。

【到達目標】

演習/会話活動を積み上げ、ドイツ語のごく初歩的な文法構造を理解し、平易なドイツ語のコミュニケーションスキルを身につける。

知識・理解：ドイツ語と英語の文法的な差を説明できる

思考・判断：文章構造に着眼できる

関心・意欲・態度：ドイツ語らしい発音に配慮できる

技能・表現：定型の簡単な表現を身につける。

【授業計画】

| 回  | 授業項目              | 授業内容                                   | 授業方式          | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                           | 担当教員 |
|----|-------------------|----------------------------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | ドイツ語とドイツ語圏文化 いざない | 授業計画提示・アルファベート・綴りと発音・数詞や季節             | 講義・演習         | 予習：指定教科書を用意の上出席のこと。辞書は不要。辞書を安易に調べるよりも、授業内で扱った語彙を確実に定着させる習慣をつけてほしい。(10分)<br>復習：アルファベート・綴りと発音ルール・数詞を復習、定着練習。教材中の数詞や季節語彙をドイツ語のルールに従って読み上げる練習。(80分)        | 倉持   |
| 2  | 独文法入門とドイツの文化 1    | 動詞の人称変化 語順 平叙文と疑問文 文化紹介「ドイツ語圏のお菓子」     | 講義・演習・グループワーク | 予習：1課を、発音ルールに従い音読してみる。(30分)<br>復習：教室で実施したグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。挨拶での場面を練習する。教材内の語彙や文の運用を覚える (60分)                                                      | 倉持   |
| 3  | 独文法入門とドイツの文化 2    | 職業や身分とsein動詞 wasとwerで開放疑問文 文化紹介「ミュンヘン」 | 講義・演習・グループワーク | 予習：1課全体に目を通し、文法項目を雑駁に理解する。ドイツ文を音読して発音練習を継続する。(30分)<br>復習：教材の設定問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。自己紹介での場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。(60分)                                | 倉持   |
| 4  | 独文法入門とドイツの文化 3    | 名詞の性と格 文化紹介「お城」                        | 講義・演習・グループワーク | 予習：2課を、発音ルールに従い音読してみる。名詞が分類されることに着目し、文法上の「性」とはなにか考える。(20分)<br>復習：復習：グループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。身の回りの物を語り合う場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える (70分)                       | 倉持   |
| 5  | 独文法入門 と ドイツの文化 4  | 名詞と代名詞とhaben動詞 文化紹介「ザルツブルク」            | 講義・演習・グループワーク | 予習：2課全体に目を通し、2課の文法項目を理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分)<br>復習：教材の設定問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。持ち物を語り合う場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)            | 倉持   |
| 6  | 独文法入門 と ドイツの文化 5  | 数詞の復習 時計の読み方 非人称e s 文化紹介「ドイツの交通・買い物」   | 講義・演習・グループワーク | 予習：3課を、発音ルールに従い音読してみる。時計の読み方の日本語の仕組みとの違いに気づく。(20分)<br>復習：グループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。時刻を伝える場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える (70分)                                       | 倉持   |
| 7  | 独文法入門 と ドイツの文化 6  | 不規則動詞① 文化紹介「ハプスブルク家」                   | 講義・演習・グループワーク | 予習：3課の文法項目を雑駁に理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分)<br>復習：教材の設定問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。不規則動詞の活用に基づいて日々の暮らしを語る場面を練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)              | 倉持   |
| 8  | 独文法入門 と ドイツの文化 7  | 不規則動詞② 時刻表現とともに 文化紹介「ウィーン」             | 講義・演習・グループワーク | 予習：3課全体に目を通し、不規則動詞や時計をの読み方に習熟する。(20分)<br>復習：教材の設定問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。交通機関の発着などを語り合う場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。(70分)                                     | 倉持   |
| 9  | ドイツの戦後史講義         | 「ベルリンの壁 構築と崩壊の歴史」                      | 講義            | 予習：第二次世界大戦後のドイツや欧州について基礎的な知識を確認する (30分)<br>復習：自らネット上で戦後のドイツが歩んだ道を調べ、講義と照らし合わせる (60分)                                                                   | 倉持   |
| 10 | 独文法入門 と ドイツの文化 8  | 所有冠詞 文化紹介「ベルリン」                        | 講義・演習・グループワーク | 予習：4課を、発音ルールに従い音読してみる。4課の文法項目を雑駁に理解し、所有冠詞という英語にない概念を考えてみる。(20分)<br>復習：教室でのグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。所有者を明示しながら語る場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)  | 倉持   |
| 11 | 独文法入門 と ドイツの文化 9  | 所有冠詞 と 人称代名詞の3・4格 その語順 文化紹介「ドイツ人の名前」   | 講義・演習・グループワーク | 予習：4課全体に目を通して、英語とは違う仕組みの文法に気づく。<br>前期全体について質問がないか確認する。(20分)<br>復習：教材の設定問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。家族や持ち物について語る場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。夏休み課題を機なす計画をたてる。(70分) | 倉持   |
| 12 | 復習その他             | 前期の振り返り 曜日・月・季節の言い方                    | 講義・演習・グループワーク | 予習：夏休み前に学んだ箇所を教材などで確認し、ふりかえりをする。(20分)<br>復習：夏休み前のことを再度学びなおす。 新たに導入された「月」「曜日」「季節」語彙を定着させる。(70分)                                                         | 倉持   |
| 13 | 独文法入門 と ドイツの文化 10 | 前置詞と格支配 変換前置詞の3格支配 文化紹介「中世ドイツ・町の成り立ち」  | 講義・演習・グループワーク | 予習：夏休み前の学習項目を確認し忘れているところは復習する。5課を発音ルールに従い読み、文法項目を雑駁に理解する。(20分)<br>復習：グループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。場所を開きあう場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)            | 倉持   |
| 14 | 独文法入門 と ドイツの文化 11 | 変換前置詞の4格支配 文化紹介「ドイツの教育制度」              | 講義・演習・グループワーク | 予習：5課を、発音ルールに従い音読してみる。前置詞によって後続の名詞の格が変わることに着目する。(20分)<br>復習：グループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。位置関係を語り合う場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。(70分)                                 | 倉持   |
| 15 | 独文法入門 と ドイツの文化 12 | 前置詞の融合形 や 動詞との組み合わせ 文化紹介「スイス・バーゼル」     | 講義・演習・グループワーク | 予習：5課全体に目を通し文法項目を理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分)<br>復習：教材の設定問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。場所や移動先を語り合う場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)             | 倉持   |
| 16 | 独文法入門 と ドイツの文化 13 | 助動詞 文化紹介「芸術とドイツ」                       | 講義・演習・グループワーク | 予習：6課を、発音ルールに従い音読してみる。英語とは違う助動詞の仕組みに気づく。(20分)<br>復習：教室でのグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。助動詞の運用方法に留意しながら、能力や義務を語る場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。(70分)                      | 倉持   |

| 回  | 授業項目              | 授業内容                                          | 授業方式          | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                | 担当教員 |
|----|-------------------|-----------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 17 | 独文法入門 と ドイツの文化 14 | 副文 と 従属接続詞<br>文化紹介「 <i>ノイシュ・アンシュタイン</i> 城と狂王」 | 講義・演習・グループワーク | 予習：6課を読み副文の構造を理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分)<br>復習：教室でのグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。理由や条件を付加して語る場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)       | 倉持   |
| 18 | 独文法入門 と ドイツの文化 15 | 分離動詞<br>文化紹介「ドイツの水事情と家事」                      | 講義・演習・グループワーク | 予習：6課全体に目を通して、難しくなってきた文法を整理する。音読練習の大切さも忘れず継続する。(20分)<br>復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。各種の文法項目を組み合わせて語り合う練習をする。教材内の語彙運用を覚える。(70分)          | 倉持   |
| 19 | 独文法入門 と ドイツの文化 16 | 形容詞の副詞用法と比較表現<br>文化紹介「レストランの使い方・誕生日の祝い方」      | 講義・演習・グループワーク | 予習：7課-2に目を通し、発音ルールに従い音読してみる。英語に似ている点に気づく。(20分)<br>復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。物の比較を語る練習をする。教材内の語彙運用を覚える。(70分)                           | 倉持   |
| 20 | 独文法入門 と ドイツの文化 17 | z u 不定詞句<br>文化紹介「クリスマス」                       | 講義・演習・グループワーク | 予習：10課-1を読み、英語の to 不定詞との違いに気づく。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分)<br>復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。文法理解に基づいて表現を広げる練習をする。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分) | 倉持   |
| 21 | アニメ映画鑑賞           | ジブリアニメ「魔女の宅急便」をドイツ語で鑑賞                        | 講義・動画鑑賞       | 予習：「魔女の宅急便」のあらすじを確認する。可能なら日本語で視聴してみる。(65分)<br>復習：鑑賞中に気になった語彙やフレーズを調べてみる (25分)                                                               | 倉持   |
| 22 | 独文法入門 と ドイツの文化 18 | 過去表現 haben 支配の現在完了形<br>文化紹介「ドイツの天候」           | 講義・演習・グループワーク | 予習：8課-2を、発音ルールに従い音読してみる。現在完了形の作り方や概念を考える。(20分)<br>復習：教室でのグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。過ぎたことを語り合う場面を練習する。過去分詞の調べ方に慣れる。教材内の語彙運用を覚える。(70分)           | 倉持   |
| 23 | 独文法入門 と ドイツの文化 19 | 過去表現 sein 支配の現在完了形<br>文化紹介「ドイツの祝祭」            | 講義・演習・グループワーク | 予習：8課-2全体を読み文法項目を理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分)<br>復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。過ぎたことを語りあう場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)    | 倉持   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                     | 著者・編者           | 出版社   |
|-----|------------------------|-----------------|-------|
| 教科書 | BUMERANG Re プーメラン・エルエー | 小野寿美子・中川明博・西巻丈児 | 朝日出版社 |
| 参考書 |                        |                 |       |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験             | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験    | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他            |
|------|------------------|------|------------|------|-----------|------|-------------------------|----------------|
| 割合   | 50%              |      |            |      | 20%       | 10%  |                         | 20%            |
| 備考   | 期末試験（教科書のみ持ち込み可） |      |            |      | 授業ごとの小テスト | 中間課題 |                         | 授業参加態度や授業内発言など |

【課題に対するフィードバック方法】

小テストの正解は翌授業で配布する。中間課題については、評価資料として必要であること、下級生への情報流出を防ぐ意味、の2点から返却しない。

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス |
|--------|---------|-----------|----------|
| 倉持 有香子 | 授業前後    | 当該教室      |          |

【その他】

配布プリントを整理する「ドイツ語」専用ファイルを用意すること。辞書は必須ではない。活用が複雑なドイツ語は辞書引くのもむずかしい。辞書が使えるレベルまでいけないので、むしろ授業内で使った語彙を確実に定着させるような努力が望ましい。指定教科書のうち、7課-1、8課-1、9課、10課-2 は扱わない。



|                |        |           |     |     |
|----------------|--------|-----------|-----|-----|
| 中国語<br>Chinese | 授業担当教員 | 肖 航・斯日 古楞 |     |     |
|                | 補助担当教員 |           |     |     |
|                | 区分     | 教養選択      |     |     |
|                | 年次・学期  | 1年次 通年    | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

中国語初級の教科書を用いて、中国語の基礎的な部分を説明します。  
発音や文法といった中国語学習者が苦手とする部分を重点的に指導していきます。

【到達目標】

基本的な語彙や文型を習得し、基本的コミュニケーションスキルを身につけます。  
知識・理解：中国語の初級文法を理解し、異文化について理解する。  
思考・判断：外国語学習を通じて、異文化に対して開かれた思考ができるようになる。  
関心・意欲・態度：中国語をはじめとする異文化に積極的に関心を持つ。  
技能・表現：中国語の初級レベルを身につける。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                    | 授業内容                                                              | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                               | 担当教員    |
|----|-------------------------|-------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------|---------|
| 1  | 授業オリエンテーション<br>導入、発音の基礎 | 「中国」や「中国語」について概観し、受講上の注意点、学習上の注意点、参考書・辞書類の紹介、テストの方法、成績評価について案内する。 | 講義   | 予習：シラバス内容の確認。教科書の概説に目を通す。（60分）<br>復習：中国語の基礎知識（60分）                         | 肖<br>斯日 |
| 2  | 発音の基礎                   | 第1課 中国語の音節・声調                                                     | 講義   | 予習：中国語の音節と声調の予習。（60分）<br>復習：中国語の基礎知識（60分）                                  | 肖<br>斯日 |
| 3  | 発音の基礎                   | 第2課 単母音・複母音                                                       | 講義   | 予習：単母音と複母音の予習。（30分）<br>復習：CDを聞きながら、音節と声調を振り返る。（45分）                        | 肖<br>斯日 |
| 4  | 発音の基礎                   | 第3課 子音①                                                           | 講義   | 予習：子音①の予習。（30分）<br>復習：CDを聞きながら、既習の母音をおさらいする（45分）                           | 肖<br>斯日 |
| 5  | 発音の基礎                   | 第4課 子音②・鼻音                                                        | 講義   | 予習：子音②と鼻音の予習（30分）<br>復習：CDを聞きながら、既習内容をおさらいする。（45分）                         | 肖<br>斯日 |
| 6  | 発音の基礎                   | 発音の規則                                                             | 講義   | 予習：次回内容の予習（60分）<br>復習：教科書の音読。（60分）                                         | 肖<br>斯日 |
| 7  | まとめ                     | 発音の復習                                                             | 講義   | 予習：次回内容の予習<br>復習：教科書の音読。（60分）                                              | 肖<br>斯日 |
| 8  | 復習                      | 発音の映像鑑賞・ピンインのテスト                                                  | 講義   | 予習：次回内容の予習（60分）<br>復習：教科書の音読。（60分）                                         | 肖<br>斯日 |
| 9  | 文法の基礎                   | 第5課 出迎える                                                          | 講義   | 予習：次回内容の予習。（30分）<br>復習：教科書の音読。文法内容の理解。（45分）                                | 肖<br>斯日 |
| 10 | 文法の基礎                   | 第6課 歓迎パーティー                                                       | 講義   | 予習：次回内容の予習。（30分）<br>復習：教科書の音読。内容の理解。（45分）                                  | 肖<br>斯日 |
| 11 | 文法の基礎                   | 第7課 タクシーに乗る                                                       | 講義   | 予習：既習内容の復習。次回内容の予習。（30分）<br>復習：教科書の音読。文法内容の理解。（45分）                        | 肖<br>斯日 |
| 12 | 文法の基礎                   | 第8課 宿泊する①                                                         | 講義   | 予習：既習内容の復習。次回内容の復習。（30分）<br>復習：教科書の音読。文法内容の理解。（45分）                        | 肖<br>斯日 |
| 13 | 文法の基礎                   | 第8課 宿泊する②                                                         | 講義   | 予習：第5課～第8課の内容（60分）<br>復習：教科書の音読。文法内容の理解。（60分）                              | 肖<br>斯日 |
| 14 | 小テスト                    | 前期内容の復習・小テスト                                                      | 講義   | 予習：テストの準備（60分）<br>復習：教科書の音読。文法内容の理解。（60分）                                  | 肖<br>斯日 |
| 15 | 中国文化の紹介                 | 中国の映画鑑賞                                                           | 講義   | 予習：次回内容の予習<br>復習：教科書の音読。文法内容の理解。（60分）                                      | 肖<br>斯日 |
| 16 | 復習                      | 前期内容のおさらい                                                         | 講義   | 予習：既習内容の復習。次回内容の予習。（30分）<br>復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。（45分） | 肖<br>斯日 |
| 17 | 文法の基礎                   | 第9課 道をたずねる                                                        | 講義   | 予習：既習内容の復習。次回内容の予習。（30分）<br>復習：教科書の音読。文法内容の理解。（45分）                        | 肖<br>斯日 |
| 18 | 文法の基礎                   | 第10課 ショッピングをする                                                    | 講義   | 予習：既習内容の復習。次回内容の予習。（30分）<br>復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。（45分） | 肖<br>斯日 |
| 19 | 文法の基礎                   | 第11課 おしゃべりをする                                                     | 講義   | 予習：既習内容の復習。次回内容の予習。（30分）<br>復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。（45分） | 肖<br>斯日 |
| 20 | 文法の基礎                   | 第12課 料理を注文する                                                      | 講義   | 予習：既習内容の復習。（30分）<br>復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。（45分）         | 肖<br>斯日 |
| 21 | 文法の基礎                   | 第13課 サッカーのチケットを買う                                                 | 講義   | 予習：第13課の文法事項の予習（30分）<br>復習：文法を復習する。（60分）                                   | 肖<br>斯日 |
| 22 | 復習                      | 後期内容の復習                                                           | 講義   | 予習：小テストの内容<br>復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。（60分）               | 肖<br>斯日 |
| 23 | テスト                     | 定期試験                                                              | 講義   | 予習：既習内容の復習。（60分）                                                           | 肖<br>斯日 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                                | 著者・編者    | 出版社   |
|-----|-----------------------------------|----------|-------|
| 教科書 | 『改訂版 シャベっていいとも中国語 中西君と一緒に中国へ行こう！』 | 陳淑梅・劉光赤著 | 朝日出版社 |
| 参考書 | はじめての中国語学習辞典                      |          | 朝日出版社 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 60%  |      |            |      | 20%    |      | 20%                     |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |



【課題に対するフィードバック方法】

採点済みの定期試験や小テストを希望者に返却します

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス |
|-------|---------|-----------|----------|
| 肖 航   |         |           |          |
| 斯日 古楞 |         |           |          |

【その他】

授業内容・順序を変更することがあります。

|                |        |           |     |     |
|----------------|--------|-----------|-----|-----|
| コリア語<br>Korean | 授業担当教員 | 朴 貞美・李 垠姫 |     |     |
|                | 補助担当教員 |           |     |     |
|                | 区分     | 教養選択      |     |     |
|                | 年次・学期  | 1年次 通年    | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

韓国語は日本語と同じ語順であり、漢字からきた単語も多いため日本人にとって比較的短時間で学びやすい外国語である。この科目では初めて韓国語を学ぶ学生を対象とし、前期は韓国の文字である「ハングル」の習得に重点をおいて、ハングルの仕組みと自然な発音、読み方や書き方、基礎文法などについて講義する。後期は文字の読み書きにとどまらず、韓国語で実際のコミュニケーションができるように韓国語の基本文法と日常表現を勉強する。前期、後期ともに韓国の文化、日本との関係なども紹介、異文化への理解と関心を高める。

【到達目標】

韓国の文字であるハングルと、初歩の韓国語文法を習得する。また、韓国の文化を知ることで異文化に対する理解を深める。(前期)  
韓国語の基本文法と日常表現を習得し、韓国語で自分のことが表現できる。また、韓国の文化を知ることで異文化に対する理解を深める。(後期)  
知識・理解：ハングルで書かれた文章を自然な発音で読め、初歩の韓国語文法や表現が理解できる。韓国語の基本文法を理解し、基本文型を覚え、さらに応用して話すことができる。  
思考・判断：外国語と他国の文化を学ぶことで、国際化社会で必要とされる、より客観的で開放的な観点からの思考ができる。  
関心・意欲・態度：異文化の面白さにふれることで学習意欲を高め、より積極的にコミュニケーションを図るようになる。  
技能・表現：基礎的な表現を使い、韓国語で自己紹介ができる。初級レベルの韓国語の日常表現を身につける。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                                   | 授業内容                                                                         | 授業方式     | 授業外学習（予習・復習）                                                                                | 担当教員 |
|----|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | 授業オリエンテーション／韓国語概観／1課 ハングルと発音を覚える(1)    | 韓国と韓国語／ハングルの仕組み／あいさつの言葉／単母音／重母音(1)                                           | 講義・演習    | 予習：シラバスを熟読する（30分）<br>復習：授業で扱った内容（90分）                                                       | 朴李   |
| 2  | 1課 ハングルと発音を覚える(1)<br>2課 ハングルと発音を覚える(2) | 子音(1)(2)                                                                     | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 3  | 2課 ハングルと発音を覚える(2)                      | 子音(3)(4)                                                                     | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 4  | 3課 ハングルと発音を覚える(3)                      | 重母音(2)／氏名をハングルで書く                                                            | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 5  | 3課 ハングルと発音を覚える(3)                      | 終声(パッチム)(1)                                                                  | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 6  | 3課 ハングルと発音を覚える(3)                      | 終声(パッチム)(2)／連音化                                                              | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 7  | 文字のまとめ                                 | 韓国語の長文を自然な発音で読む／K-popを歌詞を見ながら聴く                                              | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 8  | 小テスト／4課 私は山田ユリです                       | 小テスト／～です(か)-예요/이에요／～は-는/은                                                    | 講義・試験・演習 | 予習：テストに備えて今まで学習してきたハングル文字・単語を完全に習得しておく（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                             | 朴李   |
| 9  | 4課 私は山田ユリです                            | ～でいらっします(か)-세요/이세요                                                           | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 10 | 4課 私は山田ユリです                            | 自己紹介文の作成                                                                     | 講義・演習    | 予習：自己紹介文の作成準備（60分）<br>復習：自己紹介文を完成させる。（60分）                                                  | 朴李   |
| 11 | 小テスト／前期 総まとめ                           | 小テスト／自己紹介文の確認                                                                | 講義・演習・試験 | 予習：テストに備えて韓国語の文章が自然な発音で読めるようにし、自己紹介文が正しく書けるようにする。（60分）<br>復習：前期の学習内容をまとめ、自己紹介ができるようにする（60分） | 朴李   |
| 12 | 授業オリエンテーション／5課 この近所にスーパーマーケットがありますか。   | 前期の講義内容の確認と後期の講義計画の説明／～が-가/이／～に-에(場所)／～も-도／あります-있습니다／ありません-없어요／指示詞のまとめ-이/그/저 | 講義・演習    | 予習：シラバスの熟読と前期で学内容内容の復習をしておく（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                        | 朴李   |
| 13 | 6課 ヤンニョムチキン1つください                      | ～を-를/을／～と-하고,-와/과／～をください-를/을 주세요／固有数詞                                        | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 14 | 7課 写真1枚撮ってください                         | (用言:動詞・形容詞)～て-아/어／(用言)～てください-아/어 주세요                                         | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 15 | 7課 写真1枚撮ってください                         | 縮約形(1)／縮約形(2)                                                                | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 16 | 8課 週末に何をしますか                           | ～ます(か)・です(か)-아요/어요／～で、～から-에서(場所)                                             | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 17 | 8課 週末に何をしますか                           | 漢数詞                                                                          | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 18 | 9課 遠くありません                             | 用言文の否定形-지 않아요/안-／名詞文の否定形-가/이 아니예요                                            | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |
| 19 | 10課 コーヒー1杯召し上がってください                   | 丁寧な尊敬表現-세요/으세요                                                               | 講義・演習    | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）                                                     | 朴李   |

| 回  | 授業項目                   | 授業内容                                              | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                                     | 担当教員 |
|----|------------------------|---------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------|------|
| 20 | 11課 私は地下鉄で来ました         | 用言の過去形-았어요/었어요／～で-로/으로(手段・方法)                     | 講義・演習 | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）          | 朴李   |
| 21 | 11課 私は地下鉄で来ました／韓国ドラマ鑑賞 | ～へ-로/으로(方向)／韓国ドラマを鑑賞し、感想文を書く                      | 講義・演習 | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：ドラマで見えた異文化について考える（60分） | 朴李   |
| 22 | 12課 今度は是非行きたいです        | ～したいです(か)-고 싶어요／～が好きです(か)・～が嫌いです(か)-를/을 좋아해요・싫어해요 | 講義・演習 | 予習：教科書で授業内容を確認（60分）<br>復習：授業で扱った内容（60分）          | 朴李   |
| 23 | 後期 総まとめ                | 総まとめ                                              | 講義・演習 | 予習：後期の学習内容をまとめておく（60分）<br>復習：期末試験に備え、全体の復習（60分）  | 朴李   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                   | 著者・编者            | 出版社   |
|-----|----------------------|------------------|-------|
| 教科書 | 韓国朝鮮語 初級テキスト 改訂版 根と幹 | 生越直樹 /生越まり子 /池玫京 | 朝日出版社 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート               | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|--------------------|-------------------------|-----|
| 割合   | 30%  | 20%  |            |      | 20%    | 20%                | 10%                     |     |
| 備考   |      |      |            |      | 小テスト   | 授業内外課題、確認クイズ、発表 など | 授業態度、出席率 など             |     |

【課題に対するフィードバック方法】

提出された課題を確認、必要に応じて訂正して返却します。  
小テストは次回の授業で解答の解説を行います。

【連絡先】

| 氏名   | オフィスアワー | 研究室（部屋番号）     | Eメールアドレス |
|------|---------|---------------|----------|
| 朴 貞美 | 授業前後    | 非常勤講師室（A棟209） |          |
| 李 垠妊 | 授業前後    | 非常勤講師室（A棟209） |          |

【その他】

外国語を学ぶ上で一番大切なことは自らコミュニケーションを取ろうとする姿勢です。授業ではペアワークで練習をすることが多いので、積極的に参加しましょう！  
成績評価は合計60%以上を合格とし、出席回数が授業回数の2/3以上を充たさないと試験を受けられなくなるので注意してください。  
授業計画は、進捗状況によって前後する場合があります。

|                  |        |             |     |     |
|------------------|--------|-------------|-----|-----|
| 基礎数学<br>Calculus | 授業担当教員 | 押金 孝佳・武石 文雄 |     |     |
|                  | 補助担当教員 |             |     |     |
|                  | 区分     | 教養選択        |     |     |
|                  | 年次・学期  | 1年次 前期      | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

自然科学系の基礎科目や専門科目を学ぶには、それ以前に、微分積分学(解析学)の基礎知識と計算技能を身に付けておくことが望ましい。この解析学の基本概念である、関数・極限・収束等は高校では「数学Ⅲ」で主に学ぶが、それを履修して来なかった学生も多い。そこで、この授業においては、高校の「数学Ⅲ」での学習内容を再確認することから始めて、微分積分学(解析学)の基礎知識を学習すると共に、実際に自分で演習することにより、その計算技能を習得することを目標に講義を行う。

【到達目標】

- 1) 指数関数、対数関数及び三角関数の特徴・性質を、式及びグラフを用いて説明できる。
- 2) 極限の基本概念を理解し、代表的な関数の極限を求めることができる。
- 3) 導関数の基本概念を理解し、代表的な関数の微分ができる。
- 4) 2変数関数を利用して偏微分の基本概念を理解し、代表的な2変数関数の偏微分及び全微分ができる。
- 5) 原始関数の基本概念を理解し、代表的な関数の不定積分及び定積分ができる。
- 6) 微分方程式の成り立ちを理解し、基本的な微分方程式(変数分離形)の解を求めることができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                                | 授業内容                                                                                                        | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                                                                                            | 担当教員     |
|----|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 1  | 代表的関数の微分(講義)                        | 導関数、四則演算と微分、合成関数の微分、ネーピアの数、自然対数、無理関数、三角関数・逆三角関数・指数関数・対数関数を含む式の微分について学ぶ。                                     | 講義    | 予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分）<br>復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認し、講義で解説された全例題について解説を見なくても解けるようにする（90分）                                                                            | 押金       |
| 2  | 代表的関数の微分(演習)                        | 1回目授業内容(代表的関数の微分)に関する追加説明及び演習                                                                               | 演習    | 予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微分積分の問題の中から選んで解いてみて、解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分）<br>復習：演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微分積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して、ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようにする（120分）                                                           | 押金<br>武石 |
| 3  | 代表的関数の微分(確認試験)<br>代表的関数の極限(講義)      | 1、2回目の授業内容(代表的関数の微分)に関する確認試験、<br>関数の極限(収束・発散)と極限がない場合、べき関数・無理関数・指数関数・対数関数のグラフと極限、有理関数の極限、三角関数を含む式の極限について学ぶ。 | 講義    | 予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分）<br>復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認する。演習動画を視聴して追加説明内容を事前学習し、解説された全例題について解説を見なくても解けるようにする（90分）                                                        | 押金       |
| 4  | 代表的関数の極限(演習)                        | 3回目授業内容(代表的関数の極限)に関する追加説明及び演習                                                                               | 講義・演習 | 予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微分積分の問題の中から選んで解いてみて、解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分）<br>復習：授業中での追加説明内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた演習動画を視聴して再確認する。演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微分積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して、ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようにする（120分） | 押金<br>武石 |
| 5  | 代表的関数の極限(確認試験)<br>2変数関数の偏微分・全微分(講義) | 3・4回目の授業内容(代表的関数の極限)に関する確認試験、<br>2変数関数の偏微分係数・偏導関数・全微分、接平面の方程式について学ぶ。                                        | 講義    | 予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分）<br>復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認する。演習動画を視聴して追加説明内容を事前学習し、解説された全例題について解説を見なくても解けるようにする（90分）                                                        | 押金       |
| 6  | 2変数関数の偏微分・全微分(演習)                   | 5回目授業内容(2変数関数の偏微分・全微分)に関する追加説明及び演習                                                                          | 講義・演習 | 予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微分積分の問題の中から選んで解いてみて、解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分）<br>復習：授業中での追加説明内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた演習動画を視聴して再確認する。演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微分積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して、ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようにする（120分） | 押金<br>武石 |
| 7  | 2変数関数の偏微分・全微分(確認試験)<br>代表的関数の積分(講義) | 5・6回目の授業内容(2変数関数の偏微分・全微分)に関する確認試験、<br>不定積分(原始関数)、定積分、代表的な関数の積分について学ぶ。                                       | 講義    | 予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分）<br>復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認し、講義で解説された全例題について解説を見なくても解けるようにする（90分）                                                                            | 押金       |
| 8  | 代表的関数の積分(演習)                        | 7回目授業内容(代表的関数の積分)に関する追加説明及び演習                                                                               | 演習    | 予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微分積分の問題の中から選んで解いてみて、解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分）<br>復習：演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微分積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して、ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようにする（120分）                                                           | 押金<br>武石 |
| 9  | 代表的関数の積分(確認試験)<br>部分積分法(講義)         | 7・8回目の授業内容(代表的関数の積分)に関する確認試験、<br>部分積分法について学ぶ。                                                               | 講義    | 予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分）<br>復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認し、講義で解説された全例題について解説を見なくても解けるようにする（90分）                                                                            | 押金       |
| 10 | 部分積分法(演習)                           | 9回目授業内容(部分積分法)に関する追加説明及び演習                                                                                  | 演習    | 予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微分積分の問題の中から選んで解いてみて、解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分）<br>復習：演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微分積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して、ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようにする（120分）                                                           | 押金<br>武石 |
| 11 | 部分積分法(確認試験)<br>置換積分法(講義)            | 9・10回目授業内容(部分積分法)に関する確認試験、<br>三角関数・指数関数・べき関数を含む式の置換積分法について学ぶ。                                               | 講義    | 予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分）<br>復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認し、講義で解説された全例題について解説を見なくても解けるようにする（90分）                                                                            | 押金       |
| 12 | 置換積分法(演習)                           | 11回目授業内容(置換積分法)に関する追加説明及び演習                                                                                 | 演習    | 予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微分積分の問題の中から選んで解いてみて、解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分）<br>復習：演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微分積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して、ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようにする（120分）                                                           | 押金<br>武石 |

| 回  | 授業項目                          | 授業内容                                                            | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                                      | 担当教員     |
|----|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 13 | 置換積分法(確認試験)<br>変数分離形微分方程式(講義) | 11・12回目授業内容(置換積分法)に関する確認試験，<br>微分方程式の一般解・特殊解，変数分離形微分方程式について学ぶ。  | 講義    | 予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分）<br>復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について，Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認し，講義で解説された全例題について解説を見なくても解けるようにする（90分）                      | 押金       |
| 14 | 変数分離形微分方程式(演習)                | 13回目授業内容(変数分離形微分方程式)に関する追加説明及び演習                                | 講義・演習 | 予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微分積分の問題の中から選んで解いてみて，解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分）<br>復習：演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微分積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して，ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようにする（120分）     | 押金<br>武石 |
| 15 | 全授業内容のまとめ(最終確認試験とその解答解説)      | 13・14回目の授業内容(変数分離形微分方程式)に関する問題を含むような全範囲での最終確認試験，<br>最終確認試験の解答解説 | 講義・演習 | 予習：全ての回の演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微分積分の問題やその【追加問題】（変数分離形微分方程式に関する問題は必ず含む）の解答解説を復習して，ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようにする（150分）<br>復習：最終確認試験で解けなかったり間違った問題について，解答解説を見ないで解き直してみる（30分） | 押金<br>武石 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名           | 著者・編者        | 出版社              |
|-----|--------------|--------------|------------------|
| 教科書 | セミナーテキスト微分積分 | 寺田・平吹・笠原（共著） | サイエンス社           |
| 教科書 | 微分積分（プリント集）  | 新潟薬科大学       | （1冊にまとめたものを無料配付） |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験                                                                                     | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他                                                     |
|------|------|------|------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|---------------------------------------------------------|
| 割合   |      |      |            |      | 65%                                                                                        |      |                         | 35%                                                     |
| 備考   |      |      |            |      | 3・5・7・9・11・13回目の授業中に実施する6回の確認試験は各5点満点の計30点満点で実施し，15回目授業で実施する最終確認試験は35点満点で実施するので，総計65点満点で評価 |      |                         | 2・4・6・8・10・12・14回目の授業中に実施する7回の課題演習達成率調査を各5点満点の計35点満点で評価 |

【課題に対するフィードバック方法】

課題演習達成率調査の評価点は演習時間終了時に自己評価した評価点(達成率の違いにより評価点が異なる)を自己申告するものとし，各確認試験及び最終確認試験については終了後直ちに解答解説を行う。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー            | 研究室（部屋番号）        | Eメールアドレス |
|-------|--------------------|------------------|----------|
| 押金 孝佳 | 授業終了後              | 非常勤講師室(A棟2階A209) |          |
| 武石 文雄 | 授業担当日の昼休み 及び 授業終了後 | 非常勤講師室(A棟2階A209) |          |

【その他】

履修前準備事項：高校の「数学Ⅱ」の学習内容が身に付いていることを前提として授業を行うので，その自信がない「数学Ⅱ」の単元については，まず自学自習した上でこの授業に臨むこと。

成績評価方法・基準：初回授業においてプリント集と注意事項のプリントを配付し，成績評価方法・基準の詳細を説明するが，成績評価基準としては総合して60%以上で合格とする。



|                         |        |        |     |     |
|-------------------------|--------|--------|-----|-----|
| アロマセラピー<br>Aromatherapy | 授業担当教員 | 飯村 菜穂子 |     |     |
|                         | 補助担当教員 |        |     |     |
|                         | 区分     | 教養選択   |     |     |
|                         | 年次・学期  | 1年次 通年 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

エッセンシャルオイルを利用したブライマリーケア（予防医学）をはじめ、医療現場等で活用されているアロマセラピーの基礎知識を身につけ、薬学的知識と技術を応用しながら、人間が本来持つ感覚や自然治癒力と呼び起こし、日常生活を健康で豊かなものとしてくれるアロマセラピーを安全に実践できる知識、技能として幅広く学ぶ。

【到達目標】

アロマセラピーには、人間が本来持つ感覚や自然治癒力と呼び起こしてくれる作用があり、また日常生活を健康で豊かな生活を送るために、エッセンシャルオイルを利用したブライマリーケア（予防医学）として大変注目されています。セルフメディケーションの時代を迎え、薬物療法だけでなく、薬学的知識と技術を活用したアロマセラピーやメディカルハーブなどの相補・補完療法もバランスよく提案できる知識、技能を身につけ、活用できることを目標とします。

日常生活を健康で豊かな生活を送るために、エッセンシャルオイルを利用したブライマリーケア（予防医学）として大変注目度が高く、また人間が本来持つ感覚や自然治癒力と呼び起こす作用をもつアロマセラピーについて総合的に学び、セルフメディケーションの時代において薬学的知識と組み合わせたアロマセラピーの基礎的な理論や精油の特徴を修得し、人々の生活や医療現場で適正に活用できるようになることを目標としています。

知識・理解：1.植物と精油の関係を説明できる。2. 精油の名称を列挙できる。3. 精油とその作用について説明できる。4. 精油の抽出法と香りの特徴について説明できる。4. 精油の使用法について説明できる。5. 精油の安全性について説明できる。6. 精油の人体への影響を説明できる。7.アロマセラピーに関係する法令について説明できる。

思考・判断：

1.アロマセラピーの基礎知識を健康やスキンケアに役立てるための具体的な手法を述べることができる。2.自分のタイプにあった精油の選択ができる。3.香りのつイメージを感じることができる。4.対象者の症状や体質に応じて、適切な精油を選択することができる。5.人々の生活や医療現場等において、アロマセラピーの応用・利用について具体的に述べることができる。

関心・意欲・態度：

1.予防医学の一環として、アロマセラピを学び、修得することで、健康維持や増進だけでなく、予防医学への関心も高める。2.アロマセラピーを学ぶことで近代・西洋医学と相補・代替療法のいずれも視野に入れた患者中心の医療である統合医療にも関心をもつ。3.現代社会における生活や健康に関する諸問題にアロマセラピーがどのように応用、利用できるかについて述べるができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                            | 授業内容                              | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                         | 担当教員 |
|----|---------------------------------|-----------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | アロマセラピー概論                       | エッセンシャルオイルとアロマセラピー                | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおく。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解を深めておくこと。(90分)                                      | 飯村   |
| 2  | 香りの歴史                           | 香り、アロマセラピーの歴史を知る                  | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |
| 3  | エッセンシャルオイルの成分（1）                | エッセンシャルオイルと植物との関係                 | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。私達の生活に比較的身近にある精油について1つ選択し、調べておくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分) | 飯村   |
| 4  | エッセンシャルオイルの成分（2）                | エッセンシャルオイルの基礎化学<br>香りのイメージと特徴     | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |
| 5  | エッセンシャルオイルの活用                   | 香りの心理作用<br>アロマセラピーとリラクゼーション       | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |
| 6  | エッセンシャルオイルの作用機序                 | エッセンシャルオイルはどのように働くか               | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |
| 7  | エッセンシャルオイルと抗菌との関係               | エッセンシャルオイルと抗菌作用                   | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |
| 8  | 香りのメカニズム                        | 香りが人体に与える影響                       | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |
| 9  | エッセンシャルオイルの抽出・保存                | エッセンシャルオイルの抽出法・保存方法               | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |
| 10 | エッセンシャルオイルのブレンド                 | エッセンシャルオイルのブレンド法人の健康とアロマセラピー      | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |
| 11 | キャリアオイルの種類と活用                   | キャリアオイルの基本的な知識や種類、使い方や注意事項        | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |
| 12 | エッセンシャルオイルの安全性<br>アロマセラピーに関する法律 | エッセンシャルオイルの毒性と禁忌<br>アロマセラピーに関する法令 | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |
| 13 | ストレスとアロマセラピー                    | 香りの心理作用<br>アロマセラピーとリラクゼーション       | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |
| 14 | アロマセラピーと統合ヘルスケア                 | 統合医療とアロマセラピー                      | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |
| 15 | クリニカルアロマセラピー                    | アロマセラピーを医療現場、介護・福祉現場に活かす          | 講義   | 予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分)<br>復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)                                   | 飯村   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                                | 著者・編者           | 出版社             |
|-----|-----------------------------------|-----------------|-----------------|
| 教科書 | Aromacoordinator Lesson TEXT BOOK | 日本アロマコーディネーター協会 | 日本アロマコーディネーター協会 |
| 教科書 | Essential Oil Guide Book          | 日本アロマコーディネーター協会 | 日本アロマコーディネーター協会 |
| 参考書 | クリニカル・アロマテラピー                     | ジェーン・バックル 著     | フレグランスジャーナル社    |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 100% |      |            |      |        |      |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

演習の解答及び解説は授業内で行う。  
学生が独自に作成した予習復習ノート等があり提出した場合にはコメントをつけて返却する。

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー         | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス            |
|--------|-----------------|-------------------|---------------------|
| 飯村 菜穂子 | 火ー木 16:00-18:00 | 薬学教育センター（F棟B101b） | iimura@nupals.ac.jp |

【その他】

講義日程をすべて修了し、所定の条件を満たした学生は、アロマコーディネーターライセンス試験の受験ができます。アロマコーディネーターライセンスの取得を希望する学生は必ず履修してください。アロマコーディネーターライセンス試験の詳細、及びアロマコーディネーターの活動等については、1回目の講義時間内で説明をします。また追加説明がある場合には、講義内で適宜説明をします。  
アロマコーディネーターを目指している学生への連絡は、Teamsやポータル配信等で適宜公開します。  
本科目の成績は、総合で60%以上で合格とします。  
アロマセラピーをさらに学びたい学生のための活動を課外的に行う場合があります。希望者に対してTeamsやポータル配信等で適宜連絡をします。

|                      |        |        |     |     |
|----------------------|--------|--------|-----|-----|
| 生命・医療倫理<br>Bioethics | 授業担当教員 | 長倉 望   |     |     |
|                      | 補助担当教員 |        |     |     |
|                      | 区分     | 教養選択   |     |     |
|                      | 年次・学期  | 1年次 前期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

わたしたちは科学技術の発展した現代社会を生きています。生殖技術、医療技術、IT技術など、科学技術の発達之恩恵をうける一方、そのことによって、わたしたちの「いのち」が対象化され、その意味を見失いかねない状況が生まれています。人はいつ生まれ、いつ死を迎えるのか、生死の区切りすら、不明瞭になったり、大きく変化したりしています。この講義では、応用生命学部で学ぶみなさんが科学の発展とともに新しく生まれてきた生命倫理の諸課題を理解し、現代社会を生きるわたしたちの命についての理解を深めることができるように、さまざまな角度から、命の理解について講義し、命に対する倫理的ありかたについて検討します。

【到達目標】

生命倫理の課題を理解し、現代社会を生きる自分のいのちについて、考察を深める。  
知識・理解：科学技術と人間の命に関する倫理的課題の概要を理解する。  
思考・判断：現代社会を生きる自らの命について自覚し、考察を深める。  
関心・意欲・態度：現代社会の生命倫理的課題に関心をもち、様々な立場からの議論を理解し、整理することができるようになる。  
技能・表現：生命倫理的な課題に対して、様々な議論をふまえ、その中での自分の立ち位置を明確にしながら、自分にとっての「いのちの理解」を語ることができるようになる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                            | 授業内容                                                                                | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                 | 担当教員 |
|----|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------|------|
| 1  | 授業オリエンテーション／講師自己紹介／生命倫理とは何か     | 主観的ないのちと客観的ないのちについて、自分たちが生きるいのちの捉え方を考える。                                            | 講義   | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      | 長倉   |
| 2  | いのちの理解の多面性                      | 比較的新しい学問である生命倫理の課題と歴史を外観する。また、WHOの健康の定義から見る命の理解や、科学主義的な現代社会の中から立ち上がるいのちへの問いについて考える。 | 講義   | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      | 長倉   |
| 3  | 科学といのち、思想宗教といのち                 | キリスト教を例として、科学的ないのちのとらえ方と、思想宗教的なとらえ方の違いについて考察する。                                     | 講義   | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      | 長倉   |
| 4  | 関係の中を生きるいのち                     | 生物的な生命に「意味」を与える人格関係について考察すると共に、「死」についての多面的理解についても考える。                               | 講義   | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      | 長倉   |
| 5  | 時間の中を生きるいのち                     | ギリシャ神話と聖書にみられる時間意識の違いをもとに、科学技術と倫理道德の関係について考察する。                                     | 講義   | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      | 長倉   |
| 6  | 前半のまとめ                          | 第5回までの講義で扱ったいのちの理解についてのまとめを行い、後半に扱う具体的な生命倫理的課題を考えるための備えとする                          | 講義   | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      | 長倉   |
| 7  | 生まれるいのち～生殖医療をめぐって～              | 人工授精、体外受精など、生命倫理の課題の中の「いのちの始まり」に関する課題を外観し、倫理には様々な立場・判断があることを学ぶ。                     | 講義   | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      | 長倉   |
| 8  | 選別される命～人工妊娠中絶・出生前診断～            | 工妊娠中絶や出生前診断の議論を外観し、生命倫理の課題が、個人的・医学的な課題であると同時に、社会的・政治的課題ともなっている現状について学ぶ。             | 講義   | 予習：授業項目、授業内容に関するまとめを作成し提出。<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分） | 長倉   |
| 9  | 選別された命～ナチスドイツのT4作戦～             | 優生思想とその行き着く先について、ナチスドイツの事例に学ぶ。                                                      | 講義   | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      | 長倉   |
| 10 | 選別された命2～科学主義の問題点～               | ナチスドイツのT4作戦に加え、2016年7月に起こった相模原連続殺傷事件について学び、科学主義の問題点について考察する。                        |      | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      |      |
| 11 | 社会的差別といのち～日本におけるハンセン病隔離政策の歴史から～ | わたしたちの社会にひそむ優生思想について、日本におけるハンセン病患者隔離政策の歴史から学ぶ。                                      | 講義   | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      | 長倉   |
| 12 | いのちの多様性                         | 前回講義を受けて、いのちの多様性を考える。その例として、浦河べてるの家の活動を紹介しつつ、オルタナティブな社会のあり方について検討する。                | 講義   | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      | 長倉   |
| 13 | 早められた命の終わり～脳死・臓器移植の課題～          | 医療技術の発展と共に現れた脳死の問題について学び、生命倫理的課題について考察する。                                           | 講義   | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      | 長倉   |
| 14 | 死といのち～終末期医療・尊厳死・自死～             | いのちの終わりについての諸課題について考察し、いのちの意味についてもう一度問い直す。                                          | 講義   | 予習：なし<br>復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）                      | 長倉   |
| 15 | まとめ／課題と展望                       | これまで扱ったテーマを復習し、生命倫理の課題と展望を整理して学ぶ。また知識の定着度を測るテストを行う。                                 | 講義   | 予習：なし<br>復習：今学期に学んだこと、また学びを通しての自分自身の変化について考えをまとめて提出（270分）    | 長倉   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名             | 著者・編者 | 出版社 |
|-----|----------------|-------|-----|
| 教科書 | 使用しない。         |       |     |
| 参考書 | 必要に応じて授業で紹介する。 |       |     |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            |      | 10%    | 70%  | 20%                     |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

講義ごとに、講義を受けて自分の考えをまとめたレポート（リアクションペーパー）を20分程度で作成、提出。次回の講義で、その中からいくつかを匿名で紹介しながら、コメントを加える形で、仮想ディスカッションの時となるよう講義を進めます。最後の講義で、知識の確認をする小テストを行います。

【連絡先】

|      |         |           |          |
|------|---------|-----------|----------|
| 氏名   | オフィスアワー | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス |
| 長倉 望 | 講義終了後   | 非常勤講師室    |          |

【その他】

Microsoft Teams を用いて、講義資料の配布等を行います。

|                          |        |        |     |     |
|--------------------------|--------|--------|-----|-----|
| 科学技術論<br>Science Studies | 授業担当教員 | 太田 紘史  |     |     |
|                          | 補助担当教員 |        |     |     |
|                          | 区分     | 教養選択   |     |     |
|                          | 年次・学期  | 1年次 前期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

科学は歴史的にどのようにして成立し、どのように発展してきたのか。技術は社会をどのように変え、人生をどのように形作っているのか。現代の科学技術はどのような倫理問題をもたらしているのか。科学と技術にまつわる様々な問題を、科学と技術の外側から検討する。

【到達目標】

知識・理解：科学と技術がどのような特性を持っているのか、またそれがどのような問題をもたらしうるのかを説明できる。  
思考・判断：科学と技術にまつわる問題を、哲学的なもの、歴史的なもの、社会的なもの、倫理的なものに類別できる。  
関心・意欲・態度：科学と技術の進歩に対して、それがどのように社会や人生に影響しうるかという観点から討議することができる。  
技能・表現：これまでの諸研究で議論されてきたことを踏まえながら、科学と技術がもたらしうる問題について自身の考えを表現することができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目             | 授業内容                                                                          | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                       | 担当教員 |
|----|------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | 科学の進歩            | 科学がもたらす知識は特別なもののように思われる。科学はどのように生じ、どのように進歩してきたのかを考える。                         | 講義   | 予習：科学とそうでないものの区別が何かを考えておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）   | 太田   |
| 2  | 科学と宗教            | 科学と宗教は、歴史上隣り合わせであったが、今やその乖離は明らかである。両者の微妙な関係について考えてみる。                         | 講義   | 予習：科学と宗教の歴史について調べておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）        | 太田   |
| 3  | リフレクション&ディスカッション | 「科学の進歩」「科学と宗教」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。                                         | 講義   | 予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分） | 太田   |
| 4  | 科学と人間            | 科学は物質、生命、宇宙だけではなく、人間の心や行動をも対象としてきた。科学の進歩が人間観をどう変えるのか、考えてみる。                   | 講義   | 予習：心の科学の歴史について調べておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）         | 太田   |
| 5  | 技術と生             | 人間の生き方は、社会に浸透する技術から独立ではいられない。技術とともに変容する生のありかたについて考えてみる。                       | 講義   | 予習：身の回りの技術にどのようなものがあるか考えておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分） | 太田   |
| 6  | リフレクション&ディスカッション | 「科学と人間」「技術と生」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。                                          | 講義   | 予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分） | 太田   |
| 7  | 科学技術者の責任         | 科学技術がもたらすものは利益だけではない。それは軽微なものから甚大なものまで様々な副次的な害をもたらしうる。科学技術者に課せられた責任について考えてみる。 | 講義   | 予習：科学技術の害の事例を調べておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）          | 太田   |
| 8  | 科学と研究公正          | 科学研究は知的な誠実さを前提としているが、その内実とは時代や状況を通じて多様である。公正な研究のありかたについて考えてみる。                | 講義   | 予習：研究不正の事例を調べておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）            | 太田   |
| 9  | リフレクション&ディスカッション | 「科学者の責任」「科学と研究公正」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。                                      | 講義   | 予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分） | 太田   |
| 10 | 生命科学技術の倫理        | 生命を操作することに対して倫理的な限界はあるだろうか。価値やその根拠をめぐる問いについて考えてみる。                            | 講義   | 予習：生命科学技術にまつわる報道を調べておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）      | 太田   |
| 11 | 神経科学技術の倫理        | 他者の脳に介入して善良な人間にしてみてもよいだろうか。私の脳を機械と接続したら、どこまでが私なのだろうか。心をめぐる技術の難問を考え見る。         | 講義   | 予習：神経科学技術にまつわる報道を調べておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）      | 太田   |
| 12 | リフレクション&ディスカッション | 「生命科学技術の倫理」「神経科学技術の倫理」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。                                 | 講義   | 予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分） | 太田   |
| 13 | 人工知能技術の倫理        | 人工知能に委ねてよい意思決定の範囲はどこまでだろうか。人工知能は責任を負いうるのだろうか。確実に迫る未来社会について考えてみる。              | 講義   | 予習：人工知能技術にまつわる報道を調べておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）      | 太田   |
| 14 | 宇宙科学技術の倫理        | 宇宙開発はどのような問題をもたらすか。宇宙に進出するのは何のためなのか。地球人類の1人として考えてみる。                          | 講義   | 予習：宇宙科学技術にまつわる報道を調べておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）      | 太田   |
| 15 | リフレクション&ディスカッション | 「人工知能技術の倫理」「宇宙科学技術の倫理」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。                                 | 講義   | 予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分）<br>復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分） | 太田   |

【教科書・参考書】

|    |    |       |     |
|----|----|-------|-----|
| 種別 | 書名 | 著者・編者 | 出版社 |
|----|----|-------|-----|

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート           | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|----------------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            |      |        | 100%           |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        | 毎回の授業で論述課題を課す。 |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

提出された課題については個別に対応する。また一部については授業中に公開して検討材料とする。

【連絡先】

|       |         |           |          |
|-------|---------|-----------|----------|
| 氏名    | オフィスアワー | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス |
| 太田 紘史 |         |           |          |



|                                         |        |        |     |     |
|-----------------------------------------|--------|--------|-----|-----|
| 歴史学<br>History (Russian-Jewish History) | 授業担当教員 | 中谷 昌弘  |     |     |
|                                         | 補助担当教員 |        |     |     |
|                                         | 区分     | 教養選択   |     |     |
|                                         | 年次・学期  | 1年次 前期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】  
ミュージカル「屋根の上のバイオリン弾き」の舞台となったロシア（東欧）のユダヤ人の世界を中心に、ユダヤ人の歴史や文化について講義する。

【到達目標】  
「ユダヤ人」や「ユダヤ人問題」に関して、基本的なことが説明できる。ユダヤ史およびそれに関連した西洋史（特にロシア・東欧の近現代史）について、基本的なことが理解する。

知識・理解：1. 「ユダヤ人」について説明できる。2. 古代イスラエル史について説明できる。3. 中世ドイツにおけるユダヤ人迫害について説明できる。4. 近世ポーランドにおけるユダヤ人の役割について説明できる。5. 帝政ロシアのユダヤ人問題（ポグロムなど）について説明できる。6. ホロコーストについて説明できる。

思考・判断：1. ユダヤ人問題を通して、現代の民族問題についても考察できるようになる。

関心・意欲・態度：1. ユダヤ人問題を通して、近現代の民族問題にも関心をもてるようになる。

技能・表現：「ユダヤ人」や「ユダヤ人問題」に関して、基本的なことが説明できるようになる。

| 回  | 授業項目                             | 授業内容                                                                | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                 | 担当教員 |
|----|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | 授業オリエンテーションとイントロダクション：「ユダヤ人」とは誰か | 「ユダヤ人」の定義を理解する。映画「屋根の上のバイオリン弾き」について紹介する。                            | 講義   | 予習：『旧約聖書』について調べる。（120分）<br>復習：「ユダヤ人」（定義）について。（120分）                          | 中谷   |
| 2  | 古代のユダヤ人（1）：「ユダヤ教」の成立             | 『旧約聖書』の世界のうち、アブラハムの時代から王国建設までを理解する。                                 | 講義   | 予習：離散(ディアスポラ)について調べる。（120分）<br>復習：『旧約聖書』について。（120分）                          | 中谷   |
| 3  | 古代のユダヤ人（2）：離散（ディアスポラ）のはじまり       | 『旧約聖書』の世界のうち、王国分裂から離散（ディアスポラ）にいたるまでを理解する。                           | 講義   | 予習：十字軍およびユダヤ人迫害（中世）について調べる。（120分）<br>復習：離散(ディアスポラ)について。（120分）                | 中谷   |
| 4  | 中世ドイツのユダヤ人：十字軍と迫害のはじまり           | 中世ドイツのユダヤ人の歴史のうち、特に十字軍以降のユダヤ人迫害について理解する。                            | 講義   | 予習：ポーランド王国（16～17世紀）について調べる。（120分）<br>復習：十字軍とユダヤ人の迫害について。（120分）               | 中谷   |
| 5  | 東欧のユダヤ人（1）：ユダヤ人の黄金時代             | 中世、ポーランドに移住したユダヤ人が享受した「黄金時代」について理解する。                               | 講義   | 予習：コサックについて調べる。（120分）<br>復習：ポーランド王国とユダヤ人の黄金時代について。（120分）                     | 中谷   |
| 6  | 東欧のユダヤ人（2）：フメリニツキーの乱             | ユダヤ人の「黄金時代」が終焉する契機となったフメリニツキーの乱（コサック）について理解する。                      | 講義   | 予習：ハシディズム（ユダヤ教の宗派）やイディッシュ語について調べる。（120分）<br>復習：コサック(フメリニツキー)について。（120分）      | 中谷   |
| 7  | 東欧のユダヤ人（3）：東方ユダヤ人の成立             | フメリニツキーの乱後に成立した「東方ユダヤ人」について理解する。                                    | 講義   | 予習：エカテリーナ2世やポーランド分割について調べる。（120分）<br>復習：東方ユダヤ人の特徴（ハシディズムやイディッシュ語）について。（120分） | 中谷   |
| 8  | ポーランド分割とユダヤ人                     | ポーランド分割によってロシア帝国に組み込まれることになったユダヤ人の運命について理解する。                       | 講義   | 予習：アレクサンドル1世やニコライ1世について調べる。（120分）<br>復習：ポーランド分割とエカテリーナ2世について。（120分）          | 中谷   |
| 9  | ロシア帝国とユダヤ人                       | 19世紀前半のアレクサンドル1世およびニコライ1世時代のロシア帝国のユダヤ人政策について理解する。                   | 講義   | 予習：アレクサンドル2世および彼が行った農奴解放について調べる。（120分）<br>復習：19世紀前半のロシア帝国のユダヤ人政策について。（120分）  | 中谷   |
| 10 | 「大改革」とユダヤ人                       | 1861年に農奴解放を行ったアレクサンドル2世のユダヤ人政策および「大改革」によって急激に変貌したユダヤ人の生活について理解する。   | 講義   | 予習：ポグロム（pogrom）について調べる。（120分）<br>復習：大改革・農奴解放とユダヤ人について。（120分）                 | 中谷   |
| 11 | 1881年ポグロム                        | 1881年に南ウクライナで多発した「ポグロム」（＝ユダヤ人に対する暴行、略奪など）とその後のロシア帝国のユダヤ人政策について理解する。 | 講義   | 予習：1905年革命（ロシア第一革命）について調べる。（120分）<br>復習：1881年ポグロムについて。（120分）                 | 中谷   |
| 12 | 1905年革命とポグロム                     | 1905年にロシア帝国で起こった革命（ロシア第一革命）とそれに伴って発生した「ポグロム」について理解する。               | 講義   | 予習：ロシア・ユダヤ人のアメリカ移民について調べる。（120分）<br>復習：1905年革命と第二次ポグロムについて。（120分）            | 中谷   |
| 13 | ロシア・ユダヤ人のアメリカ移民                  | 19世紀末から20世紀初頭にかけてロシアからアメリカに移民したユダヤ人について理解する。                        | 講義   | 予習：ロシア革命（1917年）について調べる。（120分）<br>復習：ロシア・ユダヤ人のアメリカ移民について。（120分）               | 中谷   |
| 14 | ロシア革命とユダヤ人                       | 1917年のロシア革命にかかわった多くのユダヤ人について理解する。                                   | 講義   | 予習：ホロコーストについて調べる。（120分）<br>復習：ロシア革命とユダヤ人について。（120分）                          | 中谷   |
| 15 | 東欧のユダヤ人（4）：ホロコースト                | 第2次世界大戦時のホロコーストについて、東欧（ロシア）を中心に理解する。                                | 講義   | 予習：期末試験準備。（120分）<br>復習：講義内容の復習と総まとめ。（120分）                                   | 中谷   |

| 種別  | 書名             | 著者・編者         | 出版社     |
|-----|----------------|---------------|---------|
| 参考書 | 牛乳屋テヴィエ        | S・アレイヘム作／西成彦訳 | 岩波文庫    |
| 参考書 | ユダヤ人           | 上田和夫          | 講談社現代新書 |
| その他 | 講義時にプリントを配布する。 |               |         |

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 70%  |      |            |      |        |      | 30%                     |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】  
毎回の授業の最初に行われる確認テストは、その場で解答・解説を行います。また授業に関して寄せられた要望はPortal NUPALSで回答します。定期試験終了後、Cyber-NUPALSに解答例（ただし記述問題のみ）をアップロードする予定です。

| 氏名    | オフィスアワー | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス |
|-------|---------|-----------|----------|
| 中谷 昌弘 |         |           |          |

【その他】  
予習の際には、インターネットや電子辞書（百科事典）を利用してもかまいません（ただしインターネット上の情報のなかには怪しいものも含まれていますので注意してください）。

|                                                                       |        |        |     |     |
|-----------------------------------------------------------------------|--------|--------|-----|-----|
| <div> <div>マス・メディア論</div> <div>A Study of Media Literacy</div> </div> | 授業担当教員 | 田中 幸弘  |     |     |
|                                                                       | 補助担当教員 |        |     |     |
|                                                                       | 区分     | 教養選択   |     |     |
|                                                                       | 年次・学期  | 1年次 前期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

近年、インターネットやスマホの情報通信機能が広く社会に定着したとはいえ、テレビや新聞を中心とするマス・メディアはまだまだ私たちの重要な情報源である。授業では、こうした多様化するマス・メディアとソーシャルメディアとどう向き合って、各方面で進展するDXの法的枠組みを視野に入れた上で、自分たちの情報生活をより豊かなものにしていくかを目的とする「メディアリテラシー教育」の基本につき法的枠組みも踏まえて講義する。

【到達目標】

各方面で進展するDXの法的枠組みを視野に入れた上で、人生をより豊かに生きるために以下に列挙する①～③の3つのリテラシーを、限られた時間の中でバランスよく習得する。①メディア・リテラシー：マスメディアやソーシャルメディア（SNS）の情報を、鵜呑（うの）みにしないで、主体的かつ批判的に読み解く能力。②メディカル・リテラシー：応用科学分野との関係も踏まえた医療・健康情報等のより正しい知識を身に付けたり、理解できる能力。食と健康に関するフード・リテラシーを含む。③リーガル・リテラシー：社会的ルールとしての法律に関する基礎的な知識を身に付けたり「法律の日本語」を読み解く能力を身に付ける。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                                                                                                                                                                            | 授業内容                                                                                                                                                                               | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                                                                                       | 担当教員 |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | メディア・リテラシーとメディカル・リテラシー                                                                                                                                                          | 「メディア・リテラシー」の基本概念、およびメディアの特性を構成する基本的な概念について学びます。マスメディアの「情報操作」のメカニズムや、プロパガンダ（政治宣伝）等の概念についても歴史的な経緯も踏まえ言及しつつ、応用化学とメディカルリテラシーとしての情報の収集・検証・管理の視点、ソーシャル・メディアでの留意点も含めて検討していく。             | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 2  | メディアとは何かを考えてみよう・・・マス・メディアとソーシャル・メディア                                                                                                                                            | マスメディア情報を鵜呑みにすることの危険性を知り、主体的な視聴者となることの必要性の導入授業となる。さらに、常識を疑ってみるということ・固定観念・思い込みの排除といったリテラシー向上のために、ソーシャル・メディアでの書き込みも含めて、私たちにとって「事実」とは何かを考えていく。                                        | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 3  | メディアを支える各時代の技術の観点からの整理・・・ニュース・報道ジャーナリズム・検証（報道）番組                                                                                                                                | 「マスメディアがつくる風評被害」について、特定の企業の不祥事や最近の日本社会における企業倫理の崩壊＜モラル・ハザード＞を厳しく糾弾するのではなく、メディアを支える各時代の技術の観点からの整理をしながら、その属性に応じて、テレビ番組の視聴者・消費生活者としての私たちの主体的な生き方の問題を考える。メディアと報道の自由とプライバシーの権利についても言及する。 | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 4  | DXの推進と各種メディアと内部統制とコンプライアンスの視点                                                                                                                                                   | 我が国の国・自治体、民間セクターにおけるDXの推進と法的枠組みの変化と会社法上の内部統制とコンプライアンスの枠組みと放送産業の現代的課題について考え検証していく。                                                                                                  | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 5  | 「ドキュメンタリー番組」と「ドラマ」（ノンフィクションとフィクションの境界）、テレビのリアリティ構成・テレビ番組の解説・テレビの商業的な背景といった問題とソーシャル・メディアでの状況の相違、「社会的マジョリティ」とマイノリティ」という視点から、「社会差別・社会的不正義発見」のためのマスメディアの役割と社会的影響と法的規制枠組みも踏まえて考えていく。 | 「ドキュメンタリー番組」と「ドラマ」（ノンフィクションとフィクションの境界）、テレビのリアリティ構成・テレビ番組の解説・テレビの商業的な背景といった問題とソーシャル・メディアでの状況の相違、「社会的マジョリティ」とマイノリティ」という視点から、「社会差別・社会的不正義発見」のためのマスメディアの役割と社会的影響と法的規制枠組みも踏まえて考えていく。    | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 6  | ソーシャル・メディアとインターネットと法的枠組み                                                                                                                                                        | インターネットとソーシャル・メディアの関係、ソーシャル・メディアの社会的役割と弊害について法的な視点も交えて検証する。メディアと報道の自由とプライバシーの権利についても言及する。                                                                                          | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 7  | 映像の文法・メディアの文法                                                                                                                                                                   | 映画やテレビ・ドラマを形作る3つの要素である、脚本（シナリオ）・映像（撮影）・編集（カッティング）についての基礎知識を参考に、映像コンテンツとソーシャル・メディアの関係、ネット・リテラシーと法的な問題について言及する。                                                                      | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 8  | 映像・映画・ニュース・報道・ドラマ 紙とフィルムと電波と映像と動画                                                                                                                                               | 映像・映画・ニュース・報道・ドラマ 紙とフィルムと電波と映像と動画の属性を踏まえたその加工と編集とその効果、さらには現実社会への影響の基本を考える。                                                                                                         | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 9  | メディア属性と編集とフェイクニュース                                                                                                                                                              | メディア属性と編集とフェイクニュースについての問題状況を検証する。                                                                                                                                                  | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 10 | 憲法・特別法と検閲・通信の秘密の法的枠組み                                                                                                                                                           | 日本国憲法・特別法における検閲・通信の秘密についての法的枠組みを考える                                                                                                                                                | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 11 | 米国通信品位法とSNS                                                                                                                                                                     | 米国通信品位法とSNSでの発言の「削除」とアカウント停止問題について考え、マスメディアとの属性上の差異について検証する。                                                                                                                       | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 12 | アメリカでのマスメディアとSNSを巡る課題の現状（1）                                                                                                                                                     | 大統領選挙とメディアについて、ケネディ対ニクソンの大統領選挙におけるテレビの役割がどんなものであったかを考え、その後のテレビ等のマスメディアの社会における役割を考えその後のSNSの影響の關係の端緒を検証する。                                                                           | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 13 | アメリカでのマスメディアとSNSを巡る課題の現状（2）                                                                                                                                                     | トランプ政権後のメディアを巡る課題について考え、現在に至るSNSと米国の通信品位法のその後の展開について検証する。                                                                                                                          | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |



| 回  | 授業項目                            | 授業内容                                                                                                                                                                                                                          | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                                                                                       | 担当教員 |
|----|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 14 | 我が国におけるマスメディアを巡る課題と将来像（1）       | 戦後のメディアの進展と法的課題について、放送法や電気通信事業法の法的枠組みと位置づけについて考える。                                                                                                                                                                            | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |
| 15 | 我が国におけるマスメディアを巡る課題と将来像（2）・・・まとめ | 大手放送メディアのビジネスモデルと内部統制・コンプライアンスの視点について、今後のマスメディアとSNSの法的枠組みの将来像（応用生命科学部の皆さんの将来のキャリア形成との関係も含めて）について考える<br>フリー・トークとレポート作成のためのアサインメントと指導<br>事前に配布した、質問用紙の内容をベースにして、時間の許す限り、Q&Aの時間とする。あわせて最終レポートの課題設定と、論理的構成力を持った短いレポートの書き方講座を実施する。 | 講義・演習 | 予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分)<br>復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分) | 田中   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                              | 著者・編者                | 出版社             |
|-----|---------------------------------|----------------------|-----------------|
| 教科書 | 特に指定しない・基本的には講師作成のレジュメに従って授業を行う |                      |                 |
| 参考書 | 情報・メディアと法                       | 児玉晴男                 | 一般社団法人放送大学教育振興会 |
| 参考書 | 失われた報道の自由                       | マーク・R・レヴィン＝著（道本美穂＝訳） | 日経BP            |
| 参考書 | トランプ圧勝 なぜ米国民は彼を選んだのか            | やまたつ                 | 徳間書店            |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 100% |      |            |      |        |      |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

定期試験模範解答をCyber-Campusへアップロードする。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー | 研究室（部屋番号）     | Eメールアドレス |
|-------|---------|---------------|----------|
| 田中 幸弘 | 講義終了後   | 非常勤講師室（A棟209） |          |

【その他】

授業はすべて事前配布か、あるいは当日配布の「レジュメ」を使用の予定。  
成績評価については、合計が60%以上で合格とする。

|       |        |        |     |     |
|-------|--------|--------|-----|-----|
| 社会心理学 | 授業担当教員 | 内山 景衣  |     |     |
|       | 補助担当教員 |        |     |     |
|       | 区分     | 教養選択   |     |     |
|       | 年次・学期  | 1年次 前期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

この授業では、社会的存在である私たち人間がどのように物事を捉え、行動する傾向があるのか、また特定の状況下においてどのような心理状態を経験するのかなどを、社会心理学の諸理論を通して学習する。また、集団における心理、対人認知、コミュニケーションなど様々な視点から人間の本質についての理解を深めていく。

【到達目標】

- 1) 自己の成り立ち、心のバランスのととり方、動機づけについて理解し説明することができる。
- 2) 対人認知やコミュニケーションに関する概念について概説できる。
- 3) 集団における人間の心理や行動について概説できる。
- 4) 社会で起きている問題や現象について社会心理学的視点から考察することができる。
- 5) 人間の本質や多様性を理解し、今後の社会における人間の在り方について考察することができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目        | 授業内容                                      | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                | 担当教員 |
|----|-------------|-------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | オリエンテーション   | オリエンテーションー社会心理学とは？                        | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 2  | 社会的認知       | 社会的認知ー一人や社会を捉える心のしくみについての情報処理プロセス         | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 3  | 感情          | 感情の影響過程ー気分や感情の影響とその利用                     | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 4  | 自己          | 自己ー「私」の成り立ちとその仕組み                         | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 5  | 態度          | 態度ー態度形成の理論と態度変化                           | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 6  | 対人関係        | 対人関係ー対人魅力、援助関係、愛と葛藤                       | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 7  | 総括(1)       | 総括1、小テスト                                  | 講義   | 復習：第7回までの講義の内容や、小テストでわからなかった点について、当該授業のレジュメ等を参考に復習する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。（120分）              | 内山   |
| 8  | 集団力動        | 集団の中の個人、集団間の関係ー集団の構造や影響力、集団間の心理過程         | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 9  | コミュニケーション   | コミュニケーションー言語的コミュニケーションと非言語コミュニケーション       | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 10 | ソーシャルネットワーク | ソーシャル・ネットワークー人と人のつながりが生み出すもの              | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 11 | マスメディア      | マスメディアとインターネットーマスメディアの効果についての多様な視点        | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 12 | 世論          | 世論と社会過程ー世論に対する認識、世論形成のプロセス                | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 13 | 消費者行動       | 消費者行動・環境行動ー社会的文脈における消費者行動・環境行動、消費の意志決定    | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 14 | 組織          | 組織と個人のダイナミクスー意思決定システムとしての組織、組織の変革とリーダーシップ | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分） | 内山   |
| 15 | 総括(2)       | 総括2                                       | 講義   | 復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。（120分）                                    | 内山   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名         | 著者・编者   | 出版社   |
|-----|------------|---------|-------|
| 参考書 | 徹底図解 社会心理学 | 山岸俊男 監修 | 新星出版社 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 50%  |      |            |      | 50%    |      |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      | 小テスト   |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

小テストおよび期末試験の模範解答を授業内で配布、あるいはMicrosoft Teams上にアップする。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー | 研究室（部屋番号）     | Eメールアドレス |
|-------|---------|---------------|----------|
| 内山 景衣 | 授業終了後   | 非常勤講師室（A棟209） |          |

【その他】

第11回～14回は、グループでのプロジェクト学習およびその発表に変更する可能性があります。



【教科書・参考書】

| 種別  | 書名 | 著者・編者 | 出版社 |
|-----|----|-------|-----|
| 参考書 | なし |       |     |
| 教科書 | なし |       |     |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            | 50%  |        |      | 50%                     |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

・授業に関して寄せられた質問や要望等は、次回の授業内で回答します。

【連絡先】

| 氏名   | オフィスアワー | 研究室（部屋番号）     | Eメールアドレス |
|------|---------|---------------|----------|
| 高橋 努 | 授業の前後   | 非常勤講師室（A棟209） |          |

【その他】

＜用意するもの＞体育館シューズ、トレーニングウェア、着替え、タオル、うちわ、飲料水、マスクなど。

|                                  |        |        |     |     |
|----------------------------------|--------|--------|-----|-----|
| 生物学入門<br>Introduction to Biology | 授業担当教員 | 伊藤 美千代 |     |     |
|                                  | 補助担当教員 |        |     |     |
|                                  | 区分     | 専門必修   |     |     |
|                                  | 年次・学期  | 1年次 前期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】  
食品・農業・環境について理解する上で重要となる生物の基本的な物質構成と細胞構造及び機能について講義を行う。本科目は2年次開講科目である「食品化学」「食品管理論」「栄養科学」、3年次開講科目である「食品製造論」「発酵醸造学」「食品微生物学」「食品安全学」の基礎として位置づけられる。

【到達目標】  
生命体は物質のみからなることを理解する。生体を構成する基本的な物質を列挙し、その特徴に基づいて分類できる。自立して生命現象を営む生物個体の最小単位である細胞の基本構造及び機能について説明できる。最初の細胞がどのように生じたかについて説明できる。酵素の特性と細胞内でのエネルギー獲得代謝を修得する。知識・理解：1. 主要な生体物質について説明できる。2. オルガネラの構造と機能の点から細胞を説明できる。3. 体細胞分裂と減数分裂を説明できる。4. 細胞周期について説明できる。5. 生体内の化学反応（代謝）の特徴を説明できる。6. エネルギー源としてのATPを獲得する代謝を列挙して、それぞれを記述できる。7. 太陽光エネルギーを化学エネルギーに固定する過程を説明できる。8. DNAの立体構造解明の歴史を述べ、二重らせんモデルが遺伝子分子にふさわしいことを説明できる。思考・判断：1. 糖質、脂質、タンパク質、核酸について、その構成成分などにより分類できる。2. 真核細胞と原核細胞の違いを指摘し、細胞内共生説を説明できる。3. 細胞分裂の前後における染色体数の変化について解釈できる。4. 代謝と一般の化学反応との異同を説明できる。5. 発酵と酸素呼吸における反応収支を記述できる。6. 地球の生物にエネルギーを供給している主要な供給源を指摘できる。関心・意欲・態度：1. 生物は様々な分子により構成されており、生命現象は化学反応により行われていることについての確に議論を行うことができる。2. 異なる生物の種類であっても、細胞内で行われている化学反応や細胞の構造は共通している部分が多いことについて討議できる。

| 回  | 授業項目                                | 授業内容                                                                                                                                                                                                                     | 授業方式      | 授業外学習（予習・復習）                        | 担当教員 |
|----|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------------------|------|
| 1  | 授業オリエンテーション<br>自然科学と応用生命科学と生物学      | シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。<br>自然科学の特性と応用生命科学の目標を提示し、生物学がその基礎となることを学ぶ。                                                                                                                                                  | 講義・SGD    | 予習：シラバスの熟読（135分）<br>復習：授業内容（135分）   | 伊藤   |
| 2  | 糖質の性質と構造                            | 生物のエネルギーのもとであり生物にとって基本的な素材である糖質について整理する。<br>主要な糖質の構造と名称、特性を学ぶ。糖質のなかで、複数の単糖が多数重合したものを多糖という。この多糖の種類と生体内での働きについて学ぶ。                                                                                                         | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 3  | 脂質の性質と構造                            | 脂質は生物のエネルギーを貯蔵する物質としてよく知られている。脂質は細胞膜の成分や一部のホルモンとしての役割ももっている。これらについて整理しながら学ぶ。                                                                                                                                             | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 4  | アミノ酸の性質と構造                          | 生体に含まれる20種アミノ酸について、その構造と性質について学ぶ。アミノ酸の分類について学ぶ。                                                                                                                                                                          | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 5  | タンパク質の性質と構造                         | アミノ酸が重合してできたタンパク質について生体内での働きについて学ぶ。タンパク質の構造について学ぶ。                                                                                                                                                                       | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 6  | 核酸の構造とはたらき                          | 遺伝情報を担う分子としての核酸の構造を学ぶ。ヌクレオチド、ヌクレオシド、核酸塩基、糖及びリン酸など核酸構成要素とその役割を学ぶ。<br>DNA、RNAの構造について学ぶ。核酸のもつ様々な働きについて学ぶ。                                                                                                                   | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 7  | 細胞の構造                               | 生命体の最小構造単位としての細胞について、生命現象を営む空間としての構造上の特性と、その空間を包む細胞膜の特性に由来する細胞の構造と機能の基本的な特徴を学ぶ。標準的な真核細胞の構造を、細胞内外を区画する構造体、細胞内で膜に包まれている構造体、細胞内の巨大分子集合体、細胞内の無構造部分に分けてそれぞれの特性を学ぶ。標準的な原核細胞構造、真核細胞と原核細胞の関係を細胞内共生説に基づいて学ぶ。                      | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 8  | 細胞分裂（体細胞分裂と減数分裂、細胞周期）               | 細胞増殖のための細胞分裂のうち、体細胞の分裂と生殖細胞成熟のための分裂について学ぶ。細胞が継続して分裂できる仕組みと細胞周期とその調節について学ぶ。                                                                                                                                               | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 9  | 細胞の機能1（代謝と酵素、酵素反応機構）                | 生体内の化学反応（代謝）は酵素反応による。酵素の種類、組成、特性について学ぶ。酵素の欠損・不全が代謝異常を招く。酵素の活性中心とその阻害から、酵素の反応機構を学ぶ。                                                                                                                                       | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 10 | 細胞の機能2（ATPの獲得、好気呼吸、光合成とATPの利用）      | すべての生物はATPをエネルギー源にできる。細胞がATPを獲得するために行う異化代謝を呼吸という。解糖系と発酵を学ぶ。酵素を利用してATPを獲得する代謝を学ぶ。解糖系に引き続いて、クエン酸回路、酸化のリン酸化と進むが、その代謝の経路と、それらを実行する細胞内の場所について学ぶ。生物の活動エネルギーの大部分は植物が捉えた太陽光エネルギーに由来する。光エネルギーをATP及び有機物質に蓄える代謝（光合成）の過程と実行場所について学ぶ。 | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 11 | 遺伝と遺伝情報1（遺伝学の始まり、遺伝子と遺伝）            | 遺伝子が染色体上に座位し、染色体地図が作製できることを学ぶ。                                                                                                                                                                                           | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 12 | 遺伝と遺伝情報2（遺伝子とDNA、DNAの立体構造、DNAから形質へ） | DNAの立体構造解明の歴史と2重らせん構造が遺伝子分子にとって必須の役割を果たすことを学ぶ。遺伝子DNAによる形質発現はタンパク質を経由することを学ぶ。                                                                                                                                             | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 13 | 遺伝形質の発現1（mRNAの発見とコドン）               | DNAの遺伝情報を元にタンパク質を合成するには遺伝情報を伝令するmRNAが必要である。mRNAの塩基配列とアミノ酸配列に翻訳するコドンについて学ぶ。                                                                                                                                               | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 14 | 遺伝形質の発現2（遺伝情報の翻訳）                   | DNAの遺伝情報を元にタンパク質を生合成する過程について学ぶ。                                                                                                                                                                                          | 講義・SGD    | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |
| 15 | 食品・農業・環境と生物学                        | 食品・農業・環境に関する知見について生物学の視点から考察する。                                                                                                                                                                                          | 講義・SGD・討論 | 予習：授業内容の事前学習（135分）<br>復習：授業内容（135分） | 伊藤   |

| 種別  | 書名   | 著者・編者 | 出版社 |
|-----|------|-------|-----|
| その他 | 配布資料 |       |     |

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            |      | 70%    |      | 30%                     |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】  
授業に関して寄せられた要望はMicrosoft Teamsを利用して回答します。

| 氏名     | オフィスアワー              | 研究室（部屋番号）        | Eメールアドレス                |
|--------|----------------------|------------------|-------------------------|
| 伊藤 美千代 | 月曜日～金曜日（13:00～17:00） | 新津駅東キャンパス（NE214） | nagano-ito@nupals.ac.jp |



|                                   |        |        |     |     |
|-----------------------------------|--------|--------|-----|-----|
| 化学入門<br>Introduction to Chemistry | 授業担当教員 | 伊藤 美千代 |     |     |
|                                   | 補助担当教員 |        |     |     |
|                                   | 区分     | 専門必修   |     |     |
|                                   | 年次・学期  | 1年次 前期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

私たちを取り巻く物質は全て化学物質と呼ばれる。すなわち、食品・農業・環境で取り扱うものは全て化学物質であり、その化学物質についての基礎的な知識は新しい生産物や製品の素材や成分について理解する上で重要なものとなる。本講義では、食品・農業・環境を学ぶ上で基礎となる原子・分子・化学反応等について解説する。本科目は、2年次開講科目「食品化学」「酵素化学」の基礎として位置づけられる。

【到達目標】

化学の成り立ちを理解し、原子論による物質の保存や変化についての見方を確認・習得することによって、種々の分野において実用的な化学の利用がどのようになされているかを理解する。  
知識・理解：１．原子および分子そしてイオンなどについて説明できる。２．化学反応の定量性について説明できる。３．酸と塩基について説明できる。４．元素の周期律について説明できる。５．原子量と分子量について説明できる。  
思考・判断：１．我々を取り巻く物質を分子のレベルで思考できる。２．物質の現象を化学変化から思考できる。３．定量的な思考と判断ができる。４．化学的分野について物質の変化を考えることができる。  
関心・意欲・態度：１．食品・農業・環境について化学的観点から考えることができる。２．化学物質の変化について関心を持つ。３．定量的なものの見方をもった態度で討論する。  
技能・表現：１．自らが体得した化学の内容について発表形式で的確に表現できる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                       | 授業内容                                                                                                  | 授業方式      | 授業外学習（予習・復習）                         | 担当教員 |
|----|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------------------------------------|------|
| 1  | 授業オリエンテーション<br>原子の定義と構造（１） | シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。<br>原子を構成する陽子、中性子、電子の性質について学び、原子の構造について理解する。                              | 講義・討論     | 予習：シラバスを熟読する。（100分）<br>復習：講義内容（170分） | 伊藤   |
| 2  | 原子の定義と構造（２）                | 原子を構成する陽子、中性子、電子の性質について演習問題を解くことにより理解する。                                                              | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 3  | 電子殻と電子配置                   | 電子殻に収容できる電子の数について学ぶ。また、電子殻への電子の配列のしかたを学び電子配置について理解する。                                                 | 講義・討論     | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 4  | 周期表と元素の分類                  | 原子番号および質量数について学ぶ。周期表を構成する元素の並びについて学び、各元素の性質について理解する。                                                  | 講義・SGD    | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 5  | アボガドロ数と物質量                 | アボガドロ数について学び、物質量（mol）について理解する。                                                                        | 講義・SGD    | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 6  | イオンとイオン結合                  | 正の電荷を帯びた陽イオンと負の電荷を帯びた陰イオンについて学ぶ。イオンを表すイオン式およびイオンの価数について理解する。陽イオンと陰イオンが静電気的な引力によって結合するイオン結合について学ぶ。     | 講義・SGD    | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 7  | 金属と金属結合                    | 金属中を自由に動き回ることができる自由電子について学ぶ。自由電子による金属原子の間の結合である金属結合について理解する。                                          | 講義・SGD    | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 8  | 分子と共有結合                    | 決まった種類の原子が決まった数だけ結びついた分子について理解する。原子が互いに電子を共有してできる共有結合について学ぶ。電子式と構造式について理解する。                          | 講義・演習・SGD | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 9  | 電気陰性度と分子の極性                | 原子が共有電子対を引きつける強さである電気陰性度について学ぶ。共有結合をしている2原子間に見られる電荷の偏りである結合の極性について理解する。無極性分子と極性分子について学び分子の極性について理解する。 | 講義・SGD    | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 10 | 酸と塩基                       | 酸と塩基の定義として、アレーニウスの定義とブレンステッド・ローリーの定義について学ぶ。                                                           | 講義・演習・SGD | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 11 | 酸・塩基の価数と強弱                 | 酸の価数および塩基の価数について学ぶ。電離度について理解し、強酸・強塩基・弱酸・弱塩基について学ぶ。                                                    | 講義・SGD    | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 12 | 水の電離と水溶液のpH                | 水溶液の酸性や塩基性の強さを表す数値であるpH（水素イオン指数）について学ぶ。水溶液の性質とpHの関係について理解する。                                          | 講義・SGD    | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 13 | 中和反応                       | 酸と塩基が反応する中和反応について学び、中和反応の量的関係について理解する。                                                                | 講義・SGD    | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 14 | 中和滴定                       | 中和反応が終わる中和点までに要した塩基（または酸）の水溶液の体積を求める操作である中和滴定について学ぶ。中和反応の滴定曲線について理解する。                                | 講義・演習・SGD | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |
| 15 | 食品・農業・環境と化学                | 食品・農業・環境に関する知見について化学の視点から考察する。                                                                        | 講義・SGD・討論 | 予習：授業内容の事前学習（100分）<br>復習：授業内容（170分）  | 伊藤   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名   | 著者・編者 | 出版社 |
|-----|------|-------|-----|
| その他 | 配布資料 |       |     |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            |      | 70%    |      | 30%                     |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

授業に関して寄せられた要望はMicrosoft Teamsを利用して回答します。

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー              | 研究室（部屋番号）        | Eメールアドレス                |
|--------|----------------------|------------------|-------------------------|
| 伊藤 美千代 | 月曜日～金曜日（13:00～17:00） | 新津駅東キャンパス（NE214） | nagano-ito@nupals.ac.jp |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |                                                                                                                      |                                                     |                                                      |             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------------|
| ビジネス実践演習<br>Practice and Seminar for Business                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                 | 授業担当教員                                                                                                               | 杉田 耕一・若栗 佳介・伊藤 満敏・中道 眞・内田 誠吾・伊藤 美千代・重松 亨・松本 均・小瀬 知洋 |                                                      |             |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 | 補助担当教員                                                                                                               |                                                     |                                                      |             |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 | 区分                                                                                                                   | 専門必修                                                |                                                      |             |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 | 年次・学期                                                                                                                | 1年次 通年                                              | 単位数                                                  | 2単位         |
| 【授業概要】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                 |                                                                                                                      |                                                     |                                                      |             |
| 本学科では、経済学、経営学の学びを基礎として、農業、食品、環境、地域活性化などに関する様々な科目が開講されており、社会を通じる実践的な能力を身につけることができる。一方で、広範囲な科目領域があるために、その科目の学びが他の科目とどのように関係して、最終的に4年次開講科目「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」でいかされるのかわかりづらい面がある。そこで、本科目では、卒業研究や2, 3学年時に学ぶ科目等の内容等を提示しながら簡単な演習を経験することで今後の学びの必要性を実感する。また、「ビジネス実践演習」は、他の1年次開講科目から4年次開講科目「卒業研究」までに開講される全ての科目に対する学びの必要性等を知る基礎的な科目として位置づけられる。                                                                                                               |                 |                                                                                                                      |                                                     |                                                      |             |
| 【実務経験】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                 |                                                                                                                      |                                                     |                                                      |             |
| 担当教員の杉田は、企業の研究開発部門と新事業企画部門に27年間勤務し、主に農業資材や機能性作物の商品化を担当した経験を持つ。その実務経験を活かして、本科目では農業・食品・環境およびそれら経済学等の観点からの最新の研究内容について講義を行う。<br>担当教員の伊藤（満）は、食品ビジネスの現場に35年勤務した経験を持つ。その実務経験を活かして、本科目では食品ビジネスに関する最新の研究内容について講義を行う。<br>担当教員松本は、食品企業において、食品会社で25年間勤務し、食品の商品開発リーダー、ブランドマネージャーを7年間担当した経験を活かして、食品の商品企画、マーケティングについて、実践的な話題を提供する。                                                                                                                     |                 |                                                                                                                      |                                                     |                                                      |             |
| 【到達目標】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                 |                                                                                                                      |                                                     |                                                      |             |
| 1. 4年次までに必要な知識を逆算して理解することで当該年度の履修科目の学習効果を高めることができる 2. 様々な科目の連関性を理解して学ぶことができる 3. 多岐にわたるビジネス分野の基礎的な内容に触れることでビジネスへの興味を持つことができる<br>知識・理解：1. 経済学・経営学の知識がどのように農業、食品、環境、地域活性化等の分野と関係しているか説明できる。<br>思考・判断：1. 収集した各種データを基にした議論や判断をすることができる。<br>関心・意欲・態度：1. 4年次開講科目「卒業研究」を有意義な研究活動にするために、各科目のシラバスへの関心と学習意欲を持つことができる。2. 教員の担当講義だけでなく、各研究室の研究テーマに関心を持つことができる。3. 学生間の学びを積極的に行うと共に、教員への質問なども積極的に行うことができる。<br>技能・表現：1. 各種データを収集し、データを使って他者に説明することができる。 |                 |                                                                                                                      |                                                     |                                                      |             |
| 【授業計画】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                 |                                                                                                                      |                                                     |                                                      |             |
| 回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 授業項目            | 授業内容                                                                                                                 | 授業方式                                                | 授業外学習（予習・復習）                                         | 担当教員        |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | オリエンテーション       | 本科目の目標について学ぶ。<br>講義内容について簡単に説明すると共に、他の科目との関係等についても理解する。                                                              | 講義                                                  | 予習：シラバスの熟読。（120分）<br>復習：カリキュラムツリー、他科目のシラバスの理解。（140分） | 杉田          |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 統計データの収集と解析     | 人口などの社会変化に関する統計データをインターネットを介して収集する。<br>収集したデータを基にグラフ化などを行い、変化をわかりやすく他者に説明できるようにする。                                   | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：行政管理の統計データサイトの調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）        | 杉田<br>伊藤（満） |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 新潟県の食品産業        | 新潟県の食品産業に関する各種データを行政機関データベースから収集し、同産業の重要性を理解する。                                                                      | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：新潟県の食品産業について調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）          | 杉田<br>伊藤（満） |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ブランディング・マーケティング | 農産物や食品を対象とした研究事例を基に、実際のブランディングやマーケティングについて学ぶ。<br>また、マーケティングについては、データによる判断の大切さについても講義する。                              | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：ブランディングとマーケティングについて調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）   | 杉田<br>伊藤（満） |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ネットワーク分析        | ネットワークグラフを作成し、その関係性や統計的な特徴を分析する。                                                                                     | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：ネットワーク分析に関する調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）          | 杉田<br>若栗    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 商品売上データ分析       | 商品売上データの分析による需要・必要入荷数予測を学ぶ。                                                                                          | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：売上データ分析手法の調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）            | 杉田<br>若栗    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 研究資料            | 研究に使用できる資料の信頼性について学ぶ。                                                                                                | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：研究資料の種類など調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）             | 中道          |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 発酵食品            | ・発酵食品に関するビジネスを概説する。学生に発酵食品（その業種）を一つ選んでもらい、SGDにより課題を抽出する。<br>・各自調べてきた発酵食品（その業種）の課題を解決案を発表してもらい、議論する。                  | 講義・演習・SGD・発表                                        | 予習：発酵食品の調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）                 | 重松          |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ビジネスプレゼンテーション   | ・ビジネスプレゼンテーションの分類と事例について学ぶ。<br>・健康に関連するビジネスプレゼンテーションの特徴について理解する。                                                     | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：プレゼンテーションの手順等について調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）     | 伊藤（美）       |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 環境経済学演習         | ・環境フットプリント（Environmental Footprint）の概念と事例について学ぶ。<br>・環境フットプリントに基づく、実際の商品やサービスの評価法とまとめ方を学び、実践する。                      | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：環境フットプリントについて調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）         | 小瀬          |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 商品開発演習          | 様々なフレーバーを用いた飲料を試作する。<br>合成香料の違いを体験する。                                                                                | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：フレーバーについて調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）             | 松本          |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 商品開発演習          | 様々な甘味料を用いた飲料を試作する。<br>高甘味度甘味料の味の違いを体験する。                                                                             | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：甘味料について調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）               | 松本          |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 商品開発演習          | 様々な色素・着色料を用いた飲料を試作する。<br>合成着色料、天然着色料の違いを体験する。                                                                        | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：着色料について調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）               | 松本          |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 行動経済学演習         | ビジネスや行政などにおける行動経済学（経済学＋心理学）の実用例について講義する。まず、ビジネス分野、金融分野、行政分野、教育分野における行動経済学の実用例を紹介する。また、行動ファイナンスの研究成果を参考に実験を行い、理解を深める。 | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：行動経済学の実用例について調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）         | 内田          |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 企業経済学演習         | 企業経営や産業界の分析手法について講義する。分析手法としては、マイクロ経済学、産業組織論、計量経済学、会計学などを取り上げる。また、実際のデータを用いながら、価格差別戦略や金融業界を対象とした実証研究を学び、理解を深める。      | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：企業経営と産業界について調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）          | 内田          |
| 16                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 地域経済学演習         | 地域経済の分析手法について講義する。分析手法として、マイクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、都市経済学を取り上げる。また、学生には、新潟県における様々な経済波及効果を実際に算出してもらう。                      | 講義・演習・グループワーク                                       | 予習：新潟県における経済波及効果について調査（120分）<br>復習：講義内容の整理（140分）     | 内田          |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                             | 著者・編者 | 出版社 |
|-----|--------------------------------|-------|-----|
| その他 | 必要に応じてプリント配布、またはTeamsに資料を保存など。 |       |     |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他       |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----------|
| 割合   |      |      |            |      |        |      |                         | 100%      |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         | 各担当教員の指示。 |

【課題に対するフィードバック方法】

必要に応じて、各担当教員が対応する。

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー                                                       | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス                       |
|--------|---------------------------------------------------------------|-------------------|--------------------------------|
| 杉田 耕一  | 月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）。Teamsチャットでの事前連絡が望ましい。                | NE211             | agri-sugita@nupals.ac.jp       |
| 若栗 佳介  | 月～金 11:00～17:00                                               | 新津駅東キャンパス（NE212）  | wakakuri@nupals.ac.jp          |
| 伊藤 満敏  | 月曜日～金曜日 10：00～17：00                                           | 新津駅東キャンパスNE206    | m-ito@nupals.ac.jp             |
| 中道 眞   | 水曜日・木曜日（講義等除く13:00～17:00.随時Mail,Teamsのアポイント受付ます）              | NE205             | nakamichi@nupals.ac.jp         |
| 内田 誠吾  | 月曜日～金曜日午前9:00～午後5:00                                          | NE20 8            | seigo.uchida@nupals.ac.jp      |
| 伊藤 美千代 | 月曜日～金曜日（13:00～17:00）                                          | 新津駅東キャンパス（NE214）  | nagano-ito@nupals.ac.jp        |
| 重松 亨   | 開講日18:00～20:00                                                | 食品・発酵工学研究室(E302a) | shige@nupals.ac.jp             |
| 松本 均   | 月曜日～金曜日の9:00-18:00（休日、代休日を除く）                                 | 食品機能学研究室（E203a）   | hitoshi.matsumoto@nupals.ac.jp |
| 小瀬 知洋  | 必ずメールかTeamsでアポイントを取ってください。土日祝日を除く平日の15:00 - 17:00の間で時間を調整します。 | 新津C E401a         | tkose@nupals.ac.jp             |

|                                       |        |        |     |     |
|---------------------------------------|--------|--------|-----|-----|
| 経済学<br>Introduction to Microeconomics | 授業担当教員 | 内田 誠吾  |     |     |
|                                       | 補助担当教員 |        |     |     |
|                                       | 区分     | 専門必修   |     |     |
|                                       | 年次・学期  | 1年次 前期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

世界で一番読まれているマンキューの教科書を使い、ミクロ経済学とマクロ経済学について講義する。また、経済学を用い、「行動経済学」、「産業組織論」、「消費者行動論」、「都市経済学」、「食品経済学」、「農業経済学」で必要となる行動経済学、消費者行動論、企業経済学、産業組織論、応用ミクロ経済学などの基礎的な分析手法について説明する。

【到達目標】

ミクロ経済学においては、需要曲線と供給曲線の意味や余剰分析について理解し、政策の効果について簡単な分析ができる。マクロ経済学においては、経済成長の理論や所得決定のメカニズムについて理解する。  
知識・理解：ミクロ経済学とマクロ経済学の考え方を理解する。  
思考・判断：経済学のモデル分析に習熟する。  
関心・意欲・態度：経済学の考え方をを用い、経済現象の具体的事例について説明できる。  
技能・表現：簡単な経済モデルを表現できるようになる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                     | 授業内容                                                                                                          | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                             | 担当教員 |
|----|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | オリエンテーション 市場における需要と供給の作用 | 市場均衡がどのような状態であるかについて理解し、需給ギャップがあるとき、市場メカニズムを通してどのように調整が行われるかについて学ぶ。また、どのようなときに、需要曲線や供給曲線がシフトするかについて考察する。      | 講義    | 予習：教科書4章を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)                     | 内田   |
| 2  | 需給および政府の政策               | 価格規制、税金が市場の成果に及ぼす影響について説明する。また、需要の価格弾力性について講義する。実証研究として、特性の異なる消費者グループに対して、異なる価格付けを行う差別価格戦略について実際のデータを用いて説明する。 | 講義    | 予習：教科書5章を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)                     | 内田   |
| 3  | 弾力性について                  | 消費者の市場取引の効果について学ぶ。需要の弾力性とその決定要因、供給の弾力性とその決定要因。現実世界における弾力性の実例について学ぶ。                                           | 講義    | 予習：教科書5章補論を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)                   | 内田   |
| 4  | 消費者、生産者、市場の効率性           | 消費者および生産者の余剰分析について説明し、市場の効率性について講義する。また、市場の失敗、すなわち、独占、寡占、外部性、情報の非対称性、公共財などについて説明する。                           | 講義    | 予習：教科書6章を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)                     | 内田   |
| 5  | 税と効率・公平                  | 完全競争と効率性、産業間の資源配分、市場の歪みと死荷重について学ぶ。また、社会的余剰最大化と財の分配についての重要な論点を取り上げる。                                           | 講義    | 予習：教科書6章補論を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)                   | 内田   |
| 6  | 外部性①                     | 外部性と市場の非効率性について学ぶ。外部性に対する公共政策について学ぶ。                                                                          | 講義    | 予習：教科書7章を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)                     | 内田   |
| 7  | 外部性②                     | 外部性に対する当事者間による解決法について学ぶ。コースの定理について説明する。                                                                       | 講義    | 予習：教科書7章を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)                     | 内田   |
| 8  | 中間テスト                    | ミクロ経済学について試験を行う。                                                                                              | 試験    | 予習：これまでの学習内容の復習を行い、テストに備える。(150分)                                                                                        | 内田   |
| 9  | 国民所得の測定①                 | 経済の所得と支出、GDPの測定について説明する。                                                                                      | 講義    | 予習：教科書第8章1節、2節を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)               | 内田   |
| 10 | 国民所得の測定②                 | GDPの構成要素である消費、投資、政府支出、純輸出について学ぶ。実質GDPと名目GDPについて説明する。                                                          | 講義    | 予習：教科書第8章3節、4節を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)               | 内田   |
| 11 | 生産と成長                    | 生産性の役割とその決定要因、経済成長と公共政策について講義する。                                                                              | 講義    | 予習：教科書10章を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)                    | 内田   |
| 12 | 財市場と貨幣市場のモデル             | 短期における財市場と貨幣市場において、GDPの水準や貨幣取引量が決定するメカニズムについて説明する。また、IS-LMモデルについて説明する。                                        | 講義    | 予習：教科書11章を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)                    | 内田   |
| 13 | 総需要と総供給①                 | 総需要曲線と総供給曲線の性質を説明し、これらのモデルを使い、経済政策の短期的な影響について講義する。                                                            | 講義    | 予習：教科書12章を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)                    | 内田   |
| 14 | 総需要と総供給②                 | 総需要曲線と総供給曲線を用いて、短期の均衡から長期の均衡への移動について説明する。                                                                     | 講義・演習 | 予習：教科書第12章を読む。第13回の授業で配布した資料を読む。(150分)<br>復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分) | 内田   |
| 15 | 問題演習                     | 期末試験に向けて問題演習を行う。                                                                                              | 演習    | 予習：これまでの講義ノートを見直す。教科書の章末問題を解く。事前に配布した問題演習を解いてみる。(150分)<br>復習：授業の問題演習を復習する。(150分)                                         | 内田   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                   | 著者・編者       | 出版社    |
|-----|----------------------|-------------|--------|
| 教科書 | マンキュー入門経済学（第4版）      | グレゴリー・マンキュー | 東京化学同人 |
| 参考書 | マンキュー経済学Ⅰミクロ経済学（第5版） | グレゴリー・マンキュー | 東京化学同人 |
| 参考書 | マンキュー経済学Ⅱマクロ経済学（第5版） | グレゴリー・マンキュー | 東京化学同人 |
| その他 | プリントを配布します。          |             |        |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 50%  | 50%  |            |      |        |      |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

問題に対する解説は行います。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー              | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス                  |
|-------|----------------------|-----------|---------------------------|
| 内田 誠吾 | 月曜日～金曜日午前9:00～午後5:00 | NE20 8    | seigo.uchida@nupals.ac.jp |

【その他】

教科書が少し高額なため、教科書購入は任意とし、購入しなくとも試験に対応できる授業資料を用意します。しかし、世界的に有名な教科書であるため、購入・熟読を勧めます。経済学は、世界標準の体系が確立されている社会科学であり、論理的な思考を身に着けるために最適な学問の1つと言えます。経済学を通して丁寧に論理を追う習慣を身につけましょう。

試験については、授業における練習問題、小テストを一つ一つ理解していけば、問題なく対応できる構成を考えています。一つ一つの授業を大切にしましょう。



|                             |        |                                        |     |     |
|-----------------------------|--------|----------------------------------------|-----|-----|
| マーケティング論<br>Basic Marketing | 授業担当教員 | 杉田 耕一                                  |     |     |
|                             | 補助担当教員 |                                        |     |     |
|                             | 区分     | 専門必修                                   |     |     |
|                             | 年次・学期  | 1年次 前期（2025年度入学生～）, 2年次 前期（～2024年度入学生） | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

学生の皆さん（消費者として）はどのような視点で日々の買い物をしていますか。更には、どのような視点で、遊びに行く施設や観光地を決めていますか。今や、たくさんのモノやサービスが溢れる世界において、皆さんはなぜそれを選んだのでしょうか。一方で、皆さんが企業等に就職すると、皆さんはこれまでと異なりモノやサービスを提供する側になり、消費者に選んでもらう工夫をしなければなりません。そこでいかにすることができるのが、マーケティングの知識です。本講義では、「価値の交換」というマーケティングの本質を理解した上で、マーケティングに必要な思考や手法を講義する。また、可能な限り事例を題材としたグループワーク等も行いながら、マーケティングへの関心を高める。「マーケティング論」は、1年次開講科目「経済学」「社会心理学」「行動経済学」「統計学」等と関連性があり、さらに2年次開講科目「サービスマーケティング」「ビジネスデータ解析」「経済経営データ分析」「ブランド構築論」「国際食品ビジネス論」等、3年次開講科目「食品商品学」「商品デザイン論」等の多くの科目の基礎に位置づけられる。

【実務経験】

担当教員は、企業の研究開発部門と新事業企画部門に27年間勤務し、新商品の開発や営業、マーケティングまで担当した経験を持つ。その実務経験（成功体験と失敗体験）を活かして、本科目ではマーケティングの基礎的な内容を中心に講義を行う。

【到達目標】

時代の変化と共に変化してきたマーケティングの基本的な考え方を理解し、地域社会とビジネスの現場で応用していくための基盤を構築する。  
知識・理解：1. マーケティングの基本的な考え方を理解することができる。2. 時代の変化と共にマーケティングの概念も変化してきたことを理解できる。  
思考・判断：ビジネスの現場において、マーケティングの考え方を生かした思考を行うことができる。  
関心・意欲・態度：日常の買物等の場面においても、常に関心を持ってマーケティングの観点から製品販売やサービス提供の様子を見ることができる。  
技能・表現：マーケティングの概念を使って自ら観察し考察した結果を表現して伝えることができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目         | 授業内容                                              | 授業方式          | 授業外学習（予習・復習）                                                     | 担当教員 |
|----|--------------|---------------------------------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | オリエンテーション    | ・本科目の目標、授業計画、評価方法等について説明する。<br>・現代の市場（マーケット）について。 | 講義・SGD        | 予習：教科書 p8-19<br>コーヒーの市場について考える。（300分）<br>復習：講義内容の整理。（100分）       | 杉田   |
| 2  | マーケティング 基本Ⅰ  | 3C（視点）について。                                       | 講義・SGD        | 予習：教科書 p20-27（100分）<br>復習：講義内容の整理。（100分）                         | 杉田   |
| 3  | マーケティング 基本Ⅱ  | 売り手の視点から価値を考える4Pについて。                             | 講義・SGD        | 予習：教科書 p28-31（100分）<br>復習：講義内容を整理する。（100分）                       | 杉田   |
| 4  | マーケティング 基本Ⅲ  | 買い手の視点から考える4Cについて。                                | 講義・SGD        | 予習：教科書 p32-37（100分）<br>復習：講義内容の整理。（100分）                         | 杉田   |
| 5  | マーケティング 定石Ⅰ  | SWOT分析、クロスSWOT分析。                                 | 講義・SGD        | 予習：教科書 p44-53（100分）<br>復習：講義内容の整理。（100分）                         | 杉田   |
| 6  | マーケティング 定石Ⅱ  | 3C分析。                                             | 講義・SGD        | 予習：教科書 p54-57（100分）<br>復習：講義内容の整理。（100分）                         | 杉田   |
| 7  | マーケティング 定石Ⅲ  | STPプロセスとペルソナ設定。                                   | 講義・SGD        | 予習：教科書 p58-61（100分）<br>復習：講義内容を整理。（100分）                         | 杉田   |
| 8  | マーケティング 定石Ⅳ  | 定量調査、定性調査、AIDMAの法則。                               | 講義・SGD        | 予習：教科書 p62-71（100分）<br>復習：講義内容の整理。（100分）                         | 杉田   |
| 9  | マーケティング 定石Ⅴ  | 4P分析と4C分析の整合性。                                    | 講義・SGD        | 予習：教科書 p74-80（100分）<br>復習：講義内容の整理。（100分）                         | 杉田   |
| 10 | マーケティング 定石Ⅵ  | 効果測定と振り返り、仮説思考。                                   | 講義・SGD        | 予習：教科書 p86-93（100分）<br>復習：講義内容の整理。（100分）                         | 杉田   |
| 11 | 最先端のマーケティングⅠ | SDGs、ESG経営、ブランド                                   | 講義・SGD        | 予習：教科書 p136-151（100分）<br>復習：講義内容の整理。（100分）                       | 杉田   |
| 12 | 最先端のマーケティングⅡ | デジタル時代のマーケティング                                    | 講義・SGD        | 予習：教科書 p152-179（100分）<br>復習：講義内容の整理。（100分）                       | 杉田   |
| 13 | マーケティング 演習Ⅰ  | 新津駅前の弁当屋さんを継ぐ若き経営者として事業戦略をたてる。                    | 講義・演習・グループワーク | 予習：鉄道の街「新津」、および新津駅周辺の弁当屋について調査。（200分）<br>復習：グループワークの内容を整理。（100分） | 杉田   |
| 14 | マーケティング 演習Ⅱ  | 新津駅前の弁当屋さんを継ぐ若き経営者として事業戦略をたてる。                    | 講義・演習・グループワーク | 予習：前回のグループワークの課題。（200分）<br>復習：グループワークの内容を整理。（100分）               | 杉田   |
| 15 | マーケティング演習Ⅲ   | 新津駅前の弁当屋さんを継ぐ若き経営者として事業戦略をたてる。                    | 講義・演習・グループワーク | 予習：前回のグループワーク課題（100分）<br>復習：レポート作成（300分）                         | 杉田   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名      | 著者・編者 | 出版社   |
|-----|---------|-------|-------|
| 教科書 | マーケティング | 阿久津 聡 | 新星出版社 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            |      |        | 100% |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

必要に応じてコメントします。  
Teamsによる質問等は常時受け付けます。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー                                        | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス                 |
|-------|------------------------------------------------|-----------|--------------------------|
| 杉田 耕一 | 月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）。Teamsチャットでの事前連絡が望ましい。 | NE211     | agri-sugita@nupals.ac.jp |

【その他】

買い物など日常生活において様々な商品やサービスに関心を持つこと。  
そして、関心を持った商品等については提供企業側の工夫や戦略を考えてみること。

|                                     |        |        |     |     |
|-------------------------------------|--------|--------|-----|-----|
| 経済と税法<br>Beginning to study finance | 授業担当教員 | 中道 眞   |     |     |
|                                     | 補助担当教員 |        |     |     |
|                                     | 区分     | 専門選択   |     |     |
|                                     | 年次・学期  | 1年次 前期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

皆さんは「経済と税法」という言葉からどのようなことを連想しますか？お金、企業、役所、アルバイト、消費税でしょうか。それとも財政、憲法、所得税、タックスヘイブン、環境税でしょうか。また、「税」というと消費税のように支払いたくないお金というイメージがありませんか？ところが、私たちが使用している道路、橋、空港などのインフラストラクチャーはこの税によって建設・維持されている側面が強いですね。そして何より教育、つまり小学校から現在の大学に至るまで、実は皆さんひとりひとりに税金が使われています。

この授業では、皆さんが連想するキーワードを最初の手掛かりに、「経済と税法」の全体像を概観します。そして、社会の様々な出来事を「経済と税法」として財政学と租税制度の理論等から学びます。財政とは国や公共団体の経済活動のことです。財政学は、経済学・経営学の重要な分野です。本授業科目は、社会人を目指す皆さんにとってはもちろん、企業経営や経済全般を学ぶ基礎として位置付けています。

財政学や税法の視点は、経済学はもちろん経営管理論や経営組織論等様々な科目と密接に関連しています。

【到達目標】

「経済と税法」の全体像を認識し、日常生活で「経済と税法」の視点から物事を考えられるようになる。

知識・理解：「経済と税法」の基本専門用語を使い分けことができる。

思考・判断：「経済と税法」に関する雑誌や新聞の記事を検証できる。

関心・意欲・態度：日常生活の様々な出来事を「経済と税法」の視点から観察し考える意欲をもっている。

技能・表現：「経済と税法」に関して自ら社会事象を観察し考察した結果を表現できる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目        | 授業内容                                                 | 授業方式                   | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                                                                                      | 担当教員 |
|----|-------------|------------------------------------------------------|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | オリエンテーション   | 授業概要と受講上の留意点<br>なぜ「経済と税法」および財政学を学ぶのか？                | 講義・課題                  | 予習：「税」と聞いて思い浮かべるキーワードを3つ思い浮かべてください。その3つのキーワードのそれぞれについて、調べて、ノートにまとめてください。(300分)<br>復習：教科書の確認とノートを読んで講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)                     | 中道   |
| 2  | 税金って何？      | 税とは何かを考えはじめる<br>※机移動が可能教室の場合はグループワークを予定              | 講義・SGD・発表・グループワーク・課題   | 予習：教科書「イラストでサクッとわかる日本一たのしい税金の授業」（以下、教科書①と省略）1限目pp.1-34を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分)<br>復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)                    | 中道   |
| 3  | 国民経済と税制の歴史  | 企業・家計・政府（経済主体）と市場の失敗<br>日本の歴史と税のおはなし                 | 講義・課題                  | 予習：教科書①2限目pp.35-64を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分)<br>復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)                                                        | 中道   |
| 4  | 財政とは？①      | 大きな政府・小さな政府とケインズ主義、<br>財政の三機能（所得再分配、資源配分調整、景気調整）     | 講義・課題                  | 予習：財政とは？①の授業内容について、中学公民や高校現代社会・政治経済等の教科書あるいは図書館・インターネット等で調べてノートにメモをとり、質問・コメント等を記す。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分)<br>復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分) | 中道   |
| 5  | 財政とは？②      | 財政政策とは？<br><br>日本の財政とそのしくみ                           | 講義・課題                  | 予習：財政とは？②の授業内容について、中学公民や高校現代社会・政治経済等の教科書あるいは図書館・インターネット等で調べてノートにメモをとり、質問・コメント等を記す。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分)<br>復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分) | 中道   |
| 6  | 租税とは？①      | 租税の意義・目的・分類・原則                                       | 講義・課題                  | 予習：教科書「税法入門（令和6年度版）」（以下、教科書②と省略）pp.1-15を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分)<br>復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)                                   | 中道   |
| 7  | 租税とは？②      | 租税体系と税法の法体系                                          | 講義・課題                  | 予習：教科書②pp.16-26を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分)<br>復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)                                                           | 中道   |
| 8  | 社会の課題と財政・税法 | 課題を発見して、「経済と税法」で深めよう！<br>※開講回は現場との調整などによって前後することがある。 | 演習・課題・フィールドワーク・グループワーク | 予習：社会の課題を3つ準備する。(100分)<br>復習：ノートを見てグループワークの内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分や関心のあるキーワードを図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)                                                                    | 中道   |
| 9  | 給与・収入と所得税   | 10所得区分、控除、累進税                                        | 講義・演習・グループワーク・課題       | 予習：教科書①3限目pp.65-90、教科書②pp.27-31を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分)<br>復習：ノートを見て講義やグループワークの内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分や関心のあるキーワードを図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)                       | 中道   |
| 10 | 簿記・会計と法人税   | 自然人と法人<br>法人の分類<br>利益？所得？                            | 講義・演習・グループワーク・課題       | 予習：教科書①5限目pp.111-134、教科書②pp.31-32を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分)<br>復習：ノートを見て講義やグループワークの内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分や関心のあるキーワードを図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)                     | 中道   |
| 11 | 経済と消費税      | 直接税と間接税<br>インボイス制度                                   | 講義・演習・グループワーク・課題       | 予習：教科書①6限目pp.135-158、教科書②pp.36-38を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分)<br>復習：ノートを見て講義やグループワークの内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分や関心のあるキーワードを図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)                     | 中道   |

| 回  | 授業項目                                     | 授業内容                                                                                                                         | 授業方式              | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                                                                                                                                | 担当<br>教員 |
|----|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 12 | プレゼンテーション<br>～社会の課題と税                    | 課題を発表して、受講生と共有しよう！<br>※開講回は調整の前後することがある。                                                                                     | 講義・SGD・発表・グループワーク | 予習：プレゼンテーションの準備をする。（300分）<br>復習：ノートを見て全員のプレゼンテーション内容を確認し、わからなかったところをチェックする。<br>チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。<br>調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。（100分）                                                                                                          | 中道       |
| 13 | 財産と相続税・贈与税<br>※進捗状況によっては別内容の場合もある        | ※進捗状況によっては別内容の場合もある                                                                                                          | 講義・演習・グループワーク・課題  | 予習：教科書①5限目pp.91-110、教科書②pp.33-35を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。（100分）<br>復習：ノートを見て講義やグループワークの内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分や関心のあるキーワードを図書館、インターネットなどで調べる。<br>調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。（100分）                                                            | 中道       |
| 14 | サマリーとインプリケーション                           | 講義全体のまとめと今後の学習に向けて（オンライン授業（課題提出型））<br>～①全体の総括をして「経済と税法」全体のイメージをつくる<br>～②「経済と税法ノート」を自ら確認し、課題を発見する<br>～③今後の学習に向けた皆さんのキーワードを考える | 演習・課題             | 予習：講義全体のまとめと今後の学習に向けて、①これまでの経営管理論全体の総括し、②「経営管理論ノート」を自ら確認し、課題を発見し、③今後の学習に向けた皆さんのキーワードを3つ以上準備する。（100分）<br>復習：ノート作成を中心としたレポート作成に向けて、ノート全体を見直し加筆訂正する。具体的には、①経営管理論および経営学全体を把握するための図や表を作成し、②「経営管理論ノート」を再度確認し、発見した課題への仮説を出典等根拠を示して記述し、③今後の学習に向けたキーワードを確定させる。（300分） | 中道       |
| 15 | 発展学習：グローバル経済と国際課税<br>※進捗状況によっては別内容の場合もある | 多国籍企業って何？<br>スターバックスとアマゾンとは税金回避？<br>※進捗状況によっては別内容の場合もある                                                                      | 講義・課題             | 予習：教科書②pp.44-48を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。（100分）<br>復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。（100分）                                                                                                     | 中道       |

| 【教科書・参考書】 |                          |       |         |
|-----------|--------------------------|-------|---------|
| 種別        | 書名                       | 著者・編者 | 出版社     |
| 教科書       | イラストでサクッとわかる日本一たのしい税金の授業 | 稲垣 啓  | 日本実業出版社 |
| 教科書       | 税法入門（令和6年度版）             | 税務大学校 | 国税庁     |
| 参考書       | よくわかる税法入門〔第19版〕          | 三木 義一 | 有斐閣     |

| 【成績評価方法・基準】 |      |      |            |      |        |      |                         |          |
|-------------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|----------|
| 評価方法        | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他      |
| 割合          |      |      |            |      | 20%    | 50%  | 10%                     | 20%      |
| 備考          |      |      |            |      |        |      |                         | ・成果発表20% |

【課題に対するフィードバック方法】  
原則、毎回の授業前後や授業中に皆さんからの質問へ口頭あるいはTeams投稿でのリプライでお応えします。  
必要に応じて、フィードバック用紙の配布回収やノート・レポート等进行检查してコメントをします。  
グループワークの成果発表等では、各回に解説あるいはコメントをします。

| 【連絡先】 |                                                        |           |                        |
|-------|--------------------------------------------------------|-----------|------------------------|
| 氏名    | オフィスアワー                                                | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス               |
| 中道 眞  | 水曜日・木曜日（講義等除く13:00～17:00.随時Mail,TeamsのAppointment受付ます） | NE205     | nakamichi@nupals.ac.jp |

【その他】  
授業開始前までに、日常生活で「財政」あるいは「税」という言葉から連想する内容、例えば大学での授業、高校までに勉強した内容、クラブ活動、家族・親戚、地域の組織など普段の生活も含めてなどを思い出して「**経済と税法**」ノートを作って来てください。  
本科目は、講義だけでなく、グループワークも実施することで、皆さんと一緒に「**経済と税法**」を考えてゆく計画です。  
なお、担当教員の急な出張や受講生の理解度等の状況に応じて授業計画は適宜変更することがあります。連絡は、授業時間中あるいはTeams等掲示板機能配信等で連絡しますので、注意してください。



|                 |        |           |     |     |
|-----------------|--------|-----------|-----|-----|
| 英語Ⅱ<br>EnglishⅡ | 授業担当教員 | 高橋 歩・田村 裕 |     |     |
|                 | 補助担当教員 |           |     |     |
|                 | 区分     | 教養必修      |     |     |
|                 | 年次・学期  | 1年次 後期    | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

私たちを取り巻く環境や日本人の食生活は急激に変化している。そのような状況に置かれた私たちの心身の健康について書かれたエッセイを精読しながら、読解力を養成し、語彙力を強化する。テキストで取り上げているテーマは「サプリメント」、「心の健康」、「健康と遺伝子」などである。高等学校までに学習した文法項目を復習することで理解を深めさせ、「英語Ⅲ」などのより上級の科目を学習するための基礎を築く。TOEIC練習用のリスニング副教材を使用してリスニングの強化を図る。ペアワークなどで単語の発音や本文の意味の確認を行い、学習した内容の定着を図る。リスニング力を伸ばすための訓練として、ディクテーションを数回行う。

【到達目標】

平易な英語で書かれた文章を読み、その内容を理解できる。日常的な場面で話される英語を聞き取り、その内容を把握できる。高等学校までに学習した文法を理解し、説明できる。  
知識・理解：１．平易な英語で書かれた文章を正確に読み、その内容を理解する。２．テキストで使用されている基本的な語彙を理解し、身につける。３．高等学校までに学習した文法事項を理解し、説明できる。  
思考・判断：１．英文を読み、要旨を述べることができる。  
関心・意欲・態度：１．予習をして授業に臨むことができる。２．私たちの環境や食生活の変化について興味や関心を示す。  
技能・表現：１．日常的な場面で話される英語を聞き取り、その内容を把握できる。２．TOEICリスニング・セクションの問題形式を理解する。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                                                                         | 授業内容                                                                                                   | 授業方式          | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                              | 担当教員 |
|----|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | 授業オリエンテーション<br>①Chapter 7: The World's Most Common Disease<br>②Unit 11: 会話問題 | シラバスを読んで、科目の概要や目標、進め方を理解する。テキスト本文を精読する。TOEICリスニング・セクション全体の問題形式を学ぶ。                                     | 演習・グループワーク    | 予習：シラバスをよく読む。テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                            | 高橋田村 |
| 2  | ①Chapter 7: The World's Most Common Disease<br>②Unit 12: 会話問題                | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 3  | ①Chapter 7: The World's Most Common Disease<br>②Unit 13: 会話問題                | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 4  | ①Chapter 8: Instant Noodles<br>②Unit 14: 会話問題                                | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 5  | ①Chapter 8: Instant Noodles<br>②Unit 15: 会話問題                                | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 6  | ①Chapter 9: Supplements<br>②会話問題のまとめ                                         | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 7  | ①Chapter 9: Supplements<br>②ディクテーション                                         | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。ディクテーションを行う。                            | 試験・演習・グループワーク | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。ディクテーションに備え、本文の聞き込みをする。（100分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                              | 高橋田村 |
| 8  | 到達度確認テスト<br>①Chapter 9: Supplements                                          | 到達度確認テストを受ける。テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。                                              | 演習・試験・グループワーク | 予習：到達度確認テストに備える。テキストの単語や熟語の意味を調べる。（120分）<br>復習：テキストと辞書を使用して到達度確認テストの問題をもう一度学習し、自己採点する。テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（30分） | 高橋田村 |
| 9  | 到達度確認テストの解説<br>①Chapter 10: The New Global Epidemic<br>②Unit 16: 説明文問題       | 返却された到達度確認テストを見ながら解答解説を聞き、理解する。テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。 | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 10 | ①Chapter 10: The New Global Epidemic<br>②Unit 17: 説明文問題                      | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 11 | ①Chapter 10: The New Global Epidemic<br>②Unit 18: 説明文問題                      | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 12 | ①Chapter 11: Health and Genes<br>②Unit 19: 説明文問題                             | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 13 | ①Chapter 11: Health and Genes<br>②Unit 20: 説明文問題                             | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 14 | ①Chapter 12: Mental Health<br>②説明文問題のまとめ                                     | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。                                | 演習・グループワーク    | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。（60分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                                                      | 高橋田村 |
| 15 | ①Chapter 12: Mental Health<br>②ディクテーション                                      | テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。ディクテーションを行う。                            | 試験・演習・グループワーク | 予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。ディクテーションに備え、本文の聞き込みをする。（100分）<br>復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分）                              | 高橋田村 |
| 16 | 到達度確認テスト<br>①Chapter 12: Mental Health                                       | 到達度確認テストを受ける。テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。                                              | 演習・試験・グループワーク | 予習：到達度確認テストに備える。テキストの単語や熟語の意味を調べる。（240分）<br>復習：テキストと辞書を使用して到達度確認テストの問題をもう一度学習し、自己採点する。テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。（60分） | 高橋田村 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                                                                                | 著者・編者                       | 出版社        |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|------------|
| 教科書 | ①Stay Healthy 明日の健康と医療を考える                                                        | Paul Stapleton              | センゲージラーニング |
| 教科書 | ②A Shorter Course in TOEIC TEST LISTENING 450 K（カタノダ）メソッズによる5分間新TOEICテスト・リスニング450 | Hiroko Katanoda, Thian Wong | 南雲堂        |
| その他 | 英和辞典を持参すること。                                                                      |                             |            |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験       | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 40%  | 40%  |            |      | 10%          |      |                         | 10% |
| 備考   |      |      |            |      | 課題（ディクテーション） |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

第1回目の到達度確認テストは授業中に返却し、正答を提示しながら内容を解説する。第2回目の到達度確認テストは、正答および解説をTeamsにアップする。

【連絡先】

| 氏名   | オフィスアワー   | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス           |
|------|-----------|-----------|--------------------|
| 高橋 歩 | 水曜午後、木曜午後 | E403d     | ayumi@nupals.ac.jp |
| 田村 裕 | 授業時間の前後   | 非常勤講師室    |                    |

【その他】

辞書を持参すること。ディクテーションを行うので、本文を聞き込んで臨むこと。



|                      |        |        |     |     |
|----------------------|--------|--------|-----|-----|
| 健康管理<br>Human Health | 授業担当教員 | 高橋 典子  |     |     |
|                      | 補助担当教員 |        |     |     |
|                      | 区分     | 教養必修   |     |     |
|                      | 年次・学期  | 1年次 後期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

“心身一如”という言葉があるように、人間の心と身体は切り離すことができないし、さらに人間は社会という集団の中で生きなければならない。そのため、心と身体を含めた全体的なものとして健康を考える必要がある。本講義では、まず、心と身体を切り離して健康に関わる基礎的な理論や知識を学んでいく。具体的には、学習、感覚-知覚、認知-記憶といった基礎心理学の分野、および人格の理論、カウンセリングや心理療法、精神疾患の基礎知識にも触れながら、臨床心理学、発達心理学、精神医学などの観点から心を捉えると共に、基本的生活習慣や身体運動の理論といった身体についても学ぶ。そして、これらの理論を踏まえた上で人間を心と身体を含む「全体存在」として捉え、社会の中でどのように生きてゆけるかについて理解を深めていく。

評価方法：定期試験70点、授業態度30点の合計100点とする。授業態度は、授業後のレポートにより評価（1回の講義につき0～2点で評価）する。レポートの評価基準は、質問に的確に回答できているか、講義の内容を踏まえて自身の考えを述べられているかの2点とする。

【到達目標】

心と身体の健康に関する知識を学習し理解を深めると共に、自分自身にとっての健康を考え、それを基に自己理解を深めて日常生活に活かしていくことを目標とする。

知識・理解：

①心と身体の基本的な理論について説明できる。②社会における個人という視点から自身について考えて理解する。③精神疾患やメンタルヘルスについて基礎知識を習得する。④様々なコミュニケーションや方法について理解する。

思考・判断：

①自己理解を深めて自分の心を客観的に捉えることで、自分なりのストレスへの対処法を考えることができる。

関心・意欲・態度：

①自分自身の心身について関心を持ち、自己理解を深めることができる。②周囲の人たちの心の状態にも関心を持ち、自他ともに配慮、尊重することができる。③心と身体の働きや関係に関心を持ち、知識を日頃の生活に活かすことができる。

その他：

①15回すべて出席することができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目             | 授業内容                                                                                                                                                                                 | 授業方式       | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                 | 担当教員 |
|----|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | オリエンテーションー健康とは？ー | オリエンテーション：この授業全体の目的や進め方について説明する。講義：健康第一などと言われるが、そもそも健康とは何なのだろうか。そして、健康を考えるうえで心と身体のことを無視することはできない。本講義では、グループワークを通して、「自分にとっての健康とは？」という疑問に向き合っていく。基礎的な知識や理論の習得の前に、自分自身の現段階での健康観について考える。 | 講義・グループワーク | 予習：世界保健機構（WHO）の健康の定義を調べたうえで、自身のこれまでの生活や人間関係を振り返り、自分にとっての健康とは何かについて考えてみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）                         | 高橋   |
| 2  | 基本的生活習慣と健康       | 身体は資本である。日頃の生活習慣を見直すことは、身体的な病気を予防するうえでも重要である。一方で、身体的な疾病が必要な場合もある。基本的な生活習慣について基礎知識を学ぶと同時に、心が身体を通して表現することについても考えてみる。                                                                   | 講義         | 予習：教科書(心と体の健康・スポーツ)の第1章(1)と、参考書(こころの処方箋)のNo. 8,24を読み、興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）                | 高橋   |
| 3  | 学生生活の充実と健康       | 学生生活を送るうえで、様々な病気や精神障害などを体験する可能性は常にある。楽しい学生生活の裏に潜む危険や予防のための知識を身につける。                                                                                                                  | 講義         | 予習：教科書(心と体の健康・スポーツ)の第1章(2)と、参考書(こころの処方箋)のNo. 10,26,38,49を読み、興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）         | 高橋   |
| 4  | 学習               | 我々人間は生きる過程の中で、あらゆるものを学習している。基本的な学習理論を概観し、学習の過程や効果について理解を深める。                                                                                                                         | 講義         | 予習：教科書（はじめての心理学）の第2章を読んで、興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）                                            | 高橋   |
| 5  | 感覚-知覚と認知-記憶      | 人間は、身体感覚や言葉にならない感覚としての第六感を通して様々なものを知覚し、意識で捉えられるものに関しては認知する必要に応じて記憶している。人間の感覚-知覚の機能、認知プロセスや記憶のメカニズムについて学習する。また、グループワークを通して、言葉にならない身体感覚を体験的に学ぶ中で心と身体の距離についても考えてみる。                     | 講義・グループワーク | 予習：教科書（はじめての心理学）の第3・4章を読んで、興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）                                          | 高橋   |
| 6  | 社会における個人と集団      | 人間は、社会の中で生きることを強いられており、これは避けようのないものである。講義では、社会の中の個人という視点から社会的役割やアイデンティティについて考える。また、集団における人間の心理や行動、コミュニケーションに関する理論も学習する。                                                              | 講義         | 予習：教科書（はじめての心理学）の第5章と、こころの処方箋（No. 1, 6, 18）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）                      | 高橋   |
| 7  | 人格とは             | 人間は皆、人格を持って存在している。人格は、その人自身を表すものであり、人格を見つめることが自身を知ることに繋がってくる。講義では、人格の諸理論や人格形成に影響を及ぼす要因などを学び、自分は何者か、について少し考えを深めてみる。                                                                   | 講義         | 予習：教科書（はじめての心理学）の第6章と、こころの処方箋（No. 55）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）                            | 高橋   |
| 8  | 心の発達1            | 「三つ子の魂百まで」という言葉があるように、乳児期からの発達過程はその後にも大きく影響する。この講義では、乳児期～学童期までの心の発達について学習し、人間はどのように養育者との愛着を形成し、どのように個として成長していくのかについて学習する。                                                            | 講義         | 予習：教科書（はじめての心理学）の第7章と、こころの処方箋（No. 5, 22, 34, 44）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）                 | 高橋   |
| 9  | 心の発達2            | 思春期・青年期の時期は、親からの自立やアイデンティティの確立が大きなテーマであり心身共に不安定になりやすい。しかし、この時期があるからこそ、人間は自立へと向かって歩みだせるのである。講義では、この時期の人が経験する危機や心の在り方について、身体的な側面も含めながら考える。                                             | 講義         | 予習：教科書（はじめての心理学）の第8章と、こころの処方箋（No. 22, 29）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）                        | 高橋   |
| 10 | 心の構造1            | 無意識は、思考や感情、行動に影響を与え、それは身体でも表現される。むしろ、身体は無意識であるため、こころについて考えるとき、身体も含めた人間存在全体として考える必要がある。講義では、心理学におけるコンプレックスの捉え方と一般化されたいくつかのコンプレックスを通して、無意識の働きを理解する。                                    | 講義         | 予習：教科書の第9章を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）                                                       | 高橋   |
| 11 | 心の構造2            | 人間は常に心の機能を駆使して生きている。そして、この機能が上手く働かない時に、人間は病を患ったり、困難を抱えたりする。こころの役割の一つとしての「防衛機制」や、フロイトやユングが提唱した無意識の概念についても学ぶ。また、心理療法の中での無意識的な表現として、夢、箱庭、描画についても紹介する。                                   | 講義         | 予習：教科書の第10章を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）                                                      | 高橋   |
| 12 | 心の癒し             | 我々人間はなぜ悩み苦しむのか、そしてそれらは時として心理的・身体的な病として表れる。講義では、講師の経験などを基に心理療法について知り、その大切さや自分自身のこころについて考える。                                                                                           | 講義         | 予習：教科書第11章を読む。また、こころの処方箋No.20と他の箇所を読んでみて癒された言葉があれば、それについて自分なりに考えてみる。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分） | 高橋   |
| 13 | メンタルヘルス          | メンタルヘルスの問題を考えるうえで、心の健康について考えることはもちろん、身体の健康についても考えなければならない。では、健康とは何なのか。心の健康と保たれにできることはなにか。第1回で考え、ここまで学んできた内容を含め、今一度、健康について考えてみる。                                                      | 講義         | 予習：教科書の第12章とこころの処方箋（No.10, 40）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）                                   | 高橋   |

| 回  | 授業項目   | 授業内容                                                                                                                                      | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                      | 担当<br>教員 |
|----|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 14 | 文化と多様性 | 人が生きる上で必ずその背景にある文化が人のところに与えているものについて考え、現代のキーワードの一つとなっている多様性について、セクシャル・マイノリティの基礎知識（LGBTとは？、カミングアウト、アウティングなど）を中心に学び、多様な性の在り方や生き方について考えを深める。 | 講義   | 予習：教科書の第12章を読み、書籍やインターネットなどでセクシャル・マイノリティについて調べてみる。こころの処方箋（No.19）を読み、考えを深める。（70分）<br>復習：講義内容をまとめる。（200分）           | 高橋       |
| 15 | 総括     | 第1回～第14回までの講義のまとめを行う。心の健康を考える上で特に重要なポイントや理解してほしい概念、考えを深めてほしいことについて再度取り上げる。                                                                | 講義   | 予習：第1回～第14回までの授業を振り返り、自分なりにまとめてみる。疑問点やよく理解できていないところがあれば、質問できるようにしておく。（70分）<br>復習：講義全体を通しての重要なポイントを理解し、説明できるようにする。 | 高橋       |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                          | 著者・編者            | 出版社   |
|-----|-----------------------------|------------------|-------|
| 教科書 | はじめての心理学                    | 氏原寛・松原恭子・千原雅代編   | 創元社   |
| 教科書 | 心と体の健康・スポーツ（※該当ページを授業で配布する） | 茨城大学 心と体の健康研究会 編 | 大修館書店 |
| 参考書 | こころの処方箋（※該当ページを授業で配布する）     | 河合隼雄             | 新潮社   |
| 参考書 | コーピングのやさしい教科書               | 伊藤絵美 著           | 金剛出版  |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション<br>試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度   | その他 |
|------|------|------|----------------|------|--------|------|---------------------------|-----|
| 割合   | 70%  |      |                |      |        |      | 30%                       |     |
| 備考   |      |      |                |      |        |      | 講義後のレポート提出で評価。詳細は授業概要に記載。 |     |

【課題に対するフィードバック方法】

定期試験終了後に、模範解答をPortal Nupalsに掲載する。  
授業後に提出するレポート課題については、授業内で全体的なフィードバックを行う。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス |
|-------|---------|-----------|----------|
| 高橋 典子 |         |           |          |

|                                                                              |        |                                                                      |     |     |
|------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------|-----|-----|
| <div>キャリア形成実践演習</div> <div>Practice and Seminar for Career Development</div> | 授業担当教員 | 重松 亨・伊藤 美千代・市川 進一・松本 均・小瀬 知洋・宮崎 達雄・村上 聡・中村 豊・中道 眞・杉田 耕一・小長谷 幸史・大野 正貴 |     |     |
|                                                                              | 補助担当教員 |                                                                      |     |     |
|                                                                              | 区分     | 教養必修                                                                 |     |     |
|                                                                              | 年次・学期  | 1年次 後期～2年次後期（2025年度入学生～），1年次 後期～3年次後期（～2024年度入学生）                    | 単位数 | 1単位 |

【授業概要】

社会に対して積極的な学生生活を送るとともに、周囲の人たちとコミュニケーションがとれるような人格形成を目的として、ボランティア活動や地域の行事への参加を促す。事前学習、実際の活動、事後学習を通してキャリア形成が向上しているか評価し、最終的にはレポートの内容により評価を行う。履修期間は1年次後期～2年次後期（2025年度入学生～）あるいは1年次後期～3年次後期（～2024年度入学生）とし、2年次後期に1単位を授与（2025年度入学生～）あるいは3年次後期に1単位を授与（～2024年度入学生）する。履修期間内の半年間で活動を行うが、活動時期は学生によって異なる。前期は応用生命科学科2年2組および生命産業ビジネス学科2年（学籍番号後半）が活動を行い、後期は応用生命科学科1年1組および生命産業ビジネス学科1年（学籍番号前半）が活動を行う。活動時期になったら対象学生に説明会の案内を配信する。履修登録は、活動完了の有無にかかわらず2年次後期（2025年度入学生～）あるいは3年次後期（～2024年度入学生）までは毎期履修登録を行う。この場合の毎期とは、1年次後期、2年次前期、2年次後期、3年次前期、3年次後期を指す。本科目は、1年次開講科目「フレッシュャーズセミナー」の発展的な内容として位置付けられる。

【実務経験】

担当教員松本（本演習の中でひとつのグループを担当する）は、食品企業において、食品の研究開発営業マーケティング業務に25年間従事した経験を活かし、社会の一員として必要な地域のコミュニティとの関連性（付き合い方）について指導する。担当教員の杉田は、大手上場企業の研究開発部門と新事業企画部門に27年間勤務し、地域社会とのコミュニケーションをとりながら様々な事業を推進してきた。このような実務経験を活かし、地域の方々との付き合い方や良好な関係の作り方などを指導する。担当教員村上は、公立中学校教諭として勤務し、教員の研修指導、初任者教諭の育成と教育実習生の受け入れを担当した。その実務経験を基に、自らの力量向上と他者との良好な関係づくりについて高い専門性とその理論的背景を講義とALにより展開する。

【到達目標】

ボランティア活動や地域の行事への参加を通じ、コミュニケーション能力を身に付け、積極的な人格形成を目的とする。同時に働くことの意義を理解し、さらにボランティア活動などにも積極的に参加する姿勢を身につける。

知識・理解：1. キャリア形成の意味と必要性を理解できる。2. 職業観・勤労観を理解できる。3. 対人関係における自分の位置付けを理解できる。

思考・判断：1. 課題に対してよく考慮し、適切な判断ができる。

関心・意欲・態度：1. 様々な事に関心を示し、積極的に取り組むことができる。

技能・表現：1. 自己を適切に表現できる。

| 【授業計画】 |                    |                                                                 |              |                                                                                               |                                                                 |
|--------|--------------------|-----------------------------------------------------------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 回      | 授業項目               | 授業内容                                                            | 授業方式         | 授業外学習（予習・復習）                                                                                  | 担当教員                                                            |
| 1      | 授業オリエンテーション        | シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。また、ボランティア活動や地域の行事に参加する際の注意事項について学ぶ。 | 講義           | 予習：シラバスの熟読（30分）<br>復習：講義内容（30分）                                                               | 重松<br>市川<br>松本<br>小瀬<br>宮崎<br>中村<br>伊藤<br>小長谷<br>村上<br>中道<br>杉田 |
| 2      | 事前学習               | ボランティア活動や地域の行事への参加前の注意事項と目的についてグループ討論により確認を行う。                  | 演習・実習・SGD    | 予習：参加するボランティア活動や地域の行事について調べる。（30分）<br>復習：事前学習の内容について振り返りを行う。（30分）                             | 重松<br>市川<br>松本<br>小瀬<br>宮崎<br>中村<br>伊藤<br>小長谷<br>村上<br>中道<br>杉田 |
| 3~14   | ボランティア活動、地域の行事への参加 | 周囲の人たちとコミュニケーションをとり、目的を達成する。ボランティア活動や地域の行事に積極的に参加する姿勢を身に付ける。    | 演習・実習・SGD    | 予習：事前学習で学んだ内容を熟知する。（360分）<br>復習：参加した活動について振り返りを行う。（360分）                                      | 重松<br>市川<br>松本<br>小瀬<br>宮崎<br>中村<br>伊藤<br>小長谷<br>村上<br>中道<br>杉田 |
| 15     | 事後学習               | 参加したボランティア活動や地域の行事についてグループ討論を行い発表を行う等、振り返りを行う。                  | 演習・実習・SGD・発表 | 予習：参加したボランティア活動や地域の行事にいて目的が達成されたか確認を行う。（30分）<br>復習：事前学習、実際の活動、事後学習について振り返りを行い、レポートを作成する。（30分） | 重松<br>市川<br>松本<br>小瀬<br>宮崎<br>中村<br>伊藤<br>小長谷<br>村上<br>中道<br>杉田 |

| 【教科書・参考書】 |                |       |     |
|-----------|----------------|-------|-----|
| 種別        | 書名             | 著者・編者 | 出版社 |
| その他       | キャリア形成実践演習課題一覧 |       |     |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート        | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他              |
|------|------|------|------------|------|--------|-------------|-------------------------|------------------|
| 割合   |      |      |            |      |        | 30%         | 60%                     | 10%              |
| 備考   |      |      |            |      |        | 活動終了後のレポート等 | 事前学習・実際の活動・事後学習での授業態度   | 成果発表（事後学習における発表） |

【課題に対するフィードバック方法】

授業に関して寄せられた要望はMicrosoft Teamsを利用して回答します。

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー                                                       | 研究室（部屋番号）          | Eメールアドレス                       |
|--------|---------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------|
| 重松 亨   | 開講日18:00～20:00                                                | 食品・発酵工学研究室(E302a)  | shige@nupals.ac.jp             |
| 伊藤 美千代 | 月曜日～金曜日（13:00～17:00）                                          | 新津駅東キャンパス（NE214）   | nagano-ito@nupals.ac.jp        |
| 市川 進一  | 月曜日～金曜日 13時40分～15時10分                                         | E102a教授室           | shin@nupals.ac.jp              |
| 松本 均   | 月曜日～金曜日の9:00-18:00（休日、代休日を除く）                                 | 食品機能学研究室（E203a）    | hitoshi.matsumoto@nupals.ac.jp |
| 小瀬 知洋  | 必ずメールかTeamsでアポイントを取ってください。土日祝日を除く平日の15:00 - 17:00の間で時間を調整します。 | 新津C E401a          | tkose@nupals.ac.jp             |
| 宮崎 達雄  | 月曜日～金曜日（13:10～18:00）                                          | 生体分子化学研究室（E403b）   | tmiyazaki@nupals.ac.jp         |
| 村上 聡   | 月～金の昼休み その他の時間を希望する場合は個別に相談に応じる                               | 理科教育学研究室(E401c)    | s-murakami@nupals.ac.jp        |
| 中村 豊   | 平日の13:10-18:00                                                | 環境有機化学研究室(E402a)   | nakamura@nupals.ac.jp          |
| 中道 真   | 水曜日・木曜日（講義等除く13:00～17:00.随時Mail,Teamsのアポイント受付ます）              | NE205              | nakamichi@nupals.ac.jp         |
| 杉田 耕一  | 月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）。Teamsチャットでの事前連絡が望ましい。                | NE211              | agri-sugita@nupals.ac.jp       |
| 小長谷 幸史 | 火曜日13時10～14時50分                                               | E101生物学研究室         | konayuki@nupals.ac.jp          |
| 大野 正貴  | 平日10:00～17:00、事前にメールかTeamsでアポイントを取ってください。                     | 新津C 環境工学研究室(E401b) | mohno@nupals.ac.jp             |

【その他】

この科目にはいがたマインド学生マイスター取得対象科目です。（生命産業ビジネス学科のみ）

|                                                               |        |                                                    |     |     |
|---------------------------------------------------------------|--------|----------------------------------------------------|-----|-----|
| <div>情報リテラシー応用</div> <div>Advanced Information Literacy</div> | 授業担当教員 | 星名 賢之助・浅田 真一・富永 佳子・川村 暢幸・伊藤 美千代・井坂 修久・若栗 佳介・佐藤 里佳子 |     |     |
|                                                               | 補助担当教員 | 関川 由美                                              |     |     |
|                                                               | 区分     | 教養必修                                               |     |     |
|                                                               | 年次・学期  | 1年次 後期                                             | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

デジタル社会の「読み・書き・そろばん」として「数理・データサイエンス・AI」が位置づけられています。その意味は、私たちがデータから適切に情報を収集し、判断することは、現代社会における標準スキルとして身に付けるべき、ということです。本講義では、「数理・データサイエンス・AI」とは何か、実社会における数理・データサイエンス・AIがどのように利用されているか、についての講義を行います。その上で、具体的にデータ収集とデータ処理が出来る能力および、社会における数値データを適切に解釈するためのスキルが身に付けられるように演習形式で指導します。生活や仕事場に急速な変化をもたらすAIに対して、私たちはどのように関わるべきなのか、自ら考える機会としてほしいと考えます。本科目は、1年次前期開講科目「情報リテラシー基礎」の基礎的な知識が必要とされます。

【実務経験】

富永：製薬会社（内資系・外資系）等において新薬開発およびマーケティングの業務に25年以上携わり、開発段階の臨床試験データの統計解析や製品戦略構築のための市場調査解析の実務経験を活かして、実践的な視点で講義を行う。

【到達目標】

- 1) 今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に着ける。
- 2) 人工知能（AI）の利活用、できること、できないことを理解し、説明できる。
- 3) グループとして様々な事業分野（医・薬・農業・経済・その他）における先進AI利活用事例の調査・発表に取り組み、協働・共調学修を通じて、さらに学びを深める。
- 4) 現実社会で見られる事象の綿密な要因分析により根底にある課題を特定し、そのための解決策を考えることができる。
- 5) 公的統計データ、実データを用いて、データの種類に応じた適切なまとめ方や分析手法について理解する。
- 6) 日常生活におけるデータサイエンスの応用事例とその意義を説明できる。
- 7) データの種類による違い、簡易統計量のそれぞれの意味、データの種類や目的に応じた分析・統計解析の手法を理解し、説明できる。
- 8) 様々なグラフ表現を理解し、その違いを説明できる。
- 9) 分析手法やグラフ表現の選択、結果の解釈など根拠を持った判断ができる。
- 10) 積極的に授業内容に対する質問や意見を提示し（Teamsでの質問提示を含む）、クラス全体としての協働・協調学修に貢献する。
- 11) Microsoft Excelを用いて集計・解析およびグラフ作成ができる。
- 12) Microsoft Powerpointを用いて、調査結果をまとめた発表資料が作成できる。

【授業計画】

| 回 | 授業項目                  | 授業内容                                                                      | 授業方式          | 授業外学習（予習・復習）                                    | 担当教員                                               |
|---|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 1 | 人工知能（AI）・データ解析を学ぶ意義   | 人工知能（AI）の急速な進展に代表される近未来に向けて、情報リテラシーを学ぶ意義、社会におけるデータの役割、社会で起きている変化について学ぶ。   | 講義            | 予習：シラバスの熟読（80分）<br>復習：復習：講義内容を整理し、まとめる。（180分）   | 星名<br>浅田<br>富永<br>伊藤<br>若栗<br>井坂<br>佐藤<br>川村<br>関川 |
| 2 | AIの仕組み                | AI（人工知能）とは何か、その仕組み、背景となる必要性、実現する技術、利用例について学ぶ。それを課題として利用方法にいてグループ単位で調査を行う。 | 講義・グループワーク    | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 富永<br>浅田<br>若栗<br>星名<br>伊藤<br>佐藤<br>川村<br>関川       |
| 3 | AI活用例の調査（1）           | AIの活用方法（医・薬・農業・経済・その他）の具体的事例を1つ選び、それを課題として利用方法にいてグループ単位で調査を行う。            | 講義・グループワーク    | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 富永<br>浅田<br>若栗<br>星名<br>伊藤<br>佐藤<br>川村<br>関川       |
| 4 | AI活用例の調査（2）           | 調査資料を元にパワーポイント発表ファイルとしてまとめる。                                              | 講義・グループワーク    | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 富永<br>浅田<br>若栗<br>星名<br>伊藤<br>佐藤<br>川村<br>関川       |
| 5 | AI調査結果のまとめ、発表資料の作成（1） | 調査資料を元に発表ファイルとしてパワーポイントでまとめる。                                             | 講義・グループワーク    | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 富永<br>浅田<br>若栗<br>星名<br>伊藤<br>佐藤<br>川村<br>関川       |
| 6 | AI調査結果のまとめ、発表資料の作成（2） | 調査資料を元に発表ファイルとしてパワーポイントでまとめる。                                             | 講義・発表・グループワーク | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 富永<br>浅田<br>若栗<br>星名<br>伊藤<br>佐藤<br>川村<br>関川       |
| 7 | AI調査結果の発表、討論（1）       | 各グループからの発表を通じて、AIができること・できないこと、活用方法、具体的事例を共有し、クラス全体で互いの学びを深める。            | 講義・発表・グループワーク | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 富永<br>浅田<br>若栗<br>星名<br>伊藤<br>佐藤<br>川村<br>関川       |



| 回     | 授業項目                                      | 授業内容                                                                                                   | 授業方式          | 授業外学習（予習・復習）                                    | 担当教員                                         |
|-------|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 8     | AI調査結果の発表，討論（2）                           | 各グループからの発表を通じて、AIができること・できないこと、活用方法、具体的事例を共有し、クラス全体で互いの学びを深める。                                         | 講義・発表・グループワーク | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 富永<br>浅田<br>星名<br>伊藤<br>若栗<br>佐藤<br>川村<br>関川 |
| 9～10  | データ分析（1-2）：データとAI，データとは分析のためのエクセル操作、p値の導出 | データ分析の概要、データの表現・収集、留意事項、AIの関係について学ぶ。<br>Excelを利用したデータ分析の基礎について学び、検定の基礎となるp値が導出できるようになる。                | 講義・演習         | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 若栗<br>井坂<br>伊藤<br>佐藤<br>川村<br>関川<br>星名       |
| 11～12 | データ分析（3-4）：確率、独立、検定                       | 母集団と標本の間を関係理解した上で、検定の理論と方法論を学ぶ。平均の検定や平均の差の検定を通じ、確率の解釈と独立性の概念を習得する。これらの知識を活用し、データから有意な結論を導き出すスキルを身につける。 | 講義・演習         | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 若栗<br>井坂<br>伊藤<br>佐藤<br>川村<br>関川<br>星名       |
| 13～14 | データ分析（5-6）：相関、回帰分析                        | 相関分析と回帰分析を学び、二変数間の関係性を探る手法を習得する。これらの分析手法を用いる際の注意点を理解し、データに基づく予測モデルの構築方法を学ぶ。                            | 講義・演習・課題      | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 若栗<br>井坂<br>伊藤<br>佐藤<br>川村<br>関川<br>星名       |
| 15    | データ分析（7）：エクセルを利用したデータ分析                   | 実データのデータ分析を行う（試験）。分析手順について解説を行う。                                                                       | 講義・演習・課題      | 予習：授業資料を読んでくる。（130分）<br>復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分） | 若栗<br>井坂<br>伊藤<br>佐藤<br>川村<br>関川<br>星名       |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名             | 著者・編者                | 出版社   |
|-----|----------------|----------------------|-------|
| 教科書 | データサイエンス入門     | 上藤一郎、西川浩昭、朝倉真粧美、森本栄一 | オーム社  |
| 参考書 | AI・データサイエンスの基礎 | 吉原幸伸                 | アイテック |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験                                   | レポート                                                    | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度             | その他               |
|------|------|------|------------|------|------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------|
| 割合   |      |      |            |      | 35%                                      | 15%                                                     | 20%                                 | 30%               |
| 備考   |      |      |            |      | ・講義時間内の確認試験：9～14回（5%×3日＝15%），15回 試験（20%） | ・課題提出：9-10, 11-12, 13-14が実施される3日間は課題をだします。その提出状況で採点します。 | ・グループワークの進捗報告（5%）、グループワークへの貢献度（15%） | ・成果発表（AI調査の発表・討論） |

【課題に対するフィードバック方法】

・授業に関して寄せられた要望・質問は，試験内容は，授業内・Teamsでフィードバックします。

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー                                 | 研究室（部屋番号）              | Eメールアドレス                |
|--------|-----------------------------------------|------------------------|-------------------------|
| 星名 賢之助 | 月～木 15:00-18:00                         | 薬品物理化学研究室（F棟302a）      | hoshina@nupals.ac.jp    |
| 浅田 真一  | 月曜日～金曜日 12:10～12:45 その他Teamsのchatで随時連絡可 | 薬学教育センター（F棟地下1階 FB101） | asada@nupals.ac.jp      |
| 富永 佳子  | 月～金、8:30～18:00（事前連絡が望ましい）               | 社会薬学研究室（F棟508）         | y-tominaga@nupals.ac.jp |
| 川村 暢幸  | 平日 10:00～16:00 Teams chatで事前連絡が確実       | 薬学教育センター F棟B101b       | kawamura@nupals.ac.jp   |
| 伊藤 美千代 | 月曜日～金曜日（13:00～17:00）                    | 新津駅東キャンパス（NE214）       | nagano-ito@nupals.ac.jp |
| 井坂 修久  | 月曜日～金曜日（10:00～17:00）                    | 生体分子化学研究室（E403a）       | isaka@nupals.ac.jp      |
| 若栗 佳介  | 月～金 11:00～17:00                         | 新津駅東キャンパス（NE212）       | wakakuri@nupals.ac.jp   |
| 佐藤 里佳子 | 月曜日～金曜日の午後（授業時間以外）                      | 応用微生物・遺伝子工学研究室（E201）   | rsato@nupals.ac.jp      |
| 関川 由美  | 月～金 10:00～18:00                         | 薬学教育センター（F棟B101）       | sekigawa@nupals.ac.jp   |

【その他】

- ※シラバス1～8回は，AIに関する調査・討論およびPowerpointを用いた発表資料作成を行います。
- ※シラバス9～15回は，統計解析の基礎演習をExcelを用いて行います。
- ※ 講義の順番はシラバス通りではありません。別途指示します
- ※ 毎回，各自ノートパソコンを持参してください。
- ※ 前期情報リテラシー基礎で使用した資料を持参するようにしてください。

|                                          |        |                  |     |     |
|------------------------------------------|--------|------------------|-----|-----|
| 英語コミュニケーションII<br>Communicative EnglishII | 授業担当教員 | Alistair Gillett |     |     |
|                                          | 補助担当教員 |                  |     |     |
|                                          | 区分     | 教養選択             |     |     |
|                                          | 年次・学期  | 1年次 後期           | 単位数 | 1単位 |

【授業概要】

This class focuses on oral communication skills. An important goal of this course is to help all students, regardless of English level, to gain confidence in using English to express their ideas, feelings, and experiences. The course uses information provided by students real lives to practice speaking, reading, writing, and listening to build on skills learned in junior and senior high school. The target is to move towards CEFR pre-B1.

Note : Content of any class can be changed upon the discretion of the instructor.

【到達目標】

This course will help students improve their English speaking and listening comprehension skills. Students will focus on learning to communicate effectively in English about a variety of topics. Classwork will include: Speaking, listening comprehension exercises, note taking, reporting, and grammar focus. Students will share their ideas and experiences in English while involved in pair, small, and large group discussion activities. There will also be group and solo presentation. Most lessons conclude with a one-to-one talk with the teacher.

【授業計画】

| 回    | 授業項目                                                                               | 授業内容                                                                                                                                                                               | 授業方式     | 授業外学習（予習・復習）                                   | 担当教員     |
|------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------------------------------------------|----------|
| 1    | How was your holiday?<br>Summer Class Interview                                    | Phonics communicative activity. Listen close activity. Reading and comprehension activity, writing activity, Class interview activity, Student writing activity. Teacher interview | 講義・演習    | 予習：Review last semester（120分）<br>復習：授業内容（120分） | Alistair |
| 2    | More Adjectives                                                                    | Phonics communicative activity. Vocab focus x 2. Pair practice. Question production and interview. Report to teacher.                                                              | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）            | Alistair |
| 3    | Mascots.<br>More adjectives practice                                               | Phonics communicative activity. Student research. Communicative Adjective activity. Pair design activity writing A.I. prompts in English. Report to teacher.                       | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）            | Alistair |
| 4    | ~ed/~ing adjectives                                                                | Phonics communicative activity. Vocab focus. Grammar focus. Grammar practice activity. Interview activity. Report to teacher.                                                      | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）            | Alistair |
| 5    | Making Stories                                                                     | Phonics communicative activity. Story structure focus. Group brainstorm. Individual writing activity. Emphasis in speaking activity. Report to teacher                             | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）            | Alistair |
| 6    | The Hungry Caterpillar.<br>Adjective/noun story presentation preparation           | Groups choose Adjective + noun combination. Group brainstorm story. Write script                                                                                                   | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）            | Alistair |
| 7    | The Hungry Caterpillar.<br>Adjective/noun story presentation preparation           | Continue with script. Use A.I in English to produce presentation slides. Emphasis in speaking practice                                                                             | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）            | Alistair |
| 8    | The Hungry Caterpillar.<br>Adjective/noun story presentation. Graded               | Explanation of grading. Presentation                                                                                                                                               | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）            | Alistair |
| 9~10 | Group activities while interview teacher test. Graded + post presentation analysis | Graded individual interview including presentation performance analysis. while review group sentence unscramble activities.                                                        | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）            | Alistair |
| 11   | Where would you like to go?<br>Hypothetical English                                | Picture activity. Grammar focus. Group close activity. Individual writing activity. Report to teacher                                                                              | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）            | Alistair |
| 12   | My perfect home.<br>Individual presentation preparation.                           | Introduction example. Group brainstorming. Individual writing. Teacher check.                                                                                                      | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）            | Alistair |
| 13   | My perfect home.<br>Individual presentation preparation.                           | Writing A.I. prompts in English to produce visual for presentation. Emphasis in speaking activity. Practice presentation. Teacher check.                                           | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）            | Alistair |
| 14   | My perfect home.<br>Individual presentation                                        | Individual presentation +group Q&A activity                                                                                                                                        | 講義・演習    | 予習：Worksheet（120分）<br>復習：授業内容（120分）            | Alistair |
| 15   | In the future I would.<br>Hypothetical + future tense                              | Grammar focus. Group brainstorm activity. Individual writing activity. Grammar focus activity. Writing check. Report to teacher.                                                   | 講義・演習・試験 | 予習：All lessons（120分）<br>復習：授業内容（120分）          | Alistair |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名   | 著者・編者 | 出版社 |
|-----|------|-------|-----|
| その他 | 配布資料 |       |     |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験       | その他の試験        | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------------|---------------|------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            | 25%        | 25%           | 15%  | 25%                     | 10% |
| 備考   |      |      |            | interviews | presentations |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

テスト解答例を採点済答案とともに返却します。

【連絡先】

| 氏名               | オフィスアワー | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス |
|------------------|---------|-----------|----------|
| Alistair Gillett |         |           |          |

【その他】

質問がある場合は、授業時間前に用紙に英語またはローマ字で記入してください。  
授業中にお答えします。  
教科書はありません。

|                     |        |        |     |     |
|---------------------|--------|--------|-----|-----|
| 地学<br>Earth Science | 授業担当教員 | 藤林 紀枝  |     |     |
|                     | 補助担当教員 |        |     |     |
|                     | 区分     | 教養選択   |     |     |
|                     | 年次・学期  | 1年次 後期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

プレートテクトニクス、地殻を構成する岩石、火山活動、地震活動と断層、地球の歴史、大気の循環、惑星と星などについて講述する。本講義の内容を踏まえて、二学年に地学実験を実施する。

【到達目標】

本授業を通して、地球内部および表層部で起きている運動、それに関連して起きる地学現象について理解し、説明することができるようになる。  
知識・理解：地球内部の構造、プレートテクトニクス、地表の変化と岩石（地層）の形成過程、大気の成層構造と循環、惑星と恒星についての基礎的事項について理解する。  
思考・判断：身近な自然現象を、地球全体のシステムの中で起きていることとして捉えることができるようになる。  
関心・意欲・態度：自然現象に興味を持ち、自ら調べることができるようになる。  
技能・表現：インターネットを活用して、必要な情報を得ることができるようになる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                    | 授業内容                                                                                                                   | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                         | 担当教員 |
|----|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | 授業オリエンテーション<br>地球の概観と構造 | 地球の形、大きさ、他の惑星との違いなどについて説明する。                                                                                           | 講義   | 予習：不要<br>復習：地球楕円体及の形と大きさ、緯度による重力の変化について理解すること。（90分）                                                                  | 藤林   |
| 2  | 海洋地殻と大陸地殻               | 海洋地殻と大陸地殻はその厚さ、密度、構成岩石の種類、でき方が大きく異なっている。その違いについて概説する。                                                                  | 講義   | 予習：「オフィオライト」について調べておくこと。（30分）<br>復習：海洋地殻と大陸地殻の違いについて、密度、構成岩石の点からその違いを理解すること。（90分）                                    | 藤林   |
| 3  | 大陸移動とプレートテクトニクス         | 大陸移動説、海洋低拡大説、プレートテクトニクス説、ブルームテクトニクス説について概説する。                                                                          | 講義   | 予習：プレートテクトニクスについて予習すること。（60分）<br>復習：各学説の根拠になった事象についてまとめること。（90分）                                                     | 藤林   |
| 4  | マグマとは                   | マグマとは何か、それを構成する化学成分、粘性、飽和してできる結晶（鉱物）の種類、火山ガラスと結晶の違い、火山ガスの成分などから講述する。                                                   | 講義   | 予習：鉱物の化学式を配布資料で学習しておくこと。（30分）<br>復習：マグマの粘性（流動性）とマグマに含まれる化学成分の割合（化学組成）の関係を理解すること。（90分）                                | 藤林   |
| 5  | 中央海嶺の火山活動               | 海洋地殻を形成する中央海嶺の火山活動について、写真資料を示しながら紹介する。                                                                                 | 講義   | 予習：不要<br>復習：溶岩の表面形態と名称について復習すること。（90分）                                                                               | 藤林   |
| 6  | 島弧の火山活動                 | マグマの発生メカニズム、マグマの多様性、SiO2含有量と粘性の関係等について解説し、中央海嶺の火山活動と違う火山活動の特徴を説明する。                                                    | 講義   | 予習：火山岩の分類について調べておくこと。（30分）<br>復習：マグマの粘性と火山の形の関係について理解すること。（90分）                                                      | 藤林   |
| 7  | 爆発的噴火の仕組み               | 火山の爆発的噴火の種類とその素過程、マグマの粘性との関係などについて講述する。                                                                                | 講義   | 予習：不要<br>復習：マグマ中に溶解していた火山ガス成分の体積変化についての計算課題を出すので、次回の授業時に提出すること。（120分）                                                | 藤林   |
| 8  | 水の働き・堆積岩と堆積作用           | 風化作用－浸食作用－運搬作用－堆積作用といった一連の過程を経て形成される堆積岩のでき方、含まれる化石からわかる地質年代や古環境について、また他の作用で形成される堆積岩について概説する。                           | 講義   | 予習：風化作用について調べてくること。（60分）<br>復習：授業でわからなかった内容について調べること。（90分）                                                           | 藤林   |
| 9  | 変成岩と変成作用                | プレートの沈み込みに関連して形成される広域変成岩、マグマの熱によって形成される接触変成岩、男装活動に伴って形成される動力変成岩とそれらの変成作用について講述する。                                      | 講義   | 予習：変成岩とは何か調べること。（60分）<br>復習：授業でわからなかった内容について調べること。（90分）                                                              | 藤林   |
| 10 | 地震と断層                   | プレート境界型、内陸型の地震と断層との関係について、日本列島及び周辺海域の活断層分布、震源の深さ等かを示しながら講述するとともに、PCを用いて気象庁および防災科学研究所の地震データにアクセスし、震源の3次元分布の様子を調べる作業をする。 | 講義   | 予習：2024年能登半島地震、2007年中越沖地震、2004年中越地震、1964年新潟地震の震源の深さを調べてくる。（60分）<br>復習：日本列島の震源分布と沈み込んでいるプレートとの関連についてまとめる（レポート）。（120分） | 藤林   |
| 11 | 地殻変動：造山運動とアイソスタシー       | プレート衝突境界に形成されたアルプスヒマラヤ造山帯とプレート沈み込み境界に形成された環太平洋造山帯の違いについて後述するとともに、氷床の融解やマグマが地殻に深成岩体を作ることによって起こる地殻変動について講述する。            | 講義   | 予習：造山帯について調べてくること。（60分）<br>復習：演習プリントの課題を出すので、次回までに計算して提出すること。（90分）                                                   | 藤林   |
| 12 | 地球の歴史                   | 地層に記録された古地磁気、年代、化石などから推定される地球誕生後の生物界の変遷や気候変動の歴史について講述する。                                                               | 講義   | 予習：地球磁場について調べてくること（90分）<br>復習：地球環境の変遷について復習すること。（60分）                                                                | 藤林   |
| 13 | 日本列島の地質                 | 4つのプレートの境界に位置する日本列島の地史について、現在の地質構造から説明する。                                                                              | 講義   | 予習：参考書等で日本列島の地質について書かれた資料をteamsで配布するので、読んでくること。（60分）<br>復習：日本列島の地質について概要をつかむ。（90分）                                   | 藤林   |
| 14 | 大気の構造                   | 大気圏の層構造と大気の循環について講述する。                                                                                                 | 講義   | 予習：大気の成層構造について調べておくこと。（60分）<br>復習：対流圏での大気の循環について概要を把握すること。（90分）                                                      | 藤林   |
| 15 | 太陽系と惑星・星と宇宙             | 太陽系の惑星についてと恒星の明るさ、表面温度、恒星の進化について講述する。                                                                                  | 講義   | 予習：不要<br>復習：惑星と恒星について理解すること。（90分）                                                                                    | 藤林   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                | 著者・編者   | 出版社  |
|-----|-------------------|---------|------|
| 教科書 | teamsまたは紙媒体で資料配布  |         |      |
| 参考書 | 基礎地球科学 第3版（2019年） | 西村祐二郎ほか | 朝倉書店 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            |      |        | 80%  | 20%                     |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

課題については後日の授業で解説する。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー | 研究室（部屋番号）     | Eメールアドレス |
|-------|---------|---------------|----------|
| 藤林 紀枝 | 授業終了後   | 非常勤講師室（A棟209） |          |

|                    |        |  |        |         |
|--------------------|--------|--|--------|---------|
| 気象学<br>Meteorology | 授業担当教員 |  | 本田 明治  |         |
|                    | 補助担当教員 |  |        |         |
|                    | 区分     |  | 教養選択   |         |
|                    | 年次・学期  |  | 1年次 後期 | 単位数 1単位 |

【授業概要】

生活拠点における気象・気候は様々な疾患に大きく関わることであり、気象・気候の理解は、その地域における生活者の健康自立に重要な意味を持つことになる。そこで本講義では、身近に起こるさまざまな大気の大気現象とその変化・変動の仕組みを理解することを目的とする。

【到達目標】

雨や雪の降る仕組み、気温が決まる仕組み、風が吹くメカニズムを物理的な視点から理解して、定性的に説明することができる。  
天気図をみて気象概況が理解でき、気象情報を有効に活用して天気・天候を見通しを立てることができる。

【授業計画】

| 回 | 授業項目               | 授業内容                                             | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                                                                 | 担当教員 |
|---|--------------------|--------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1 | 地球と大気              | 太陽系の中の地球、大気の鉛直構造、オゾン層の役割                         | 講義    | 予習：気象に関する図書（ガイダンスでお薦めした参考書など）を図書館などで読んでみる。（60分）<br>復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に課題した練習問題を解く。（120分）                                                                               | 本田   |
| 2 | 大気の熱力学（雨や雪の降る仕組み）Ⅰ | 状態方程式、エネルギーの保存、乾燥断熱変化と温位、水の相変化、水蒸気を表す量           | 講義    | 予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分）<br>復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に課題した練習問題を解く。（120分）                                                                                              | 本田   |
| 3 | 大気の熱力学（雨や雪の降る仕組み）Ⅱ | 湿潤断熱変化と相当温位、大気の安定・不安定、降水・降雪過程、水滴の生成と成長、暖かい雨・冷たい雨 | 講義    | 予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分）<br>復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に課題した練習問題を解く。（120分）                                                                                              | 本田   |
| 4 | 大気の放射（気温が決まる仕組み）   | 黒体放射、太陽放射と地球放射、放射平衡、散乱と吸収、温室効果、地球のエネルギー収支        | 講義    | 予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分）<br>復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に課題した練習問題を解く。（120分）                                                                                              | 本田   |
| 5 | 大気の力学（風が吹く仕組み）     | 運動方程式、気圧傾度力、コリオリ力と地衡風、高気圧と低気圧                    | 講義    | 予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分）<br>復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に課題した練習問題を解く。（120分）                                                                                              | 本田   |
| 6 | 天気図を描いてみよう         | 天気図の基礎、天気図の見方                                    | 講義・演習 | 予習：天気図の描き方の資料を予めよく読んでおき、天気図に用いる記号を理解しておく。等値線を引く練習をしておく。（30分）<br>復習：天気図を清書し完成させる。（150分）                                                                                                       | 本田   |
| 7 | 小テスト（30分程度）・気候システム | 気候システムとは？、大気大循環と波動、大気と海洋の相互作用、                   | 講義    | 予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。<br>小テストに向けて、これまでの授業時の配付資料、ダウンロードした講義資料を見返し、課題した練習問題を全て解く。（120分）<br>復習：実施した小テストを振り返り解答できなかった箇所は資料等で確認しておく。授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に課題した練習問題を解く。（60分） | 本田   |
| 8 | 地球温暖化と異常気象         | 地球温暖化の実態と予測、異常気象の要因とメカニズム、近年の異常気象                | 講義    | 予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分）<br>復習：期末試験に向けて、全授業時の配付資料、ダウンロードした講義資料を特に講義中に示した重点箇所を中心に見返し、講義中に課題した練習問題も全て解く。（120分）                                                                         | 本田   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                       | 著者・編者       | 出版社        |
|-----|--------------------------|-------------|------------|
| 参考書 | 図解 気象学入門                 | 古川武彦他・著     | 講談社ブルーバックス |
| 参考書 | トコトン図解 気象学入門             | 釜堀弘隆・川村隆一・著 | 講談社        |
| 参考書 | ニュース・天気予報がよくわかる気象キーワード事典 | 筆保弘徳他・著     | ベレ出版       |
| 参考書 | 地球温暖化で雪は減るのか増えるのか問題      | 川瀬宏明        | ベレ出版       |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 80%  |      |            |      | 10%    | 10%  |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      | 小テスト   | 天気図  |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

定期試験の問題及び解答例はcyber - NUPALSにアップロードします。  
小テストは採点のうえ解答を示し返却します。  
レポートは採点して返却します。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー | 研究室（部屋番号）      | Eメールアドレス |
|-------|---------|----------------|----------|
| 本田 明治 | 講義終了後   | 非常勤講師室（A棟209室） |          |

【その他】

その他の試験は、講義内容の確認テストです。  
成績評価は合計60%以上を合格とします。



|                             |        |  |        |         |
|-----------------------------|--------|--|--------|---------|
| 昆虫と人のかかわり<br>Insect Ecology | 授業担当教員 |  | 工藤 起来  |         |
|                             | 補助担当教員 |  |        |         |
|                             | 区分     |  | 教養選択   |         |
|                             | 年次・学期  |  | 1年次 後期 | 単位数 2単位 |

【授業概要】

本講義は、昆虫学に関する内容と、それに関連する進化生物学について扱う。昆虫学については、まず体節構造や系統関係について概観した上で、その多様性についても触れる。また、ハチ類を中心とした毒をもつ昆虫の生態や社会の仕組みについて概説する。さらに、近年問題となっている外来昆虫について、法制上の問題に加え、人間の生活にどのように影響するかを扱う。これら昆虫学の話題に触れた後、ダーウィン以降の進化生物学、すなわち自然選択や性選択について、理論や近年までの研究の発展について解説する。

【到達目標】

昆虫の体の構造や多様性、系統関係について理解し、毒をもつ昆虫や外来昆虫の生態についても説明できるようになる。進化生物学が発展した歴史的経緯やその理論について理解できるようになる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目              | 授業内容                  | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                             | 担当教員 |
|----|-------------------|-----------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | 昆虫の体節構造           | 昆虫の体の構造               | 講義   | 予習：本時で考えられる講義内容、特に昆虫の体節構造についての書籍を読み、講義内容について、理解を得ておく。(90分)<br>復習：昆虫の体節構造 (90分)                                                                           | 工藤   |
| 2  | 昆虫の系統関係           | 昆虫の系統関係の変遷            | 講義   | 予習：昆虫の系統関係の変遷 (90分)<br>復習：昆虫の体節構造 (90分)                                                                                                                  | 工藤   |
| 3  | 昆虫の多様性（１）         | ヨーロッパや北米、日本における昆虫の多様性 | 講義   | 予習：日本や諸外国における昆虫の多様性 (90分)<br>復習：近年の昆虫の系統関係 (90分)                                                                                                         | 工藤   |
| 4  | 昆虫の多様性（２）         | 昆虫の多様性と植物の関係          | 講義   | 予習：昆虫の多様性と植物の関係 (90分)<br>復習：昆虫の多様性：日本における昆虫の多様性 (90分)                                                                                                    | 工藤   |
| 5  | 進化論の発展            | ダーウィン以前の生物現象の捉え方      | 講義   | 予習：進化論が発展した歴史的経緯 (90分)<br>復習：進化論の発展 (90分)                                                                                                                | 工藤   |
| 6  | 自然選択（１）           | 自然選択理論                | 講義   | 予習：「自然選択」について配布した資料や参考書により理解しておく。(90分)<br>復習：ダーウィンが提案した「自然選択」についての概念を、配布した資料や参考書により確認する。(90分)                                                            | 工藤   |
| 7  | 自然選択（２）           | 種分化と適応放散              | 講義   | 予習：自然選択の概念についての話題を扱うので、前時の内容を確認する。(90分)<br>復習：資料中の種分化について確認しておく。(90分)                                                                                    | 工藤   |
| 8  | 自然選択（３）           | ハーディ・ワインベルグ平衡         | 講義   | 予習：進化の概念を扱うが、進化とは遺伝子頻度の変化であり、そのことを理解するためには、ハーディ・ワインベルグ平衡を中心とした集団遺伝学についての理解が必要である。この問題についての確認を事前にしておく。(90分)<br>復習：ハーディ・ワインベルグ平衡について、計算の方法も含め、確認しておく。(90分) | 工藤   |
| 9  | 性選択（１）            | 配偶者選択前                | 講義   | 予習：ダーウィンが自然選択に続いて提案した概念を扱う。事前に配布した資料に目を通し、どのような概念を扱うか、把握しておく。(90分)<br>復習：動物が示す配偶者選択前の行動について確認する。(90分)                                                    | 工藤   |
| 10 | 性選択（２）            | 配偶者選択後                | 講義   | 予習：前時の配偶者選択前について確認しておく。(90分)<br>復習：本時の配偶者選択後について内容を把握する。(90分)                                                                                            | 工藤   |
| 11 | ハチ類を中心とした社会性昆虫（１） | 進化生物学的視点              | 講義   | 予習：ハチ類を中心とした社会性昆虫：自然選択 (90分)<br>復習：昆虫の多様性と植物の関係 (90分)                                                                                                    | 工藤   |
| 12 | ハチ類を中心とした社会性昆虫（２） | 遺伝マーカー                | 講義   | 予習：近年発達した遺伝マーカーの技術が欠かせない。また、遺伝情報をよみとるための方法についての理解も必要である。これらの話題について、資料を読み、理解しておく。(90分)<br>復習：マイクロサテライトマーカーの発展や応用について確認する。(90分)                            | 工藤   |
| 13 | ハチ類を中心とした社会性昆虫（３） | 毒の生産と刺傷被害             | 講義   | 予習：ハチ類を中心とした社会性昆虫：毒の生産と刺傷被害 (90分)<br>復習：ハチ類を中心とした社会性昆虫：血縁選択 (90分)                                                                                        | 工藤   |
| 14 | 外来昆虫（１）           | 外来生物法                 | 講義   | 予習：外来昆虫：外来生物法 (90分)<br>復習：ハチ類を中心とした社会性昆虫：毒の生産と刺傷被害 (90分)                                                                                                 | 工藤   |
| 15 | 外来昆虫（２）           | 外来昆虫およびその影響           | 講義   | 予習：外来昆虫：外来生物とその影響 (90分)<br>復習：外来昆虫：外来生物法 (90分)                                                                                                           | 工藤   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名     | 著者・編者 | 出版社 |
|-----|--------|-------|-----|
| その他 | プリント配布 |       |     |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 60%  |      |            |      | 40%    |      |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

定期試験の解答例は、Cyber-NUPALSにアップロードします。その他試験については、当該試験が行われた翌日回に解説します。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー | 研究室（部屋番号）     | Eメールアドレス |
|-------|---------|---------------|----------|
| 工藤 起来 | 講義終了後   | 非常勤講師室（A棟209） |          |

【その他】

・成績評価については、合計が60%以上で合格とする。

|                                                                                                                 |        |        |     |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|-----|-----|
| <div> <div> <div>バイオとフードに関する法律</div> <div>Food, biotechnology and other related regulations</div> </div> </div> | 授業担当教員 | 杉田 耕一  |     |     |
|                                                                                                                 | 補助担当教員 |        |     |     |
|                                                                                                                 | 区分     | 教養選択   |     |     |
|                                                                                                                 | 年次・学期  | 1年次 後期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

食品は私たちが生きていくには欠かせないものだと同時に、安全性や品質に関して最も注意が払われるべきものである。また、近年のバイオテクノロジーの進歩は目覚ましく、様々な技術が生まれ医療や食品に関する研究や商業化が進んでいる。本講義では、これら食品やバイオテクノロジーに関する研究や事業に従事するために欠かせない、主要な法律や制度等について講義する。また、本科目は、2年次開講科目「食品商品学」「食品管理論」「食品開発論Ⅰ」「栄養科学」「国際食品ビジネス論」等、3年次開講科目「食品開発論Ⅱ」「食品微生物学」「機能食品科学」「食品安全学」「公衆衛生学」「食品の予防コントロール」等の科目の基礎的な科目として位置づけられる。

【実務経験】

担当教員は、企業の研究開発部門（バイオ）と新事業企画部門に27年間勤務し、主に農業資材や機能性作物、機能性表示食品の商品化を担当した経験を持つ。その実務経験を活かして、本科目は食品やバイオテクノロジー関連の法律や制度について講義を行う。

【到達目標】

食品およびバイオ関連の法律や制度を理解すると共に、法令遵守の基本姿勢を身に着ける。  
知識・理解：１．食品に関する主要法律や制度等について説明することができる。２．バイオ関連の主要法律や制度等について説明することができる。  
思考・判断：１．食品やバイオ関連の研究活動または商品化プロセスにおいて、各種法律や制度等を適切に運用できる。  
関心・意欲・態度：１．日常生活において、食品表示等について関心を持ち知識との連動性を持つことができる。２．食品やバイオに関する各種情報に興味を持つことができる。  
技能・表現：１．食品およびバイオ関連の法律や制度について、正確かつ分かりやすく説明することができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目            | 授業内容                                                      | 授業方式     | 授業外学習（予習・復習）                            | 担当教員 |
|----|-----------------|-----------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------|------|
| 1  | オリエンテーション       | シラバスを基に、授業概要、一般目標、到達目標を理解する。また、法令遵守について学ぶ。                | 講義       | 予習：シラバス熟読（120分）<br>復習：講義内容（120分）        | 杉田   |
| 2  | 食品関連の法律と制度等①    | 食品安全委員会の役割等、及び食品安全基本法について学ぶ。                              | 講義       | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |
| 3  | 食品関連の法律と制度等②    | 食品衛生法について学ぶ。                                              | 講義       | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |
| 4  | 食品関連の法律と制度等③    | 食品表示法について学ぶ。                                              | 講義       | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |
| 5  | 食品関連の法律と制度等④    | 景品表示法、JAS法について学ぶ。                                         | 講義       | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |
| 6  | 食品関連の法律と制度等⑤    | 不正競争防止法、計量法、医薬品医療機器等法、PL法について学ぶ。                          | 講義       | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |
| 7  | 食品関連の法律と制度等⑥    | 食品添加物・食品アレルギー・農業に関する法律や制度等について学ぶ。                         | 講義       | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |
| 8  | 食品関連の法律と制度等⑦    | 健康食品に関する法律や制度等について学ぶ。                                     | 講義       | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |
| 9  | 食品関連の法律と制度（まとめ） | 第8回講義までに取得した知識をもとに、具体的な商品の表示内容について法制の観点からグループディスカッションを行う。 | 講義・SGD   | 予習：第8回講義までの総復習（120分）<br>復習：レポート作成（120分） | 杉田   |
| 10 | バイオ関連の法律と制度等①   | 組換えDNA実験に関する法令等について学ぶ。                                    | 講義       | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |
| 11 | バイオ関連の法律と制度等②   | 遺伝子組換え作物の普及状況と関連法令等について学ぶ。                                | 講義       | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |
| 12 | バイオ関連の法律と制度等③   | ゲノム編集技術に関する法令等について学ぶ。                                     | 講義       | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |
| 13 | バイオ関連の法律と制度等④   | ヒトゲノム・ヒト細胞の研究に関する法令等について学ぶ。                               | ●動画配信型授業 | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |
| 14 | 知的財産権①          | 商標権、意匠権について学ぶ。<br>実際の飲食品について、商標権を見つけ議論する。                 | 講義・SGD   | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |
| 15 | 知的財産権②          | 特許権について学ぶ。<br>実際の事例で議論を行い、先願主義等の基本的な制度を学ぶ。                | 講義・SGD   | 予習：Teams配布資料（120分）<br>復習：講義内容（120分）     | 杉田   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                | 著者・編者 | 出版社 |
|-----|-------------------|-------|-----|
| その他 | 必要に応じてTeamsに資料を保存 |       |     |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 100% |      |            |      |        |      |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

講義中またはTeamsで解説等を行います。個別の質問等についてはTeamsチャットでも対応します。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー                                        | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス                 |
|-------|------------------------------------------------|-----------|--------------------------|
| 杉田 耕一 | 月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）。Teamsチャットでの事前連絡が望ましい。 | NE211     | agri-sugita@nupals.ac.jp |

【その他】

日常の購買行動のなかで、食品の表示内容などを見るようにすること。

|                                                |        |        |     |     |
|------------------------------------------------|--------|--------|-----|-----|
| 法学<br>Introduction to Law (Constitutional Law) | 授業担当教員 | 渡辺 豊   |     |     |
|                                                | 補助担当教員 |        |     |     |
|                                                | 区分     | 教養選択   |     |     |
|                                                | 年次・学期  | 1年次 後期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

法学の講義として、日本国憲法を中心とした日本の法制度について講義する。特に、憲法が定めている内容を正確に理解し、社会問題について考える際の視点とできることを目指す。

【到達目標】

日本国憲法の基本的な知識を身につけるとともに、法的思考力を涵養する。  
知識・理解：日本国憲法の基本原理と具体的内容を説明できる。  
思考・判断：新聞やニュースで報道されている社会問題について、法的な観点から考えることができる。  
関心・意欲・態度：現代社会の諸問題に関心を持てる。  
技能・表現：現代社会の諸問題を法的な視点から考察し、自分の言葉で表現することができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                              | 授業内容                                          | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                             | 担当教員 |
|----|-----------------------------------|-----------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | オリエンテーション・憲法総論（1）<br>（憲法とは何か）     | 憲法を学ぶ意義を学ぶ。<br>立憲主義の特徴を知る。<br>憲法前文の読み方について学ぶ。 | 講義   | 予習：教科書2-9頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）                   | 渡辺   |
| 2  | 憲法総論（2）<br>憲法尊重義務、憲法の附則、国民主権      | 憲法尊重義務、憲法の附則の位置づけ、国民主権と18歳選挙権について学ぶ。          | 講義   | 予習：教科書10-17頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）                 | 渡辺   |
| 3  | 憲法総論（3）<br>象徴天皇制、憲法第9条、安全と自由      | 象徴天皇制、憲法第9条（平和主義）、安全と自由の関係について学ぶ。             | 講義   | 予習：教科書18-27頁を熟読する（90分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）                  | 渡辺   |
| 4  | 人権論（1）<br>人権の位置づけ、人権の発展、公共の福祉     | 人権の位置づけ、人権の発展、公共の福祉を学ぶ。                       | 講義   | 予習：教科書30-35頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）                 | 渡辺   |
| 5  | 人権論（2）<br>法人と人権、特別権力関係、平等原則       | 法人と人権、特別権力関係、平等原則を学ぶ。                         | 講義   | 予習：教科書36-43頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる、第1回小レポートの準備を行う。（150分） | 渡辺   |
| 6  | 人権論（3）<br>プライバシー権、思想・良心の自由、表現の自由① | プライバシー権、思想・良心の自由、表現の自由を学ぶ。                    | 講義   | 予習：教科書44-53頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）                 | 渡辺   |
| 7  | 人権論（4）<br>表現の自由②、学問の自由、憲法と家族      | 表現の自由、学問の自由、憲法と家族の関係を学ぶ。                      | 講義   | 予習：教科書56-61頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）                 | 渡辺   |
| 8  | 人権論（5）<br>生存権、教育を受ける権利、勤労権と労働基本権  | 生存権、教育を受ける権利、勤労権を学ぶ。                          | 講義   | 予習：教科書62-71頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）                 | 渡辺   |
| 9  | 人権論（6）<br>財産権、人身の自由               | 財産権、人身の自由について学ぶ。                              | 講義   | 予習：教科書72-77頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）                 | 渡辺   |
| 10 | 統治機構論（1）<br>参政権、国会                | 参政権、国会について学ぶ。                                 | 講義   | 予習：教科書78-85頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（150分）                 | 渡辺   |
| 11 | 統治機構論（2）<br>国政調査権、内閣と行政           | 国政調査権、内閣と行政について学ぶ。                            | 講義   | 予習：教科書86-91頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる、第2回小レポートの準備を行う。（150分） | 渡辺   |
| 12 | 統治機構論（3）<br>司法の独立、裁判官弾劾           | 司法の独立、裁判官弾劾について学ぶ。                            | 講義   | 予習：教科書92-97頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）                 | 渡辺   |
| 13 | 統治機構論（4）<br>違憲審査制                 | 違憲審査制について考える。                                 | 講義   | 予習：教科書98-101頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）                | 渡辺   |
| 14 | 統治機構論（5）<br>財政立憲主義と財政民主主義、地方自治    | 財政立憲主義と財政民主主義、地方自治について学ぶ。                     | 講義   | 予習：教科書102-111頁を熟読する（120分）<br>復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる（120分）               | 渡辺   |
| 15 | 統治機構論（6）<br>憲法保障、憲法改正             | 憲法保障、憲法改正について学ぶ。                              | 講義   | 予習：教科書112-115頁を熟読する（120分）<br>復習：学期末試験に向けた準備を行う。（150分）                    | 渡辺   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名               | 著者・編者 | 出版社   |
|-----|------------------|-------|-------|
| 教科書 | 18歳からはじめる憲法（第2版） | 水島朝穂  | 法律文化社 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験      | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート           | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|-----------|------|------------|------|--------|----------------|-------------------------|-----|
| 割合   | 70%       |      |            |      |        | 30%            |                         |     |
| 備考   | 期末試験を実施する |      |            |      |        | 学期中に2回小レポートを課す |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

講義に関する質問を随時受け付ける。レポートは解答例を配布する。

【連絡先】

| 氏名   | オフィスアワー   | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス |
|------|-----------|-----------|----------|
| 渡辺 豊 | 講義の前後の時間帯 | 非常勤講師室    |          |

【その他】

本講義は初学者を対象としており、事前に求められる知識は特にない。ただし予習として教科書を読んでくること。教科書を読んでいないとついてこれられないことが生ずることもあるので十分に気をつけること。

|                                     |        |  |        |                               |
|-------------------------------------|--------|--|--------|-------------------------------|
| <div>哲学</div> <div>Philosophy</div> | 授業担当教員 |  | 栗原 隆   |                               |
|                                     | 補助担当教員 |  |        |                               |
|                                     | 区分     |  | 教養選択   |                               |
|                                     | 年次・学期  |  | 1年次 後期 | <div>単位数</div> <div>2単位</div> |

【授業概要】

今日の私たちの科学技術が直面している問題の思想的背景を知ることを目指して、無自覚的に過ごしている日常を、<どうして>、<なぜ>という視点から、問い直すことを通して、日常を自覚的にする力を習得する。教科書は定めずに、各テーマに応じてプリントを配布して、それに基づいて授業を進める。テストの際には、自筆手書きのノートと、配布資料の持ち込みが必須である。

【到達目標】

(1) 私たちが生活をしている新潟県について、新潟水俣病をはじめ、クロルニトロフェンやトリハロメタンによる水道水汚染がなぜ生じたのか、便利で快適な暮らしの追求が環境に負荷をかけている現実を理解できる。(2) 新潟市の海岸決壊や地盤沈下など、自然改造のフロンティア倫理では立ち行かなくなっていることを説明できる。(3) 今日の私たちが安全で快適な暮らしを営む上で直面している問題の根底にはエゴイズムの追求が潜んでいることを確認する。(4) 私たちが便利な生活のために作り出した、DDTをはじめとする有機塩素化合物やPCB、さらにはダイオキシンなどが深刻な環境汚染をもたらしたことを踏まえ、今日、泡消火材や防水スプレー、フライパンに、ハンバーガーやピザの包装紙、化粧品やスマホ画面のコーティングなど、日用品に幅広く使われている有機フッ素化合物による水道水汚染や発がん性の問題にどう向きうべきかを考える。(5) マイクロプラスチック汚染も広がりを見せ、今やペットボトルの飲料水やティーバッグで淹れたお茶などにもマイクロプラスチックが含まれていて、その結果、精巣や精液からもマイクロプラスチックが検出され、精子数の減少をもたらすことが報告されていることを認識する。(6) 他方、医療技術の発達によって、これまでは運命が宰領していた人間の生死も、人間自身の判断によって左右されるようになったことを分析する。とりわけ生殖補助医療の拡大についてその背景と経緯とを分析する。(7) そのうえで、今日ほど、「人間とは何か」が根本的に問われなければならないようになってきていることに鑑み、「生まれてくる子どもに私たちは何を望むのか」「医療費の国庫負担が膨大な今、高額な新薬開発、さらには保険適用は望ましいことなのか」「定期試験前に学生が認知改善サプリメントを服用して、成績向上を図ることは許されるのか」など、医療技術をめぐる新たな問題について、自覚的な判断ができるようになる。

知識・理解：新薬の治験にまつわる倫理的問題や、高額医薬品の開発に伴う倫理問題について理解する。

思考・判断：倫理的葛藤状況にあって、いかにするべきかの判断能力を涵養する。

関心・意欲・態度：ヒューマニティある思考ができる人間性を培う。

技能・表現：客観的で論理的な文章表現の訓練を通して、分析的な思考回路を育成する。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                               | 授業内容                                                           | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                                                  | 担当教員 |
|----|------------------------------------|----------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | 定期試験前に学生が、認知改善サプリメントを服用することは許されるのか | 認知改善サプリメントを服用することで、私たちは自分の成績の向上を図っていいのか？                       | 講義   | 予習：認知改善サプリメントの実情について調べておく。(90分)<br>復習：定期試験前に学生が認知改善サプリメントを服用することは、許されるのか、それとも許されないことなのか、論拠と結論をまとめる。(90分)                                                                      | 栗原   |
| 2  | 新潟から考える環境倫理                        | 新潟市の海岸決壊と水溶性天然ガス汲み上げに伴う地盤沈下などの環境破壊と、対策が遅れた理由を考える。              | 講義   | 予習：大河津分水の歴史的な意義を調べておく。(90分)<br>復習：新潟市の海岸決壊や地盤沈下の実情について調べる。(90分)                                                                                                               | 栗原   |
| 3  | ホイッスルブロウの倫理と、将来世代の権利               | 新潟水俣病、さらにはクロルニトロフェン、トリハロメタン、ダイオキシンなどによる環境破壊など、化学物質による環境汚染を考える。 | 講義   | 予習：無機水銀が有機水銀に変わる機序について調べておく。(90分)<br>復習：ホイッスルブロウが吹かれた事例について調べる。(90分)                                                                                                          | 栗原   |
| 4  | 治療停止はなぜ生じたのか。                      | 公立福生病院で起きた、人工透析中止による患者の死亡事例について考える。                            | 講義   | 予習：腎不全患者に対する人工透析についての概要を調べておく。(90分)<br>復習：死に到ると分かっているが、患者がなぜ人工透析の中止を望んだのか、掘り下げて考える。(90分)                                                                                      | 栗原   |
| 5  | 安楽死と尊厳死                            | 積極的安楽死と消極的安楽死、さらには間接的安楽死、そして尊厳死について、明確に区別する。                   | 講義   | 予習：安楽死の必要要件を調べておく。(90分)<br>復習：患者や家族が望んだ場合であっても、囑託殺人や自殺ほう助につながることを確認する。(90分)                                                                                                   | 栗原   |
| 6  | 脳死からの臓器移植と功利主義                     | 脳死と植物状態、臓器移植、臓器移植法の改正に伴う問題。                                    | 講義   | 予習：新旧の臓器移植法の内容を確認するとともに、脳死の患者さんからの臓器移植の手管を調べておく。(90分)<br>復習：技術信奉や結果主義に立脚する技術判断と、倫理判断との違いを確認する。(90分)                                                                           | 栗原   |
| 7  | 高額医薬品の開発と治験の問題                     | ステラミック注など的高額医薬品の開発の開発をめぐる問題と、治験において必要な、「二重盲検法」の問題を分析する。        | 講義   | 予習：高額医薬品の開発や実用化、さらには保険適用について調べる。(90分)<br>復習：「二重盲検法」の段取りを無視した新薬開発の是非について考える。(90分)                                                                                              | 栗原   |
| 8  | 間葉系幹細胞からの再生医療の可能性                  | iPS細胞由来の再生医療に比して、実用的だとされる間葉系幹細胞に基づく再生医療を考える。                   | 講義   | 予習：日本の再生医療をめぐって、ES細胞からiPS細胞へとシフトした背景について調べておく。(90分)<br>復習：再生医療の実用化について、考察を深める。(90分)                                                                                           | 栗原   |
| 9  | オーダーメイドES細胞に基づく再生医療                | オーダーメイドES細胞に基づく再生医療を考えるなかで、クローン人間産生の是非と、笹井芳樹さんの悲劇を考える。         | 講義   | 予習：笹井芳樹さんの研究と業績ついて調べておく。(90分)<br>復習：研究者倫理について、改めて考える。(90分)                                                                                                                    | 栗原   |
| 10 | AID（非配偶者間人工授精）をめぐる問題               | AID（非配偶者間人工授精）の問題点、並びに「親を知る権利」と「子どもを授かる権利」との衝突を分析し、考える。        | 講義   | 予習：AID（非配偶者間人工授精）とは何かを調べておく。(90分)<br>復習：「親を知る権利」と「子どもを授かる権利」との衝突について考察と分析を深める。(90分)                                                                                           | 栗原   |
| 11 | 体外受精と減数手術                          | 体外受精の仕組みを解説したうえで「減数手術」のやむなきに到る背景や事情を明らかにする。                    | 講義   | 予習：生殖補助医療や体外受精の実態について調べておく。(90分)<br>復習：カップルの5組に1組もの多数が、不妊治療をせざるを得ない、その背景について考える。(90分)                                                                                         | 栗原   |
| 12 | 生殖補助医療実施施設のHPについての報告（グループ発表）       | 生殖補助医療を実施しているクリニックや医療機関のHPを訪ね、内容や実態について報告する。（グループ発表）           | 発表   | 予習：生殖補助医療を実施しているクリニックや医療機関のHPを訪ね、フォーマットに従って、所定の必要以降について記載する。(90分)<br>復習：自分が訪ねたHPの記述に、信頼性があるのかどうかを分析する。(90分)                                                                   | 栗原   |
| 13 | 出生前診断（母体血清マーカーテストや羊水検査）と選択的妊娠中絶の問題 | 出生前診断（母体血清マーカーテスト、羊水検査）の成り立ちについて説明するとともに、その問題点を解説する。           | 講義   | 予習：母体血清マーカーテストと羊水検査、さらには超音波検査について調べておく。(90分)<br>復習：胎児に先天的な異常が発見されたことをもって妊娠中絶に到る「選択的中絶」について分析する。(90分)                                                                          | 栗原   |
| 14 | 着床前診断と新型出生前診断                      | 体外受精、生殖補助医療、出生前診断、着床前診断、新型出生前診断、遺伝子スクリーニング                     | 講義   | 予習：ご両親に、自分がお母さんのおなかに宿った時の気持ち、妊娠中の期待と不安を聞き取るとともに、自分なら、生まれてくる子どもに、何を望むのか、考えておく。(90分)<br><br>復習：自らが医療従事者であることから、おめでたが分かった友人、知人から、どういう検査を受けるべきか、受けなくても構わないのか、尋ねられた場合の対応を考える。(90分) | 栗原   |



| 回  | 授業項目    | 授業内容                                                                 | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                      | 担当教員 |
|----|---------|----------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 15 | 子育ての人間学 | 新生児微笑の意味や、ハイハイの意義、そして私たちの網膜は二次元なのに、どうして三次元（奥行き、距離、深さ）の知覚が可能なのかを解明する。 | 講義   | 予習：私たちの網膜は二次元なのに、どうして奥行き、距離、深さなどの三次元を知覚できるのかを調べる。（90分）<br>復習：「触れ合い」「手当て」「肌合い」など、触覚にまつわる慣用語を調べて、触覚の重要性を再認識する。（90分） | 栗原   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名             | 著者・編者 | 出版社     |
|-----|----------------|-------|---------|
| 参考書 | 現代を生きてゆくための倫理学 | 栗原隆   | ナカニシヤ出版 |
| 参考書 | 新潟から考える環境倫理    | 栗原隆   | 新潟日報事業社 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 90%  |      |            |      |        | 10%  |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

生殖補助医療を進めるクリニックのHPを訪ねるレポートを課して、その発表に対してコメントを付したり、授業の折に触れ、受講生の感想を求めるとともに、それに対するコメントを授業で取り上げることによって、問題を深めてゆくつもりです。定期試験については、出題問題を予め予告したうえで、自筆手書きのノートや配布資料を持ち込んでもらう形で実施します。

【連絡先】

| 氏名   | オフィスアワー     | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス |
|------|-------------|-----------|----------|
| 栗原 隆 | 授業実施の月曜日の前後 | 非常勤講師控室   |          |

【その他】

前の授業時に課せられたテーマについて、＜一面では、ああととも言える＞が、しかし＜他面では、こうとも言える＞という、対立的な考え方を想定して考えてみると、思索を深めることができます。可能ならば、豊栄の「新潟県立環境と人間のふれあい館」、燕市の「大河津分水資料館」、新潟市の「新潟市歴史博物館みなとびあ」を実際に訪れてみると、座学とはけた違いの勉強になるでしょう。成績評価は合計60%以上を合格とします。テストに出題する問題は、予告したいと思います。論述式の問題で4題を出題の予定です。すなわち一題23点で合計90点。採点基準は、反社会的、反人間的、論外な解答は0点。事実認識が間違っている解答は5点。論述が破綻していても、論点を外していても、授業を理解していると判断できる場合は、10点以上。授業を理解しているうえに、キーワードを押さえている場合は、論述の論理性に鑑みて14点～17点、授業内容を超える認識を示している解答は18点～23点として評価します。



|                                |        |        |     |     |
|--------------------------------|--------|--------|-----|-----|
| 文化人類学<br>Cultural Anthropology | 授業担当教員 | 小野 博史  |     |     |
|                                | 補助担当教員 |        |     |     |
|                                | 区分     | 教養選択   |     |     |
|                                | 年次・学期  | 1年次 後期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

現代は国際化が進み、地域社会には異なる文化をもつ人たちが生活している。一方、日本で生まれ育った人同士でも生活を送る際に世代間に大きなギャップが見られるので、異なる文化や時代の常識を受け入れて理解することが求められるようになってきている。

本授業では、文化人類学の概念と基礎的な用語を理解し、日本や世界の諸地域に暮らす人々の生活慣行を見てゆくことで、人の誕生・結婚・死・病気のとらえ方が多様であることを知るとともに、現代日本に生きる私たちの常識をとらえ直し、異なる地域や異なる時代の常識を受け入れる素養を身につけることをめざす。

授業では夫婦別姓、同性同士の結婚をどのように理解すべきか、といった現代の私達にとって身近なテーマを扱いながら、文化人類学のものの捉え方、文化の多様性について解説していく。また、授業の後半では特に日本の伝統的な食文化に注目し、その特徴について言及する。

講義形式の授業であるが、授業中もしくは授業後にPCやスマートフォンで回答する簡単なアンケートを行うことで、皆さんの経験や疑問を解決するアクティブラーニングを行う。

【到達目標】

知識・理解：1.文化人類学の基礎的な用語・調査方法を説明できる。2.日本および世界各地の文化の違いと共通点を文化人類学の視点から説明できる。3.現代日本の生活文化の特徴とその変化を理解する。

関心・意欲・態度：1.異なる価値観や伝統や制度を持った異文化に関して深い認識を持つことができる。2.自身の文化の特徴を理解したうえで、その考え方にとらわれず自身の文化や異文化を尊重できる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                    | 授業内容                                                                  | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                                    | 担当教員 |
|----|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | 授業オリエンテーション<br>文化人類学の視点 | 文化人類学の基本的な考え方である文化を捉える視点について学ぶ。                                       | 講義   | 予習：シラバスを熟読する（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、文化を理解するために必要となる視点について整理して考える<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）                                                                 | 小野   |
| 2  | 日本の文化を研究する              | 日本の文化を調査し研究するうえで大きな影響を与えた柳田国男の視点と研究成果を概観し、その考え方や研究方法の特徴について解説する。      | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする02回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、日本文化の調査研究の歴史とその特徴について整理して考える<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）                                                  | 小野   |
| 3  | 出産・誕生と儀礼                | 世界各地における人の誕生に関する観念や信仰、儀礼について学ぶ。                                       | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする03回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、人の誕生と文化の関係について整理してから、妊娠・出産に関する日本の慣習について考える<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む<br>アンケート：立ち会い出産などについて回答する（150分）          | 小野   |
| 4  | 日本の出産・誕生と儀礼             | 日本における人の誕生に関する観念や信仰、儀礼とその変化について学ぶ。                                    | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする04回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、日本における誕生に関する信仰や儀礼が現在も大きな影響を持つことを理解する<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）                                          | 小野   |
| 5  | 結婚と文化                   | 結婚を規定する諸慣行について世界各地の事例から学ぶ。                                            | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする05回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、結婚や夫婦関係などに関する多様な捉え方について整理して理解する<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）                                               | 小野   |
| 6  | 日本の伝統的な結婚儀礼と変化          | 日本における伝統的な結婚の形式や慣行について概観する。                                           | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする06回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、日本における伝統的な結婚の形式と慣行の多様性およびその変化について整理して理解する<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）                                     | 小野   |
| 7  | 病気と神 日本の病気観             | 病気の原因をどのように理解し対処してきたのかについて解説し、過去の病気の捉え方が現代の私たちの生活にも深く関連していることを説明する。   | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする07回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、日本における病気の捉え方と対応が、信仰（文化）と密接に関連してきたことを理解する<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）                                      | 小野   |
| 8  | 死と信仰・儀礼                 | 人の死の判定や死体処理、葬儀のあり方、死者供養の方法の多様性について世界各地の事例から学ぶ。                        | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする08回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、文化によって異なる人の死についての観念や儀礼のあり方について整理して理解する<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む<br>アンケート：死者供養の方法などについて回答する（150分）             | 小野   |
| 9  | 死と儀礼・信仰 2 日本の葬儀         | 日本における人の死と葬儀、死者供養の方法について学ぶ。                                           | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする09回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、日本文化における人の死と死者供養の特徴を理解する<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）                                                      | 小野   |
| 10 | 日本の死者供養                 | 盆行事の慣行を詳しく見ることで、日本では伝統的に死ぬとどのような存在になると考えられてきたのかを解説する。                 | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする10回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、日本文化における死者供養の特徴を他界観と関連付けて整理する<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）                                                 | 小野   |
| 11 | 家族と親族の多様性               | 家族と親族の多様なあり方とこれを理解するための理論について理解する。                                    | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする11回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、家族と親族を理解するための理論について整理してから、家族や親族関係について各自の経験に照らし合わせて考える<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む<br>アンケート：夫婦別姓などについて回答する（150分） | 小野   |
| 12 | 日本の家族・親族                | 日本の家族である家との特徴について把握し、異文化における家族との共通点や違いについて知る。                         | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする12回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、日本の家族・親族関係の特徴とその変化について理解する<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）                                                    | 小野   |
| 13 | 日本の日常食                  | 日本の主食は白米であると理解されているが、実際にはどのような食材を主食としてきたのかを昭和初期の調査資料などから明らかにする。       | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする13回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、日本の主食の多様性とその変化について理解する<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む<br>アンケート：葬儀に出される料理について回答する（150分）                             | 小野   |
| 14 | 赤飯と葬儀                   | 葬儀に参加した人に赤飯を提供する地域があることをどのように理解すべきかについて、過去の文字資料や現代のフィールドワークの成果から解説する。 | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする14回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、日本の通過儀礼に用いられる食事の特徴を理解する<br>課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）                                                       | 小野   |

| 回  | 授業項目       | 授業内容                                        | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                         | 担当教員 |
|----|------------|---------------------------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 15 | 日本の儀礼食と日常食 | 日本の儀礼食と日常食の比較を通して、日本において白米が特別視されてきた理由を検討する。 | 講義   | 予習：Teamsにアップロードする15回配布資料を読む（30分）<br>復習：配布資料を参照しながら、日本の儀礼食と日常食の違いを理解する<br>課題：授業内容についての小テストに取り組む（150分） | 小野   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名             | 著者・編者 | 出版社 |
|-----|----------------|-------|-----|
| その他 | PDFファイルや印刷物を配布 |       |     |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験       | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他       |
|------|------|------|------------|------|--------------|------|-------------------------|-----------|
| 割合   |      |      |            |      | 80%          |      |                         | 20%       |
| 備考   |      |      |            |      | 授業後に実施する小テスト |      |                         | アンケートへの回答 |

【課題に対するフィードバック方法】

毎回の授業後に授業内容に関する小テストをMicrosoft Teams上で実施し、締切直後に正答と成績を反映する。また、3，8，11，13回目の授業後に授業内容に関連する皆さんの知識や体験を記すアンケートもTeamsで実施するとともに、その結果を授業内容に反映する。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー | 研究室（部屋番号）     | Eメールアドレス |
|-------|---------|---------------|----------|
| 小野 博史 | 講義終了後   | 非常勤講師室（A棟209） |          |

【その他】

テキストは使用しない。毎回の授業時に用いる資料はpdfを配布するほか、印刷したものも配布する。  
毎回の授業終了後にMicrosoftTeams上で小テストを実施する（提出期日は毎回の授業後～次回授業開始時間）が、授業に出席した回の得点のみ有効とするので（例：03回授業に欠席した方は、03回の小テストの解答の有無にかかわらず得点は0点となる）留意すること。

| 医療・生命科学に親しむ<br>Introduction to Interprofessional Education |  | 授業担当教員 | 宮本 昌彦・川原 浩一・酒巻 利行・田辺 顕子・星名 賢之助・阿部 学・福原 正博・重松 亨・川崎 久子 |     |     |
|------------------------------------------------------------|--|--------|------------------------------------------------------|-----|-----|
|                                                            |  | 補助担当教員 |                                                      |     |     |
|                                                            |  | 区分     | 教養選択                                                 |     |     |
|                                                            |  | 年次・学期  | 1年次 後期                                               | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

医療・健康系総合大学として各学部・学科が目指す目的や職能を紹介し、そして将来地域社会や多職種の中で果たすべき役割を考えさせる。各学部で将来学ぶ専門科目内容を一部紹介し、それらをこれまでに学んだ教養・基礎科学科目内容と関連させて理解してもらう。

【実務経験】

(阿部) 病院に12年間、薬局に約3年間勤務した経験を持つ。実務経験をもとに本科目の「薬剤師を知る」で講義を行う。

(川崎) 病院に20年間看護師として勤務した経験を持つ。本学の看護学部 看護学科の教員。

【到達目標】

医療や食品、生命科学に関する産業・職能について説明でき、かつ将来自分が地域社会や多職種の中で果たすべき役割を考えられるようになる。

知識・理解: 1 医療や生命科学の活用・活動分野と社会における役割について説明できる。2 医薬品の適正使用における医療従事者の役割とファーマシューティカルケアについて説明できる。3 医薬品の創製（研究開発、生産等）における生命科学の役割について説明できる。4 健康管理、疾病予防、セルフメディケーション及び公衆衛生における医療・生命科学の役割について説明できる。5 薬物乱用防止、自殺防止における医療従事者の役割について説明できる。6 現代社会が抱える課題（少子・超高齢社会等）を概説できる。7 医療・生命科学の歴史的な流れと、社会に果たしてきた役割について説明できる。8 地域における医療・生命科学の役割と機能、それらが関わる業務について説明できる。

思考・判断: 1 社会において将来自分が果たすべき役割を提案できる。

関心・意欲・態度: 1 患者・生活者のために医療や生命科学が果たすべき役割を自覚する。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                     | 授業内容                                                                                                                                            | 授業方式   | 授業外学習（予習・復習）                                                                                          | 担当教員     |
|----|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 1  | 医療や生命科学に求められていること        | 授業の概要や目的を紹介する（授業オリエンテーション）。現代や将来における医療・健康に関わるニーズや課題など、本学の学生が目指す将来像に関わるものを簡単に紹介する。                                                               | 講義・演習  | 予習：自分が目指す将来像について調べておく。（60分）<br>復習：授業内容から気づいたこと、予習で不足していたことについて調べる。（60分）                               | 宮本       |
| 2  | 治療薬・製剤のしくみ・役割の基礎～有機物と生物～ | 有機化合物と生物はどこまでが同じで、どこが違うのか。それがどう医療に関係するのかを考えます。それを利用した医薬品についても紹介します。                                                                             | 講義     | 予習：これまでに学んだ化学・生物の基礎知識を復習しておく（90分）<br>復習：授業内容から気づいたこと、興味を持った生物学的事項、医薬品に関して調べ、生物薬学の知識を深める。（90分）         | 宮本       |
| 3  | 治療薬・製剤のしくみ・役割の基礎～生物と薬～   | アスピリン（アセチルサリチル酸）は、バイエル社が19世紀に生み出した最も古い合成医薬品です。しかしながら、なぜアスピリンが痛みに効くのか、当時は不明でした。本講義では、アスピリンの作用機序研究から明らかとなった生命体の「痛み」「発熱」のメカニズムを学習します。              | 講義     | 予習：アスピリン、解熱鎮痛薬、化学構造式、歴史（90分）<br>復習：講義プリント（アスピリン、シクロオキシゲナーゼ、プロスタグランジン、発熱、痛み）（90分）                      | 川原<br>宮本 |
| 4  | 予防と食生活と健康～社会と薬～          | 病気にかからないようにする「予防」という考え方も医療では重要である。病気にかかりにくい体にするために日々の食事がいかに重要かを講義する。                                                                            | 講義     | 予習：糖代謝の基礎（90分）<br>復習：講義プリントの復習（基礎代謝、糖質の種類及び代謝経路、TCA回路）（90分）                                           | 酒巻<br>宮本 |
| 5  | 検査の基礎～物理と薬～              | 薬学における物理の役割の一つが「測定原理」です。ここでは「温度を測る」ことに焦点をあて、その原理を通じて医療における物理学の役割を学びます。グループ毎に課題を出すので、話し合いをしていただきます。                                              | 講義・SGD | 予習：自身が知っている「温度計」の列挙し、その原理を調べてくこと。（60分）<br>復習：配布資料の復習（120分）                                            | 星名<br>宮本 |
| 6  | 薬剤師業務の実際～薬剤師を知る～         | 薬剤師が従事している仕事は、保険薬局、病院、製薬企業、卸売業等あり、立場により業務は様々である。これらの業務における薬剤師の役割や意義について講義する。                                                                    | 講義     | 予習：薬剤師が従事している仕事や具体的な業務内容について事前に調べる（90分）<br>復習：薬剤師法の薬剤師の任務と業務内容の関連を確認、薬剤師倫理規程を再度熟読する（90分）              | 阿部       |
| 7  | 看護師業務の実際とチーム医療～看護と薬学～    | 薬物療法に関して、現場の看護師の視点からのアプローチなどを紹介します。                                                                                                             | 講義     | 予習：薬剤師と医療従事者（医師・看護師・医療検査技師など）の連携について調べる。（90分）<br>復習：授業内容を復習し、患者への薬物療法における看護師・薬剤師連携の重要性を再確認する。（90分）    | 川崎       |
| 8  | 検査の基礎～薬をはかる～             | 「薬が効く」ためには、生体内の必要なところへ必要な量（濃度）が到達し、作用しなければなりません。本講義では、1年次の「化学平衡」が、薬の吸収やからだのしくみにどのように関わっているのかを学びます。また、2年次の講義に関連した「光（電磁波）を使って薬をはかるしくみ」についても紹介します。 | 講義     | 予習：「化学平衡」の知識が、薬剤師としてどのような場面で役立つのかを調べる（90分）<br>復習：授業の内容を復習して化学平衡の知識を定着・確認するとともに、次年度に学ぶ分光分析の知識を深める（90分） | 田辺       |
| 9  | 病原体と感染症～人の健康と病原体～        | 感染症を引き起こす微生物、「病原体」について概説し、目に見えない病原体が、どこからどのように侵入するのか、さらに感染後の症状、治療、加えて感染症にかからないための予防について講義する。                                                    | 講義     | 予習：細菌の形態、感染症、抗生物質（90分）<br>復習：感染症と微生物の教科書を用い、授業内容の確認（90分）                                              | 福原       |
| 10 | 応用生命科学の概要と役割（その1）        | 応用生命科学科食品科学コースの概要を説明する。食品産業を中心とした農林水産業、自然環境の保全といった広い分野における食品科学の位置づけおよび果たすべき役割について講義する。                                                          | 講義     | 予習：食品産業についてインターネット等で調べる。（90分）<br>復習：復習用課題に取り組む。（90分）                                                  | 重松       |
| 11 | 応用生命科学の概要と役割（その2）        | 応用生命科学科バイオテクノロジーコースの概要を説明する。バイオテクノロジー関連産業を中心とした、医療分野、他業種のビジネスといった広い分野におけるバイオテクノロジーの位置づけおよび果たすべき役割について講義する。                                      | 講義     | 予習：バイオテクノロジーが関係する産業についてインターネット等で調べる。（90分）<br>復習：復習用課題に取り組む。（90分）                                      | 重松       |
| 12 | 応用生命科学の概要と役割（その3）        | 応用生命科学科応用化学コースおよび環境共生システムコースの概要を説明する。環境産業を中心とした、持続可能な開発目標の設定や自然環境の保全など広い分野における応用化学および環境共生システムの位置づけおよび果たすべき役割について講義する。                           | 講義     | 予習：化学産業、環境産業について、インターネット等で調べる。（90分）<br>復習：復習用課題に取り組む。（90分）                                            | 重松       |
| 13 | 応用生命科学の概要と役割（その4）        | 応用生命科学科理科教職コースの概要を説明する。応用生命科学部が理科教員を輩出する意義、中等教育における理科教員のあり方と果たすべき役割について講義する。                                                                    | 講義     | 予習：中学校、高等学校の理科の教育について、インターネット等で調べる。（90分）<br>復習：復習用課題に取り組む。（90分）                                       | 重松       |
| 14 | 応用生命科学の概要と役割（その5）        | 生命産業ビジネス学科の概要を説明する。応用生命科学部が社会科学系の学科をもつ意義、社会的な課題とビジネスの関わり方と生命産業ビジネス学が果たすべき役割について講義する。                                                            | 講義     | 予習：食品、農業、環境、医療などの生命科学が関連する産業の社会科学的側面について、インターネット等で調べる。（90分）<br>復習：復習用課題に取り組む。（90分）                    | 重松       |
| 15 | 医療や生命科学における、自己の役割        | 現代や将来における医療・健康に関わる課題に対して、自分がこれから目指す将来像が医療や生命科学、それに関わる多職種間チームの中で果たすべき役割について検討する。                                                                 | 講義・演習  | 予習：自分が将来、他職種との連携チームに加わったときに果たすべき役割について考えておく。（90分）<br>復習：授業で得た他の意見を考慮し、再度自分の将来像・社会の中での役割を考える。（90分）     | 宮本<br>重松 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名        | 著者・编者 | 出版社 |
|-----|-----------|-------|-----|
| 教科書 | 講義プリントを配布 |       |     |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート                 | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|----------------------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            |      |        | 100%                 |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        | レポート提出（内容は授業内で指示）を課す |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

レポートの採点結果を定期試験期間後までに開示

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー                       | 研究室（部屋番号）           | Eメールアドレス                     |
|--------|-------------------------------|---------------------|------------------------------|
| 宮本 昌彦  | 月～金 17～19時 メール、Teamsでの問合せは随時可 | 生化学研究室（F棟504c）      | miyamoto@nupals.ac.jp        |
| 川原 浩一  | 月～金 13:00～17:00               | 薬品分析化学研究室（F棟303a）   | kkawa@nupals.ac.jp           |
| 酒巻 利行  | 月～金 17:00～19:00 時間外も随時可       | 衛生化学研究室（F棟503a）     | sakamaki@nupals.ac.jp        |
| 田辺 顕子  | 月曜～金曜 15:00-17:00             | 薬学教育センター（F棟 FB101a） | a_tanabe@nupals.ac.jp        |
| 星名 賢之助 | 月～木 15:00-18:00               | 薬品物理化学研究室（F棟302a）   | hoshina@nupals.ac.jp         |
| 阿部 学   | 月～金 16:00～19:00（事前に連絡をください）   | 臨床薬学教育研究センター（C棟206） | abe@nupals.ac.jp             |
| 福原 正博  | 月曜～金曜 12:00-13:00 時間外も随時可     | 微生物学研究室（F403）       | fukuhara@nupals.ac.jp        |
| 重松 亨   | 開講日18:00～20:00                | 食品・発酵工学研究室(E302a)   | shige@nupals.ac.jp           |
| 川崎 久子  | 水曜日 16：00～17：00               | 西新潟中病院キャンパス3階       | hisako-kawasaki@nupals.ac.jp |

【その他】

各授業は配布されるプリント主体で行う。

【成績評価基準】 レポート評価の観点の詳細は授業中に開示する。レポート評価（100点満点）のうち60点以上を合格とする。



|                                                         |        |                  |     |     |
|---------------------------------------------------------|--------|------------------|-----|-----|
| 地域活性化フィールドワーク<br>Field work for regional revitalization | 授業担当教員 | 中道 眞・杉田 耕一・若栗 佳介 |     |     |
|                                                         | 補助担当教員 |                  |     |     |
|                                                         | 区分     | 専門必修             |     |     |
|                                                         | 年次・学期  | 1年次 後期           | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

地域企業や商店街など、地域産業の活性化について学生自らが主体的に考え、活性化活動と自らの行動の中から学ぶことを目的としたフィールドワークを行う。学生が個人あるいはグループを構成し、各個人あるいはグループが地域企業や商店街などを定期的に訪問し、課題を発見し、具体的提案などについて経営者等と共に検討する実践的な講義を行う。本科目は、「社会調査論」「地域コミュニケーション演習」「地域活性化フィールドワークⅡ」と密接に関連し、かつ基礎となる科目である。

【到達目標】

フィールドにてヒアリングから課題と要望を的確に把握し、企業と円滑な意思疎通を図りながら課題解決の方法を具体化する能力を身につける。  
知識・理解：１．ヒアリングの実施方法を理解できる。２．ヒアリングを実施する前の準備について説明できる。３．話の要点をまとめて記録することができる。４．ICT等を使って情報発信ができる。  
思考・判断：１．課題の本質について深く掘り下げることができる。２．ヒアリングで聞いた内容について判断を入れ、話し手の本質について推測することができる。  
関心・意欲・態度：１．プロジェクトへの責任感と実践課題の質向上に対して高い意欲を持つことができる。  
技能・表現：１．集団の中で自らの意見を主張し、折り合いをつけながら協働作業を進めることができる。  
その他：１．事業経営者と円滑なコミュニケーションを取る能力を身につけることができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                     | 授業内容                                                                                                                                  | 授業方式               | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                                                               | 担当教員           |
|----|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1  | オリエンテーション                | 本講義の目的と実施学習内容、到達点について理解する。                                                                                                            | 講義・SGD             | 予習：シラバスを熟読し、本科目の目的、自らが主体的に考えて行動することを考えて準備する。これまで経験した「地域」やフィールドワークの資料を蒐集し、これまでの到達点と本科目の目的をつなげる。以上をノートに準備する。(200分)<br>復習：授業内容（100分）                                                          | 中道<br>杉田<br>若栗 |
| 2  | 社会の発見と主体性                | 社会の発見、社会の改良・改造、社会調査、そして自ら行動する主体性を考える。                                                                                                 | 講義・演習              | 予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。テキストpp.18-31を読んで、質問を3つ用意する。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。(100分)<br>復習：授業内容（100分） | 中道<br>杉田<br>若栗 |
| 3  | 基本的な心構えと調査マインド、フィールドワーク1 | 他者と「社会」への関心、問題意識、ラポール                                                                                                                 | 講義・SGD・フィールドワーク    | 予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。テキストpp.32-73を読んで、質問を3つ用意する。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。(100分)<br>復習：授業内容（100分） | 中道<br>杉田<br>若栗 |
| 4  | 基本的な心構えと調査マインド、フィールドワーク2 | フィールドワークの方法を確認し、地域の本科目関連企業等地域を訪問しフィールドワークおよびヒアリング等調査を実践する。                                                                            | 講義・SGD・フィールドワーク    | 予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。テキストpp.32-73を再読して質問を3つ用意する。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。(100分)<br>復習：授業内容（100分） | 杉田<br>中道<br>若栗 |
| 5  | 商店街や企業等地域の検討とグループ化       | 地域や企業・商店街等の特徴や概要を理解し、円滑なグループ化のための検討を行う。普段あまり話さない他の学生と積極的に交流を図り、コミュニケーション力と協調性を身につける。                                                  | 講義・SGD・フィールドワーク    | 予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。テキストを再読して質問を3つ用意する。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。(100分)<br>復習：授業内容（100分）         | 杉田<br>中道<br>若栗 |
| 6  | 課題と要望の確認<br>課題の本質の検討     | 地域や企業等が課題・要望として挙げたことを理解し、ノート等を作成して整理する。また訪問した結果について報告する。<br>地域や企業等から挙げられた課題や要望の対応についてグループで検討する。見えている課題の背景にある本質について考え、本当に実施すべきことを議論する。 | 演習・SGD・発表・フィールドワーク | 予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。テキストを再読して質問を3つ用意する。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。(100分)<br>復習：授業内容（100分）         | 杉田<br>中道<br>若栗 |
| 7  | 中間発表準備                   | これまで検討や議論してきた内容、ホームページ・SNSの制作内容について整理して、全体に対して発表できるように準備する。                                                                           | 演習・SGD・フィールドワーク    | 予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。(100分)<br>復習：授業内容（100分）                            | 中道<br>杉田<br>若栗 |
| 8  | 中間発表                     | グループ毎に活動の中間報告を行う。企業の方から講評をいただき、改善点や今後実施すべき業務について整理する。                                                                                 | 発表                 | 予習：中間発表の準備をする。(300分)<br>復習：授業内容（100分）                                                                                                                                                      | 中道<br>杉田<br>若栗 |
| 9  | 最終報告に向けた活動内容の検討          | 中間発表のフィードバックを受けて、グループとして取り組む今後の業務、解決すべき課題について整理する。また、プロジェクトやグループワークで発生しやすい課題について理解する。                                                 | 講義・SGD・フィールドワーク    | 予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。(100分)<br>復習：授業内容（100分）                            | 中道<br>杉田<br>若栗 |
| 10 | 地域での実践案の構築               | 地域での実践についての案を基に、実践の方法を構築する。具体的な実践方法と検討課題を発表し、クラス全体で議論する。                                                                              | SGD・発表・討論・フィールドワーク | 予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。(100分)<br>復習：授業内容（100分）                            | 杉田<br>中道<br>若栗 |
| 11 | 地域での実践案の改善               | 各個人やグループ同士で互いにアドバイスを受けながら地域での実践を研鑽し、必要となる情報収集、実践の方法や留意事項の確認などを行う。                                                                     | SGD・発表・フィールドワーク    | 予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。(100分)<br>復習：授業内容（100分）                            | 杉田<br>中道<br>若栗 |



| 回  | 授業項目           | 授業内容                                                                                                                                                                  | 授業方式            | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                                                                                                                                               | 担当<br>教員       |
|----|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 12 | 地域での実践する       | 地域や企業等にプレゼンや提出することを想定して実践内容の構築を行う。事前に企業との打ち合わせを済ませ、指摘された内容について改善可能か議論し、対応について検討する。                                                                                    | SGD・発表・フィールドワーク | 予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。(100分)<br>復習：授業内容（100分）                                                                            | 杉田<br>中道<br>若栗 |
| 13 | 最終報告準備         | 最終報告に向けた準備を行う。プレゼンテーションに必要な資料作成、発表練習のほか、企業との打ち合わせが必要な部分があれば実施する。                                                                                                      | SGD・フィールドワーク    | 予習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分と用意した質問を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。今回の授業での各自課題をノートに明記し、各自の課題を実践する準備をする。(100分)<br>復習：授業内容（100分）                                                                            | 中道<br>杉田<br>若栗 |
| 14 | 最終報告           | 主体的に実施してきた活動内容、意義、課題等について、各個人が発表する。                                                                                                                                   | 発表              | 予習：最終報告の準備をする。(300分)<br>復習：授業内容（100分）                                                                                                                                                                                                      | 中道<br>杉田<br>若栗 |
| 15 | サマリーとインプリケーション | 講義全体のまとめと今後の学習に向けて<br>～①各自の発表資料に追加記述して、地域活性化フィールドワーク1の総括をする。<br>～②地域活性化フィールドワーク1で学んだ内容を自ら確認し、自分の課題と地域の課題を発見する。<br>～③今後の学習に向けた皆さんのキーワードを考え、各キーワードについて記述し、今後の学習計画を作成する。 | 講義・演習           | 予習：全体のまとめと今後の学習に向けて、①これまでの本科目全体の総括し、②ノートや発表資料を自ら再度確認し、課題を発見し、③今後の学習に向けた皆さんのキーワードを3つ以上準備する。(100分)<br>復習：レポート提出に向けて、ノートや資料の全体を見直し加筆訂正する。具体的には、①本科目全体を把握するための図や表を作成し、②ノートや資料の全体を再度確認し、発見した課題への仮説や今後実践する内容を示して記述し、③今後の学習に向けたキーワードを確定させる。(200分) | 中道<br>杉田<br>若栗 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                        | 著者・編者              | 出版社 |
|-----|---------------------------|--------------------|-----|
| 教科書 | 社会調査の基礎～社会調査士A・B・C・D科目対応～ | 篠原清夫、清水強志、榎本環、大矢根淳 | 弘文堂 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験   | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他      |
|------|--------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|----------|
| 割合   |        |      |            |      | 20%    | 10%  | 10%                     | 60%      |
| 備考   | 評価に加えず |      |            |      |        |      |                         | ・成果発表35% |

【課題に対するフィードバック方法】

課題については、授業中や次週の授業でフィードバックを行う。中間報告会と最終報告会については、その場で解説やコメントを行うことで各学生あるいはグループ単位の評価等フィードバックを行う。なおコメント等のフィードバックは、配布された時間割に明記されている授業時間あるいはその他に設定した時間に、Microsoft teams上での当科目のチーム内での投稿やチャット等を使用して受付・実施に変更する可能性があります。もしMicrosoft teams上での当科目のチーム内での投稿やチャット等ができない学生がいる場合はメール等での実施に替えることもあるので、ポータルサイト等の告知等を十分に注意しておいてください。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー                                          | 研究室（部屋番号）        | Eメールアドレス                 |
|-------|--------------------------------------------------|------------------|--------------------------|
| 中道 眞  | 水曜日・木曜日（講義等除く13:00～17:00.随時Mail,Teamsのアポイント受付ます） | NE205            | nakamichi@nupals.ac.jp   |
| 杉田 耕一 | 月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）。Teamsチャットでの事前連絡が望ましい。   | NE211            | agri-sugita@nupals.ac.jp |
| 若栗 佳介 | 月～金 11:00～17:00                                  | 新津駅東キャンパス（NE212） | wakakuri@nupals.ac.jp    |

【その他】

企業など地域組織等を定期的に訪問して議論を行いながら作業を進めるため授業外学習が必須となる。各自の予定やグループのメンバーで時間を合わせ、講義準備及び訪問を行うことになります。社会調査やフィールドワークの基本についてはテキストを熟読して各自で学習することも必須となります。

|                            |        |        |     |     |
|----------------------------|--------|--------|-----|-----|
| 農業ビジネス論I<br>Agribusiness I | 授業担当教員 | 杉田 耕一  |     |     |
|                            | 補助担当教員 |        |     |     |
|                            | 区分     | 専門必修   |     |     |
|                            | 年次・学期  | 1年次 後期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

農業は我々の日々の食生活を豊かにしてくれる大切な産業であり、増え続ける世界人口問題を解決する最も重要な産業である。更に、農業は自然環境を保持していくための重要な役割も担っている。一方、我が国の農業がおかれた現状は厳しいものがあるが、近年では農業の重要性が見直され様々な政策が実施されると共に、企業の農業参入やIoTを駆使したスマート農業など新しい流れが生まれつつある。本講義では、農業とはどのような産業なのか基本事項を広く講義する。また、「農業ビジネス論Ⅰ」は、2年次開講科目「農業ビジネス論Ⅱ」「農業経済学」「スマート農業・食品産業」などの基礎に位置づけられる。

【実務経験】

担当教員は、企業の研究開発部門と新事業企画部門に27年間勤務し、主に農業資材や機能性作物の商品化を担当した経験を持つ。その実務経験を活かして、本科目では農業に関する基本的な知識取得に加え、農業現場での普及状況や実際のビジネスと関連付けた講義を行う。

【到達目標】

農業の現状を広く理解し、農業ビジネス分野で活躍するための基礎的能力を身につける。  
知識・理解：1. 農業の成り立ちと現代の農法について説明できる。2. 農業を支える組織や制度について説明できる。3. 稲作経営の現状について説明できる。  
4. 野菜・果樹・花卉経営の現状について説明できる。5. 畜産経営の現状について説明できる。6. 世界と日本の食料事情について説明できる。  
7. 新しい農業の展開について説明できる。  
思考・判断：1. 農業関連データを収集し分析することができる。2. 世界の貿易環境の変化や国内環境の変化をとらえ、今後の我が国の農業が向かう方向性を推論することができる。  
関心・意欲・態度：1. 日々報道される農業関連情報に関心を持つ。2. 日常の購買行動の中で、農産物の出荷エリアや価格等について関心を持つ。

【授業計画】

| 回  | 授業項目              | 授業内容                                                                      | 授業方式     | 授業外学習（予習・復習）                                  | 担当教員 |
|----|-------------------|---------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------------|------|
| 1  | オリエンテーション         | シラバスを基に、授業概要、一般目標、到達目標を理解する。                                              | 講義       | 予習：シラバスの熟読、教科書p.2～3（120分）<br>復習：講義内容（120分）    | 杉田   |
| 2  | 農業の成り立ち①          | 日本の農地条件、品種改良について学ぶ。                                                       | 講義       | 予習：教科書p.11～27（120分）<br>復習：講義内容（120分）          | 杉田   |
| 3  | 農業の成り立ち②          | 現代農業をもたらした肥料・農薬・機械化について学ぶ。                                                | 講義       | 予習：教科書p.28～42、肥料売り場の調査（120分）<br>復習：講義内容（120分） | 杉田   |
| 4  | 農業を支える人・組織・制度     | 農家の現状について各種統計データの解釈を行いながら学ぶ。行政組織、農協、法律等の制度変遷について学ぶ。                       | 講義・SGD   | 予習：教科書p.44～75、JAの調査（120分）<br>復習：講義内容（120分）    | 杉田   |
| 5  | 稲作経営①             | 国際貿易と国内農業の変遷、世界と日本の農産物生産状況について学ぶ。                                         | 講義       | 予習：教科書p.77～83、米売り場の調査（120分）<br>復習：講義内容（120分）  | 杉田   |
| 6  | 稲作経営②             | 米作りの流れ、銘柄米の開発、酒米について学ぶ。                                                   | 講義       | 予習：教科書p.84～97（120分）<br>復習：講義内容（120分）          | 杉田   |
| 7  | 稲作経営③・野菜          | 米の新たな可能性と野菜の生産状況等について各種統計データを解釈しながら学ぶ。                                    | 講義・試験    | 予習：教科書p.98～109（120分）<br>復習：講義内容（120分）         | 杉田   |
| 8  | 果樹・花卉・工芸作物        | 果樹・花卉・工芸作物の生産状況等について各種統計データを解釈しながら学ぶ。                                     | 講義・SGD   | 予習：教科書p.110～119（120分）<br>復習：講義内容（120分）        | 杉田   |
| 9  | 畜産経営の基本           | 畜産飼料、乳牛の基本と乳製品、和牛、養豚養鶏の基本、ブランド化について学ぶ。                                    | 講義       | 予習：教科書p.123～153（120分）<br>復習：講義内容（120分）        | 杉田   |
| 10 | 世界と日本の食料事情        | 世界の食料不足問題、遺伝子組み換え作物の普及、日本の食料自給率、生産資材の海外依存、TPP等の貿易について各種統計データを解釈しながら学ぶ。    | 講義・SGD   | 予習：教科書p.155～185（120分）<br>復習：講義内容（120分）        | 杉田   |
| 11 | これからの日本の農業        | 我が国が抱える農業の課題を整理し、これからの農業の在り方について学ぶ。                                       | 講義       | 予習：教科書p.187～218（120分）<br>復習：講義内容（120分）        | 杉田   |
| 12 | 遺伝子組換え作物          | 遺伝子組換え作物の基礎知識、普及状況を学ぶ。                                                    | ●動画配信型授業 | 予習：プリント（120分）<br>復習：講義内容（120分）                | 杉田   |
| 13 | スマート農業・植物工場       | IoT／AIを活用したスマート農業、植物工場など最新事例について実例動画により学習すると共に、これら技術革新がもたらす新しい農業価値について学ぶ。 | 講義・SGD   | 予習：プリント（120分）<br>復習：講義内容（120分）                | 杉田   |
| 14 | 新潟県の農業            | 新潟県の農業生産状況について学ぶ。                                                         | 講義       | 予習：プリント（120分）<br>復習：講義内容（120分）                | 杉田   |
| 15 | 新潟県の農業を支える人・組織・制度 | 新潟県の農家、行政組織、農協、行政支援制度等について学ぶ。                                             | 講義       | 予習：プリント（120分）<br>復習：講義内容（120分）                | 杉田   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名     | 著者・編者 | 出版社   |
|-----|--------|-------|-------|
| 教科書 | 現代農業入門 | 八木宏典  | 家の光協会 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 100% |      |            |      |        |      |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

必要に応じて講義中またはTeamsで解説を行います。個別の質問等についてはTeamsチャットで随時対応します。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー                                        | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス                 |
|-------|------------------------------------------------|-----------|--------------------------|
| 杉田 耕一 | 月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）。Teamsチャットでの事前連絡が望ましい。 | NE211     | agri-sugita@nupals.ac.jp |

【その他】

この科目は、にいがたマインド学生マイスター取得対象科目です。



【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー              | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス                  |
|-------|----------------------|-----------|---------------------------|
| 内田 誠吾 | 月曜日～金曜日午前9:00～午後5:00 | NE20 8    | seigo.uchida@nupals.ac.jp |

【その他】

会計学の考え方や財務諸表の読み方は、これからの人生で必ず必要となり、かつ、ビジネスにおいて私たちを大きく助けてくれます。きちんと財務3表を読みこなせるようになりましょう。この講義では会計学をできるだけ実践的に使えるようになることを目指します。

試験については、授業における練習問題、小テストを一つ一つ理解していけば、問題なく対応できる構成を考えています。一つ一つの授業を大切にしましょう。

|                                                |        |        |     |     |
|------------------------------------------------|--------|--------|-----|-----|
| 行動経済学<br>Intoroduction to Behavioral Economics | 授業担当教員 | 内田 誠吾  |     |     |
|                                                | 補助担当教員 |        |     |     |
|                                                | 区分     | 専門選択   |     |     |
|                                                | 年次・学期  | 1年次 後期 | 単位数 | 2単位 |

【授業概要】

経済学と心理学の境界領域である行動経済学の講義を通じ、人間の行動や意思決定のメカニズムについて解説する。マーケティング研究の第一人者であるコトラーが「行動経済学はマーケティングの別称すぎない」と述べたように、消費者行動の理解には行動経済学は欠かせない。また、相手に強制させることなく、自発的に、望ましい行動をとらせる「ナッジ」は厚生労働省や大手企業でも実践されている、実用性の高い理論である。行動経済学の理論を講義するとともに、マーケティングや行政における応用例についても紹介する。

「食品経済学」、「マーケティング論」、「サービス産業論」、「ビジネスプロデュース論」、「地域活性化フィールドワーク II」で必要となる消費者行動やナッジの考え方を解説する。

【到達目標】

行動経済学の基本的な考え方を理解する。また、マーケティングや行政における応用例についても理解できる。

知識・理解：経済学と心理学の境界領域である行動経済学の考え方を理解する。

思考・判断：行動経済学のモデルについて習熟する。

関心・意欲・態度：行動経済学について、具体的な応用例について説明できる。

技能・表現：簡単な経済モデルを表現できる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                           | 授業内容                                                                               | 授業方式     | 授業外学習（予習・復習）                                   | 担当教員 |
|----|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------------------------------------------|------|
| 1  | 授業オリエンテーション<br>行動経済学はどのようなものか。 | 伝統的な経済学が想定している人間像と対比しながら、行動経済学の考え方について説明する。                                        | 講義       | 予習：教科書、プリントの熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）   | 内田   |
| 2  | ヒューリスティック①                     | システム1とシステム2の考え方、代表的ヒューリスティック、利用可能性ヒューリスティックとその事例について説明する。                          | 講義       | 予習：教科書、プリントの熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）   | 内田   |
| 3  | ヒューリスティック②                     | 固着性ヒューリスティックについて説明する。アンカリングとフレーミング効果を紹介し、それぞれの実験を行う。                               | 講義・演習・実験 | 予習：教科書の熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）        | 内田   |
| 4  | 時間選好①                          | 異時点間選択と時間割引率の測定法について説明する。                                                          | 講義・実験    | 予習：教科書、プリントの熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）   | 内田   |
| 5  | 時間選好②                          | 時間割引率のアノマリー、ソフィスティケイテッドとナイーフについて説明する。また、時間選好に関する政策や価格差別などへの応用例について紹介する。            | 講義・演習    | 予習：教科書、プリントの熟読。（150分）<br>復習：教科書、プリントの熟読。（150分） | 内田   |
| 6  | リスク選好とプロスペクト理論①                | 不確実性下の選択、期待効用理論について説明する。また、アレーとゼックハウザーのパラドックスを紹介し、期待効用理論の限界について理解する。               | 講義・実験    | 予習：教科書の熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）        | 内田   |
| 7  | リスク選好とプロスペクト理論②                | プロスペクト理論、プロスペクト理論における参照点の設定について説明する。リスク選好とプロスペクト理論に関連した、消費者行動や企業の価格設定に関する応用例を説明する。 | 講義       | 予習：教科書、プリントの熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）   | 内田   |
| 8  | 社会的選好①                         | 独裁者ゲーム、最後通牒ゲーム、信頼性ゲーム、違法副業ゲーム、互酬性について説明する。                                         | 講義・実験    | 予習：教科書、プリントの熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）   | 内田   |
| 9  | 社会的選好②                         | 公共財供給実験、社会的ジレンマ、不平等回避性、文化と社会的選好について説明する。また、社会的選好に関する政策面への応用例について説明する。              | 講義       | 予習：教科書、プリントの熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）   | 内田   |
| 10 | お金に対する経済心理①                    | お金の経済的な意義・心理的な効果、お金を払う苦痛、メンタルアカウンティングについて説明する。                                     | 講義       | 予習：教科書、プリントの熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）   | 内田   |
| 11 | お金に対する経済心理②                    | サンクコスト、保有効果、機会費用、「無料（フリー）」の価格の経済心理について説明する。                                        | 講義       | 予習：教科書、プリントの熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）   | 内田   |
| 12 | 問題演習                           | 中間テストに向けて、問題演習を行う。                                                                 | 演習       | 予習：教科書、プリントの熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）   | 内田   |
| 13 | 中間テスト                          | 中間テストとその解説を行う。                                                                     | 講義・試験    | 予習：教科書、プリントの熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）   | 内田   |
| 14 | 行動経済学のマーケティングへの応用例             | 行動経済学を用いたマーケティングについて、具体的な応用事例を学ぶ。                                                  | 講義・演習    | 予習：教科書、プリントの熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）   | 内田   |
| 15 | 大手企業や厚生労働省が採用しているナッジの応用事例      | 相手に強制することなく、望ましい行動をとらせるナッジについて、大手企業や厚生労働省が実践している事例について学ぶ。                          | 発表・討論    | 予習：教科書、プリントの熟読（160分）<br>復習：教科書、プリントの熟読（100分）   | 内田   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名          | 著者・編者                      | 出版社   |
|-----|-------------|----------------------------|-------|
| 教科書 | プリントを配布します  |                            |       |
| 教科書 | 行動経済学入門     | 筒井義郎、佐々木俊一郎、山根承子、グレッグ・マルデワ | 東洋経済  |
| 参考書 | 行動経済学       | 室岡健志                       | 日本評論社 |
| 参考書 | 行動経済学       | 阿部誠                        | 新星出版社 |
| 参考書 | 実験経済学・行動経済学 | 和田良子                       | 新世社   |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 50%  | 50%  |            |      |        |      |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

各レジュメの問題については、授業中もしくは動画で説明します。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー              | 研究室（部屋番号） | Eメールアドレス                  |
|-------|----------------------|-----------|---------------------------|
| 内田 誠吾 | 月曜日～金曜日午前9:00～午後5:00 | NE20 8    | seigo.uchida@nupals.ac.jp |

【その他】

経済学は、世界標準の体系が確立されている社会科学であり、論理的な思考を身に着けるために最適学問の1つと言えます。経済学を通して丁寧に論理を追う習慣を身につけましょう。

試験については、授業における練習問題、小テストを一つ一つ理解していけば、問題なく対応できる構成を考えています。一つ一つの授業を大切にしましょう。